令和元年版

消　防　年　報

おかげさまで 50周年

塩釜地区消防事務組合消防本部
（令和２年刊行）

は　　じ　　め　　に

この年報は、塩釜地区消防事務組合における令和元年中の消防現勢及び消防諸般の状況を統計的に収録したものです。

本書は、消防行政の合理的な運営と消防力の充実強化の参考に資するとともに、本組合消防の実態を広く一般に紹介することを目的として編集しました。

本書の記載内容で予算に関するものは会計年度、消防統計的なものについては暦年として編集しましたが、表中に年月日を明示したものについては、その時点での現況です。

その他の表につきましては、特に記載のない限り、令和２年４月１日現在をもって収録しました。

何とぞ御高覧の上、今後とも消防行政に対しまして深いご理解とより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和２年６月

塩釜地区消防事務組合消防本部

目　　次

○　塩釜地区消防事務組合管内位置図 …… 1
○　塩釜地区消防事務組合市町の概要 …… 2
○　塩釜地区消防事務組合一目統計 …… 3
○　令和元年度の主な行事（沿革） …… 4
○　塩釜地区消防事務組合組織図 …… 20
○　本部庁舎・署所等位置・管内情勢 …… 21

第1編　総　務

○　令和2年度塩釜地区消防事務組合一般会計予算（当初予算） …… 22
○　構成市町負担金状況 …… 22
○　組合予算と職員数・人口・世帯数の推移 …… 23
○　組合議会等・歴代消防長 …… 24
○　職員配置状況 …… 25
○　職員年齢状況 …… 25
○　職員居住状況 …… 25
○　消防救助隊の編成 …… 25
○　職員資格取得状況 …… 26
○　職員研修状況 …… 26

第2編　予　防

○　用途別建築同意処理状況 …… 27
○　市町別消防同意処理状況 …… 27
○　防火対象物数 …… 28
○　危険物施設数 …… 29
○　危険物廃止届出数 …… 29
○　第四類危険物の貯蔵取扱許可数量 …… 30
○　第四類以外危険物の貯蔵取扱許可数量 …… 30
○　市町別危険物施設の許可及び検査状況 …… 31
○　石油コンビナート等特別防災区域概要 …… 32

第3編　警　防

○ 消防水利現況･消火薬剤保有状況 …… 34
○ 消防車両等の現況（その１） …… 35
○ 消防車両等の現況（その２）･消防車両等配置状況 …… 36
○ 消防資機材保有状況（その１） …… 37
○ 消防資機材保有状況（その２） …… 38
○ 救急資器材保有状況 …… 39
○ 組合管内各市町消防団現況 …… 40
○ 組合管内各市町消防団機械器具現況 …… 40

第4編　指　令

○ 通信施設配置状況 …… 41
○ 無線通信施設 …… 41
○ 消防緊急通信指令システム図 …… 42
○ 通信指令装置の機能概要 …… 43
○ その他の機器の概要 …… 44
○ 災害受付状況 …… 45
○ 応急手当の口頭指導実施状況 …… 45

第5編　火災統計

○ 令和元年の火災概要 …… 47
○ 火災の概況 …… 48
○ 市町別火災概況 …… 49
○ 月別火災発生状況 …… 50
○ 四季別火災発生状況 …… 50
○ 火災件数と損害額 …… 51
○ 出火原因別の火災発生状況 …… 51
○ 初期消火状況 …… 52
○ 放火･放火の疑いの発生状況 …… 52
○ 死傷者の発生状況 …… 53
○ その他 …… 54
○ 過去５年間の火災発生状況 …… 55
○ 過去 10 年間の主な火災 …… 57

第６編　救急統計

○ 令和元年の救急概要 …… 58
○ 市町別･市町事故別救急発生状況 …… 59
○ 救急発生状況の推移 …… 60
○ 事故別救急発生状況 …… 60
○ 月別救急発生状況 …… 61
○ 時間別救急発生状況 …… 61
○ 曜日別救急発生状況 …… 62
○ 年齢区分別搬送状況 …… 62
○ 年代別性別搬送状況 …… 63
○ 傷病程度別搬送状況 …… 63
○ 現場到着所要時間別出場状況 …… 64
○ 収容所要時間別搬送状況 …… 64
○ 医療機関別搬送状況 …… 65
○ 救急隊事故別救急発生状況 …… 66
○ 診療科目別搬送状況 …… 66
○ 救急隊員の行った応急処置等の状況 …… 67
○ 応急手当の普及状況 …… 68
○ 過去５年間の市町別救急発生状況 …… 69
○ 過去の主な救急事故 …… 70

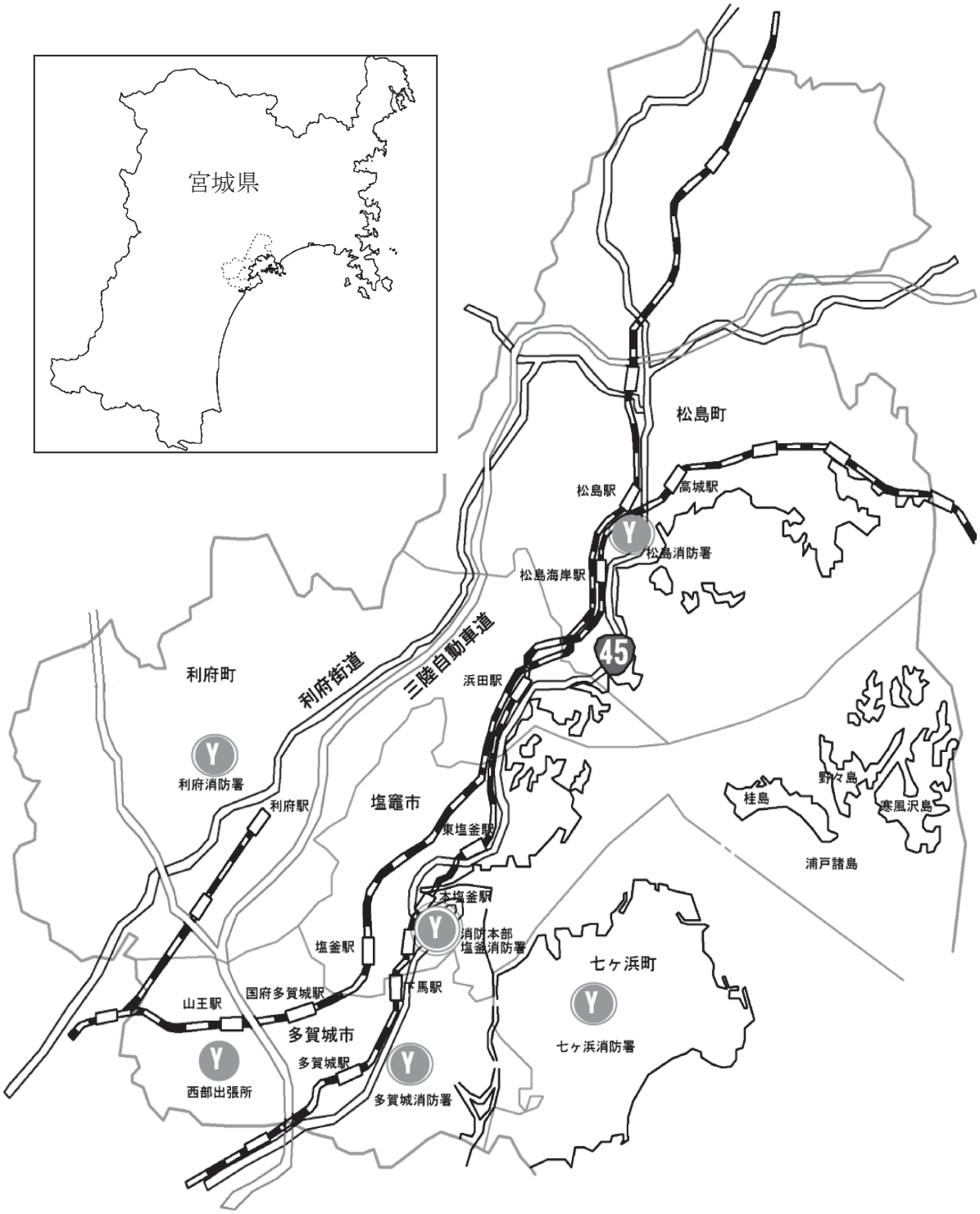
第７編　救助統計

○ 令和元年の救助概要 …… 72
○ 市町別出動状況 …… 73
○ 事故種別出動状況 …… 73
○ 月別救助出動件数･救助人員 …… 74
○ 時間別救助出動状況 …… 74
○ 曜日別救助出動状況 …… 74

第８編　協力団体

○ 塩釜地区防災安全協会 …… 75
○ 塩釜地区少年婦人防火委員会 …… 76
○ 塩釜地区婦人防火クラブ連合会 …… 76
○ 塩釜地区少年消防クラブ連絡協議会 …… 77
○ 塩釜地区幼年消防クラブ連絡協議会 …… 77
○ 宮城県消防協会塩釜地区支部 …… 78
○ 令和２年度塩釜地区統一防火標語入選作品 …… 79
○ 第43回塩釜地区防火書道展入選作品 …… 79

塩釜地区消防事務組合管内位置図



塩釜地区消防事務組合市町の概要

本消防事務組合は、宮城県のほぼ中央に位置し、148.70㎢という狭あいな地域に市街地が連担し、東は200余島からなる風光明媚な松島を形成する太平洋に接し、西南部は仙台市に接している。

管内の特色は、海岸部はリゾート基地・水産業を軸とする観光・水産都市、歴史性をもった文化都市、職住近接型のニュータウン、加えて、東北の各都市への石油類を供給する役割をもつ石油コンビナート地帯を抱えるなど、消防行政需要がますます増加する地域であり、その構成市町の概要は、次のとおりである。

塩　竈　市

陸奥の国府多賀城の荷揚港として、また鹽竈神社の門前町として古くから栄えてきた塩竈市は、商工、観光港と合わせて、特定重要港、特定第三種漁港の指定を受ける港湾都市・水産都市である。管内では、行政、産業経済、交通の面で中心的役割を担っている。

多 賀 城 市

かつて、陸奥の国府が置かれた多賀城市は、管内最古の歴史を持ち、文化をはぐくむ史跡のまちの整備がなされ、加えて、仙台港の開港とともに仙台湾臨海部における大型工業拠点都市としての役割を担っている。更には、多賀城駅周辺地域の開発整備や八幡地区の津波復興拠点の整備が進んでいる。

松　島　町

日本三景の一つ松島町は、古くから景勝地として知られ、瑞巌寺や五大堂など、多くの文化財と、観光施設、宿泊施設を有し、近年ではミシュランガイドで三つ星を獲得する観光地として評価を得ている。沿岸部では、かき養殖等の浅海漁業、北部では稲作を中心とした農業が盛んで、観光業をはじめ、農林業、漁業、商工業など、様々な産業がバランス良く発達し、町の活力を支えている。

七 ヶ 浜 町

三方を海に囲まれた七ヶ浜町は、明治時代から避暑地として多くの外国人に愛され、現在も七ヶ浜国際村を拠点に国際交流が盛んに行われている。また、菖蒲田海水浴場、松島四大観「多聞山」など豊かな自然と景観、豊富な水産資源に恵まれ、ひとと自然が調和したまちづくりが進められている。

利　府　町

緑地に囲まれた利府町は、主産業の農業から、職住近接型ニュータウンの建設や新幹線車両基地の建設等により都市機能が拡大。人口の増加に伴い、近接市町への通勤者が増えている。また、工業団地への企業の進出により製造業の伸長も著しい。更に自然を生かした県民のいこいの場、総合的なスポーツの拠点として発展している。

一　目　統　計

面　　積	人　　口	世　帯　数	消　防　予　算
１４８．７㎢	１８５，０９３人	７６，７７３世帯	３，０１４，２６５千円
塩竈市　17.37㎢ 多賀城市　19.69㎢ 松島町　53.56㎢ 七ヶ浜町　13.19㎢ 利府町　44.89㎢	塩竈市　53,975人 多賀城市　62,416人 松島町　13,896人 七ヶ浜町　18,716人 利府町　36,090人	塩竈市　23,739世帯 多賀城市　27,219世帯 松島町　5,634世帯 七ヶ浜町　6,730世帯 利府町　13,451世帯	一人当たり 16,285円 一世帯当たり 39,262円

署　　所	消　防　職　員	保　有　車　両	
消防本部　1	条例定数　２３２名	ポンプ車　１０台	救助工作車　1台
消防署　5	実　員　２２１名 （うち女性８人）	化　学　車　3台	消　防　艇　1艇
出張所　1	平均年齢　36.76歳	大型水槽車　1台	救　急　車　8台
資機材倉庫　1	平均勤続年数　15.97年	はしご車　2台	そ　の　他　２０台

火　　災	救　　急	救　　助	119番通報件数
火災件数　３９件	**救急件数　9,327件** **搬送人員　9,017人**	**救助件数　４４件** **救助人員　９０人**	**総通報件数　12,852件**
建物火災　１８件 林野火災　０件 車両火災　５件 船舶火災　０件 その他火災　１６件	平均現場到着所要時間 ７分４７秒 平均医療機関収容所要時間 ３９分０８秒	交通事故　８件 水難事故　８件 自然災害　１２件 機械事故　１件 建物事故　８件 その他　７件	固定電話　6,293件 携帯電話　5,120件 加入電話　1,374件 その他　65件

防火対象物	危険物施設	消　防　団　員	消　防　水　利
３，７７４棟	**１，１４４施設**	**７８８人**	**総計　３，５８７**
特定防火対象物 １，０６９棟 非特定防火対象物 ２，６７４棟	製造所　２施設 貯蔵所　９４３施設 取扱所　１９９施設	塩竈市塩竈　８０人 塩竈市浦戸　５４人 多賀城市　１５６人 松島町　２０８人 七ヶ浜町　１８１人 利府町　１０９人	消火栓　２，７８５ 防火水槽　６４６ その他　１５６

令和元年度の主な行事等

月　日	記　　事
４月24日	震災初動対応訓練及び警防本部設置運用訓練を実施
６月９日	キリンチャレンジカップ2019消防警戒を実施（ひとめぼれスタジアム宮城） 日本代表対エルサルバドル代表（総来場者３８，０９２名）
６月19日	幼年消防クラブ地区大会（セキスイハイムスーパーアリーナ） （参加者１，０４０名）

9 月12日	塩釜地区防災対策委員会合同訓練（ひとめぼれスタジアム宮城） （陸上自衛隊第 22 即応機動連隊・宮城海上保安部・宮城県塩釜警察署他関係機関）

10月 3 日

消火技術コンクール（利府町）

10月13日
～
10月25日

令和元年東日本台風に伴い、宮城県広域消防応援隊の一員として、丸森町へ出場。
延べ 27 隊 69 名が要救助者検索、住民の安否確認を実施

12月12日
12月13日

消防長査閲訓練を実施

1 月23日 1 月27日	文化財防火デーに伴う消防訓練を瑞巌寺、鹽竈神社において実施
2 月18日 2 月19日	救急実技訓練実施

塩釜地区消防事務組合の沿革

年 号	月 日	記 事
昭和45年	４月１日	・塩竈市、多賀城町、松島町、七ヶ浜町、利府町の１市４町で、塩釜地区消防事務組合を設立し、塩竈市に消防本部、１消防署、１出張所、多賀城町に１分署を設置、消防車６台、救急車２台、消防艇１隻、職員定数120名（実員80名）で発足・初代消防長に大沼盛就任
	７月９日	職員３名採用し、実員83名となる。
	７月22日	消防副士長制度を採用
昭和46年	２月２日	多賀城町鶴ケ谷字内手２番地の１に多賀城消防分署庁舎完成移転し、業務を開始（ポンプ車２台、救急車１台、職員19名）
	３月23日	指令車（トヨタクラウン 2,000cc）を更新し、消防本部に配置
	４月１日	職員38名採用し、実員120名となる。
	６月16日	塩竈市尾島町17番22号に消防本部、塩釜消防署庁舎完成し、業務を開始（ポンプ車３台、救急車１台、指令車１台、広報車１台、職員44名)
	11月20日	七ケ浜町吉田浜字野山15番地の45に七ケ浜出張所を開設（ポンプ車１台職員6名)
	11月26日	松島町磯崎字浜１に松島出張所を開設（ポンプ車２台、広報車１台、職員17名)
	12月１日	利府町利府字大町20番地に利府出張所を開設（ポンプ車１台、職員６名)
昭和47年	１月１日	多賀城市市制施行に伴い、多賀城分署を消防署に、松島出張所を分署に昇格
	４月１日	消防施設整備第一期計画を作成、定数条例２名（消防吏員以外の職員）を増員し122名とする。
	11月21日	普通消防ポンプ自動車（ニッサン130馬力）１台を購入し、塩釜消防署に配置
昭和48年	３月27日	40t級化学消防艇「まつしま」を建造、一本松出張所に配置し、消防艇「うらしお」を廃艇
	４月１日	・二代消防長に児玉金七就任 ・消防施設整備第二期計画に基づき、定数条例６名を増員し128名とする。
	６月15日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車１台の寄贈を受け多賀城消防署に配置
	11月５日	農協共済連合会から3Ｂ型救急車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	12月１日	松島分署救急業務を開始
昭和49年	２月12日	18m級梯子付消防ポンプ自動車を購入し塩釜消防署に配置
	４月１日	消防施設整備第二期計画に基づき条例定数６名を増員し、134名とする。
昭和50年	４月１日	定数条例２名を増員し、136名とする。
	６月10日	塩釜港石油基地防災協議会から化学ポンプ自動車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	６月28日	松島町松島字蛇ケ崎右53番地に松島分署新庁舎完成移転し、業務を開始
	８月１日	三代消防長に板宮秀夫就任
	12月１日	特別消防隊（隊員20名) 発足、初代隊長に鹿新吉就任
昭和51年	２月13日	トヨタ2Ｂ型救急車を購入（更新）し、松島分署に配置
	３月15日	塩釜港石油基地防災協議会と塩竈市との協定により一本松出張所に泡原液貯蔵タンク（10ｋℓ容量）１基建設
	４月１日	消防施設整備第三期計画を作成、定数条例８名増員し、144名とする。
	４月21日	日本損害保険協会からトヨタ2Ｂ型救急車の寄贈を受け多賀城消防署に配置
	８月17日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け塩釜消防署に配置

年 号	月 日	記 事
昭和51年	10月１日	多賀城市山王字中山王23番地の２に多賀城消防署西部出張所を開設（ポンプ車１台、職員８名）
昭和52年	４月１日	消防施設整備第三期計画に基づき、定数条例5名を増員し、149名とする。
	４月12日	指令車（トヨタクラウン2,000cc）を更新し、消防本部に配置
	12月20日	塩釜地区消防事務組合職員章を制定
昭和53年	１月31日	消防本部庁舎裏に救助訓練塔完成
	２月１日	消防音楽隊（隊員22名）発足、初代隊長に山路一郎就任
	３月14日	水槽付消防ポンプ自動車購入し、松島分署に配置
	４月１日	消防施設整備第三期計画に基づき定数条例８名増員し、157名とする。
	６月12日	17時14分宮城県沖地震発生（震度５マグニチュード7.4)管内で死者５名負傷者62名、倒壊家屋多数、その他塩釜地区石油コンビナート地域おいてもタンクの破損、また東北石油の原油タンク破壊など大きな被害をもたらした。
	９ 月	第１回消火技術コンクールを開催（月見ヶ丘スポーツ広場）
	９月７日	日本消防協会から２Ｂ型救急車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	10月１日	七ヶ浜町吉田浜字野山５番地の56に七ケ浜出張所新庁舎完成移転し、業務を開始（化学車１台、ポンプ車２台、職員16名）
	10月19日	塩釜ライオンズクラブから広報車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	11月４日	35m級梯子付消防ポンプ自動車を購入し、塩釜消防署に配置
昭和54年	４月１日	消防施設整備第三期計画に基づき定数条例２名増員し、159名とする。
	４月19日	日本損害保険協会から普通消防ポンプ自動車の寄贈を受け、松島分署に配置
	５月11日	資材搬送用として、普通トラックを購入し、塩釜消防署に配置
	８月２日	災害時の職員搬送用として29人乗マイクロバスを購入し消防本部に配置
	８月24日	消防本部に主幹制度を採用
	９月14日	日本防火協会から防火広報車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	11月１日	自主防災組織強化のため塩釜地区少年婦人防火委員会発足
昭和55年	３月６日	化学消防ポンプ自動車日野Ａ-１級を購入（更新）し、多賀城消防署に配置
	４月１日	消防施設整備第三期計画に基づき定数条例６名増員し、165名とする。
	７月８日	利府出張所を増改築
	９月１日	日本消防協会から広報車の寄贈を受け、松島分署に配置
	９月８日	日本損害保険協会から軽化学車の寄贈を受け、七ケ浜出張所に配置
	10月４日	広報車としてトヨタカリーナバン1,600ccを購入（更新）し、多賀城消防署に配置
	12月23日	トヨタ2Ｂ型救急車を購入（更新）し、松島分署に配置
昭和56年	３月12日	CD-1型普通消防ポンプ自動車を購入（更新）し、利府出張所に配置
	４月１日	・機構改革により警防課に通信係を新設、塩釜消防署警防係を警防第一係及び警防第二係に改組、多賀城消防署に設備係を新設する。 ・消防施設整備第四期５ヵ年計画を作成
	８月28日	多賀城市大代三丁目中野武彦氏よりニッサンサニーの寄贈を受け、多賀城消防署事務連絡車として配置
	９月28日	日本消防協会から2Ｂ改良型救急車の寄贈を受け、多賀城消防署に配置
	11月10日	CD-1型普通消防ポンプ自動車２台購入（更新）し、塩釜消防署及び多賀城消防署に配置
昭和57年	４月１日	Ｂ型消防救急指令装置を導入し、通信指令室を２階に移設、業務を開始
	４月５日	鹽竈神社氏子青年会から広報車として、トヨタコロナ1,800ccセダンの寄贈を受け塩釜消防署に配置
	４月28日	第１回幼年消防クラブ地区大会を県民の森で開催
	８月24日	宮城県消防協会から緊急給水用ろ水器の寄贈を受け消防本部に配置

年　号	月　日	記　　事
昭和57年	10月22日	CD-1型普通ポンプ自動車２台購入（更新）し、多賀城消防署及び七ケ浜出張所に配置
	10月26日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、西部出張所に配置
	11月20日	消防本部庁舎（会議室、書庫）増築
昭和58年	４月27日	4・27林野火災発生、覚知12:44（119）鎮火４月28日13:05 利府町における損害は山林等578ha、建物18棟（罹災世帯６世帯、罹災人員30名）を焼失し、合計10億2,682万円に及んだ。
	５月１日	管理者に内海勇三塩竈市長就任
	７月１日	四代消防長に豊島繁就任
	10月１日	人口急増等を勘案し、七ヶ浜出張所を分署に昇格
昭和59年	３月15日	日本損害保険協会からニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	３月31日	一本松出張所廃止
	５月10日	全国消防長会主催による第15回「危険物委員会」塩竈市で開催
	８月２日	第27回「宮城県操法大会」多賀城市で開催
	11月１日	全管内を対象に毎日広報（防火パトロール）を開始
	11月10日	国庫補助事業により救助工作車購入、塩釜消防署に配置
	11月14日	防衛庁補助事業により水槽付消防ポンプ自動車を購入し、多賀城１号車として多賀城消防署に配置
昭和60年	３月１日	分担金条例の一部改正（施行日昭和60年４月１日）
	４月１日	・防災無線並びに防災ファクシミリ設置運用開始 ・宮城県消防協会塩釜支部の事務受託
	９月９日	鹽竈神社からトヨタ２Ｂ型改良型救急車の寄贈を受け塩釜消防署に配置
	10月１日	塩釜消防署七ヶ浜分署に救急車（トヨタ２Ｂ型）配置、救急業務を開始
	11月１日	機構改革により課長補佐制の導入
	11月22日	国庫補助事業により大型水槽車（水10ｔ）三菱19ｔ級290馬力を購入し塩釜消防署に配置
昭和61年	４月１日	・消防施設整備第五期５ヵ年計画を作成 ・電算導入による検討プロジェクトチーム（６名）発足
	８月５日	８・５集中豪雨発生、警戒発令日時８月４日 15:15 塩釜地区消防事務組合管内における被害状況は住宅（全壊１棟、半壊６棟、一部損壊 16 棟、床上浸水 3,838 棟、床下浸水 3,283 棟）、田畑（流失・埋没 329ha 冠水 1,346ha）、崖崩れ（211 箇所）、道路損壊（211 箇所）、河川損壊（40 箇所）に及び合計損害額は約 10,764,794 千円に及んだ。
	８月28日	(財)日本消防協会から電源照明用資機材等搬送車一台寄贈され塩釜消防署に配置
	12月５日	消防本部警防戦術計算統計検討委員会発足（22名）
昭和62年	２月18日	国庫補助事業により化学消防ポンプ車購入（更新）塩釜消防署に配置
	３月１日	消防本部に情報通信室新設
	３月28日	宮城県共済農業協同組合連合会よりニッサンキャラバン型救急車の寄贈（更新）を受け七ヶ浜分署に配置
	４月１日	職員給与の電算化導入
	７月15日	指令車購入（更新）し、消防本部に配置
	７月26日	丸文汽船㈱から、ニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け松島分署に配置（更新）
	８月28日	(財)日本消防協会からトヨタ２Ｂ型救急車の寄贈を受け利府出張所に配置

年 号	月 日	記 事
昭和62年	10月19日	情報電送装置（ファクシミリ）を各署所に導入
昭和63年	２月16日	防衛庁補助事業により、軽化学車を購入、４号化学車として多賀城消防署に配置
	３月１日	消防緊急情報システム（地図等検索装置）を消防本部情報通信室に配置
	３月29日	利府町利府字堀切前11番地の１に塩釜消防署利府出張所新庁舎完成
	４月１日	利府出張所、分署に昇格
	６月10日	宗教法人瑞巌寺からスバルレオーネバン型広報車の寄贈を受け松島分署に配置
	７月１日	消防計画策定委員会発足
	８月10日	消防本部庁舎増改築
	８月25日	塩釜ガス株式会社からスバルレオーネバン型広報車の寄贈を受け塩釜消防署に配置
	９月３日	カメイ株式会社からニホンフォードテルスター、指令２号車の寄贈を受け消防本部に配置
	10月25日	千葉妙雄氏、株式会社ごんきやからトヨタクラウンセダン型消防連絡車の寄贈を受け消防本部に配置
	11月１日	塩釜地区消防事務組合条例規則等検討委員会発足（22名）
昭和64年	１月７日	昭和天皇崩御
平成元年	１月８日	年号が「平成」と制定される。
	１月11日	20周年記念事業検討委員会発足
	２月16日	管内防災支援地図を作製
	２月24日	昭和天皇の大喪の礼が行われる。
	３月29日	㈲山源工務店から指揮車（三菱パジェロエステートバン）の寄贈を受け消防本部に配置
	３月30日	塩釜中央ライオンズクラブからスバルレックスコンビＦ型ライオンズ号の寄贈を受け消防本部に配置
	４月１日	・塩釜地区消防事務組合衛生管理者委員会発足（７名）
	４月１日	・管内独居高齢者を対象にテレホンパトロールを開始
	４月14日	(社)日本損害保険協会から軽化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け、５号化学車として利府分署に配置
	７月１日	・管内住民に対し消防広報紙（消防通信）を発刊（年４回） ・職員の勤務時間見直しにより４週６休制を実施
	12月６日	(財)日本防火協会から防火広報車（トヨタハイエース）の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
平成２年	１月26日	国庫補助及び起債事業により水槽付消防ポンプ自動車を購入（更新）し、松島分署に配置
	４月１日	・救急業務検討委員会発足（14名） ・職員３名を採用し､実員165名となる。
	４月19日	塩釜地区消防事務組合創立20周年記念式典を開催（出席者225名）
	６月１日	消防施設整備計画策定委員会発足（24名）
	６月９日	職員互助会創立20周年記念パーティを開催（出席者486名）
	７月１日	職員定数の適正化計画により、定数条例改正、185名とする。
	９月28日	当組合創立20周年記念事業として「組合消防のあゆみ」を発刊
	10月１日	特殊勤務手当検討委員会発足（９名）
	11月12日	天皇陛下即位礼正殿の儀が行われる。
	11月26日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急車の寄贈を受け松島分署に配置
	12月17日	消防本部と塩釜消防署の組織分離検討委員会発足（８名）

年 号	月 日	記 事
平成３年	１月21日	災害時の職員搬送用として31人乗マイクロバス購入（更新）
	１月30日	放火防止対策検討委員会発足（６名）
	４月１日	・消防施設整備第六期５ヵ年計画の実施
		・職員５名採用し、実員170名となる。
		・組織機構改革により消防本部と塩釜消防署の分離
		・組織機構改革により当直司令制の導入
		・職員の勤務時間見直しにより土曜閉庁方式の導入
	４月10日	新消防艇「さくら」就航（更新）
	５月１日	管理者に三升正直塩竈市長就任
	６月11日	多賀城市工場地帯防災協議会発足
	８月29日	救急救命士法施行に伴う救急救命中央研修所へ職員１名を派遣
	10月１日	宮城県防災ヘリコプター導入に伴い隊員１名（副隊長）派遣（期間平成５年９月30日まで２年間）
平成４年	１月31日	企業三者共同による広報車（トヨタカムリ）の寄贈を受け、多賀城消防署に配置（更新）
	２月１日	消防業務検討委員会発足（10名）
	３月２日	国庫補助及び起債事業によりCD-1型消防ポンプ自動車を購入、松島分署に配置（更新）
	３月10日	国庫補助及び起債事業により利府分署敷地に救助訓練塔を建設
	３月19日	起債事業により多賀城消防署増改築
	３月25日	多賀城消防署増改築及び救助訓練塔落成式を開催（出席者112名）
	３月30日	石油貯蔵交付金により油火災消火用薬剤貯蔵タンク（10ｋℓ）を更新
	４月１日	・五代消防長に目黒久就任
		・職員５名採用し、実員172名となる。
	５月19日	初めて救急救命士１名資格取得
	５月24日	多賀城ライオンズクラブから広報連絡車（日産ADライトバン）の寄贈を受け、多賀城消防署に配置（更新）
	６月11日	財団法人花園まちづくり記念財団から防災パトロール車（三菱パジェロルーフワゴン）の寄贈を受け、利府分署に配置（更新）
	12月１日	職員の勤務時間見直しにより、４週７休制試行を実施
平成５年	３月18日	35m級梯子自動車（日野自動車）を購入し、多賀城消防署に配置
	４月１日	職員７名を採用し、実員179名となる。
	6月～9月	職員の体力錬成の一環として栗駒山登山実施（標高1,628m）
	９月１日	火災予防の個別指導のため、管内全世帯の一般防火指導を開始
	９月９日	救急救命士養成のため、広島市消防局救急救命士養成所へ職員１名派遣
	10月１日	週休二日制（試行）
平成６年	３月27日	救急救命士１名資格取得し、計２名となる。
	４月１日	・職員５名を採用し、実員182名（定数185名）となる。
		・塩釜消防署七ヶ浜分署が多賀城消防署に所管替えとなる。
		・１週間当たり40時間勤務を実施（完全週休二日制）
		・国庫・県補助事業により高規格救急自動車（トヨタハイメデック4,000cc）を塩釜消防署に導入業務開始
		・国庫補助及び起債事業によりCD-1型消防ポンプ自動車を購入、利府分署へ配置（更新）
		・消防戦術の見直しにより、火災出場区分を改正
	４月５日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員１名を派遣

年 号	月 日	記 事
平成６年	８月５日	消防本部書庫完成
	９月12日	救急救命士養成のため、仙台市消防局救急救命研修所へ職員２名を派遣
	11月２日	六代消防長に吉田稔就任
	11月12日	救急救命士１名資格取得し、計３名となる。
	12月27日	職員定数条例の改正により定数203名（５ヵ年計画で18名を増員）となる。
平成７年	２月15日	消防庁舎建設検討委員会発足
	３月１日	塩釜ガス㈱から広報車（トヨタスプリンターカリブ）の寄贈を受け、七ヶ浜分署に配置（更新）
	３月８日	宮城県共済農業協同組合連合会からニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け、多賀城消防署に配置（更新）
	３月28日	18m級梯子車を20m級屈折梯子車（日野自動車）に更新し、松島分署に配置
	３月28日	CD-1型普通ポンプ自動車（三菱ふそう自動車）１台購入し、塩釜消防署に配置（更新）
	４月１日	職員８名を採用し、実員189名（定員203名）となる。
	４月４日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員１名派遣
	４月17日	宗教法人瑞巌寺から広報車（トヨタスプリンターカリブ）の寄贈を受け松島分署に配置（更新）
	５月12日	救急救命士２名資格取得し、計５名となる。
	６月23日	平成７年１月17日発生の阪神･淡路大震災を踏まえ、全国消防機関相互による迅速な援助体制整備のため緊急消防援助隊発足
	８月29日	（財）日本消防協会からニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け、七ヶ浜分署に配置（更新）
	10月５日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員１名派遣
	11月15日	救急救命士１名資格取得し、計６名となる。
平成８年	１月23日	緊急消防援助隊発足に伴い派遣隊員（24名）任命
	３月１日	宮城県防災ヘリコプターに隊員１名３年間派遣
	３月27日	市町村波第２波（150.19MHz）増波し、運用開始
	３月29日	・超音波式潮位観測装置（検潮部湾内３ヶ所）処理装置を消防本部、同表示装置を組合構成市町に設置、観測システム業務開始
	３月29日	・宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業によりCD-1型普通ポンプ自動車（三菱ふそう自動車）を１台購入し、七ヶ浜分署に配置（更新）水槽付消防ポンプ自動車（日野）を１台購入し、西部出張所配置
	４月１日	・職員７名を採用し、実員193名（定員203名）となる。 ・消防施設整備第七期５ヵ年計画の実施
	４月９日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員１名派遣
	４月25日	救急救命士１名資格取得し、計７名となる。
	９月６日	アポロキャップ型作業帽を採用
	10月１日	・消防組織法の一部改正（平成７年10月１日公布）の施行に伴い、平成８年８月19日、消防職員委員会規則を制定し、10月１日から施行、同日、委員長に消防長に準ずる職員として次長を充て、委員長以下13名の委員会を設置 ・消防本部電話交換をダイヤルイン方式に変更
	10月15日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員１名派遣
	11月13日	救急救命士１名資格取得し、計８名となる。
	11月29日	第１回消防職員委員会開催
	12月19日～20日	北海道・東北ブロック初の緊急消防援助隊合同訓練に当組合から救急部隊、消火部隊各１隊参加（仙台市宮城野区港二丁目１番　訓練会場）

年 号	月 日	記 事
平成８年	12月25日	塩消ニュース創刊20周年特別号を発刊
平成９年	３月１日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により新防火衣・防火靴更新
	３月６日	最新式消火システム「インパルス」を塩釜署に１基配備
	３月28日	全国波第２波（148.75MHz）並びに第３波（154.15MHz）増波運用開始
	３月28日	・防火衣保管用ロッカー設置（全署所） ・熱画像カメラ塩釜署に１基配置、ファイバースコープ塩釜消防署・多賀城消防署・松島分署に各１基配置
	４月１日	職員10名を採用し、実員201名（定員203名）となる。 （県消防学校初任科教育、現行６ヶ月から概ね１年間となる。）
	４月８日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員１名派遣
	４月18日	救急救命士１名資格取得し、計９名となる。
	５月24日	多賀城ライオンズクラブから防災車両として、ジープ型指揮車の寄贈を受け、多賀城消防署に配備、又同車両用けん引き型トレーラーがソニー㈱仙台テクノロジーセンターから寄贈される。
	８月８日	平成９年６月28日、松島町根廻地内で発生した列車脱線事故に係る迅速的確な救助活動により、消防本部に対し東日本旅客鉄道から感謝状
	９月８日	救急救命士養成のため、仙台市消防局救急救命研修所へ職員１名派遣
	９月12日	平尾昌晃氏ふれあい募金会より消防福祉号として、三菱デリカスペースギア８人乗りワゴン車１台の寄贈を受け消防本部に配置
	10月６日	・職員定数条例の改正により定数220名となる（消防吏員17名増員） ・塩釜労働福祉会館土地建物取得事業関係補正予算案議決 （10月28日売買契約・11月11日嘱託登記）
	10月24日	救急救命士１名資格取得し、計10名となる。
	11月５日	自治体消防50周年記念講演会を塩釜商工会議所に於いて、消防本部･職員互助会共催により、OBの桜井真氏を講師に迎え開催 （演題「消防のはじまりと近代消防への歩み」）
	11月18日	鹽竈神社から消防搬送車として三菱ふそう２ｔ自動車１台の寄贈を受け消防本部に配置
	12月25日	分担金条例一部改正議案議決（基準財政需要額の100分の60を、100分の66に改正、施行日・平成10年４月１日）
平成10年	１月12日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により指令車（トヨタクラウン）１台購入し、指令１として配置（更新）
	３月20日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業によりCD-1型普通ポンプ自動車（三菱ふそう自動車）を１台購入し、多賀城消防署に配置（更新）
	３月23日	陸上自衛隊多賀城駐屯地周辺消防施設設置助成事業により水-Ⅱ型水槽付消防ポンプ自動車を更新配置
	３月24日	利府救急車（救急５）を災害対応特殊救急車に更新配置
	４月１日	・職員７名を採用し、実員208名（定員220名）となる。 ・利府分署配置人員を８名増員（現行総員21名から29名）し、救急隊の専従化を図る。
	４月23日	救急救命士２名資格取得し、計12名となる。
	９月１日	旧塩釜労働福祉会館を改修し、新消防本部庁舎として移転執務開始
	９月１日	元職員（32名）を対象とした、消防協力援助隊発足
	11月25日	救急救命士１名資格取得し、計13名となる。
平成11年	３月１日	宮城県防災ヘリコプターに隊員１名３年間派遣
	３月24日	旧消防本部事務室を改修し、新情報通信室に新鋭指令施設を導入する。
	３月25日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急車の寄贈を受け松島分署に配置

年 号	月 日	記 事
平成11年	３月29日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により高規格救急自動車（ニッサンハイメデック3,270cc）を多賀城消防署に導入業務開始
	４月１日	・七代消防長に田中一夫就任 ・職員９名を採用し、実員216名（定員220名）となる。 ・利府分署配置人員を２名増員（現行総員29名から31名） ・機構改革により情報通信室を指令課に改め、組織替えを図る。
	５月１日	塩釜地区消防事務組合規約の一部改正により議員定数14名を12名に改正
	５月13日	救急救命士１名資格取得し、計14名となる。
	７月１日	・塩釜地区消防事務組合の共同処理する事務の変更及び組合規約の変更により事務局及び介護保険課（定員５名）を設置 ・職員定数条例の改正により定数225名となる
	８月30日	日本消防協会から、C-1級可搬消防ポンプ付軽積載車（三菱ミニカ）の寄贈を受け塩釜消防署に配置
	10月１日	介護認定審査業務開始
	12月８日	救急救命士１名資格取得し、計15名となる。
平成12年	４月１日	・消防長を本部長とする行財政改善推進本部を設置し、行財政の改善に取り組む。 ・「煙火消費及び建設用びょう打ち銃用空包に係る許可事務」及び「液化石油ガス設備工事届及び特定液化石油ガス設備工事事業関係の事務」が県より移譲され業務を開始する。
	４月12日	救急救命士１名資格取得し、計16名となる。
	７月31日	塩釜地区消防事務組合消防音楽隊活動を一時休止する。
	９月１日	行政需要の変化に的確に対応し、効果的な行政施策を計画的に推進するため、基本計画となる「消防プラン21」を策定し、計画行政の推進を図る。
	10月19･20日	塩釜地区消防事務組合職員互助会30周年記念行事を七ヶ浜町国際村にて開催（出席者648名）
	10月23日	救急救命士１名資格取得し、計17名となる。
	12月８日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、多賀城消防署配置の救助工作車Ⅱ型（三菱ふそう5.5ｔ大型自動車）を更新配置
平成13年	２月２日	塩釜地区消防事務組合規約変更許可となる。 （負担割合を構成市町の基準財政需要額の総額に対する構成市町ごとの構成割合とする。）
	４月１日	・職員の再任用に関する制度施行 （消防司令以下は平成19年度以降施行） ・事務局が５名から７名体制となり、介護認定審査業務を消防職員のみで執行する。 ・職員定数条例の改正により定数227名となる。 ・本部組織の機構改革により、危険物係を保安係、救急係を救急救助係に改組するとともに隔日勤務職員を増員し当直体制の強化を図る。 ・基本計画に基づき施設整備に係る「消防施設整備第８期５ヵ年計画」の実施
	４月10日	救急救命士１名資格取得し、計18名となる。
	9月~10月	第56回国民体育大会（夏季･秋季）及び第１回全国障害者スポーツ大会の開催に伴い消防警備を実施する。
平成14年	３月１日	宮城県防災ヘリコプターに隊員１名３年間派遣
	３月26日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、七ヶ浜分署配置の化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（三菱ふそう5.5ｔ大型自動車）を更新配置
	４月１日	・八代消防長に渡邊杜夫就任 ・職員３名（内初の女性消防官１名）を採用し、実員219名（定員227名）となる。

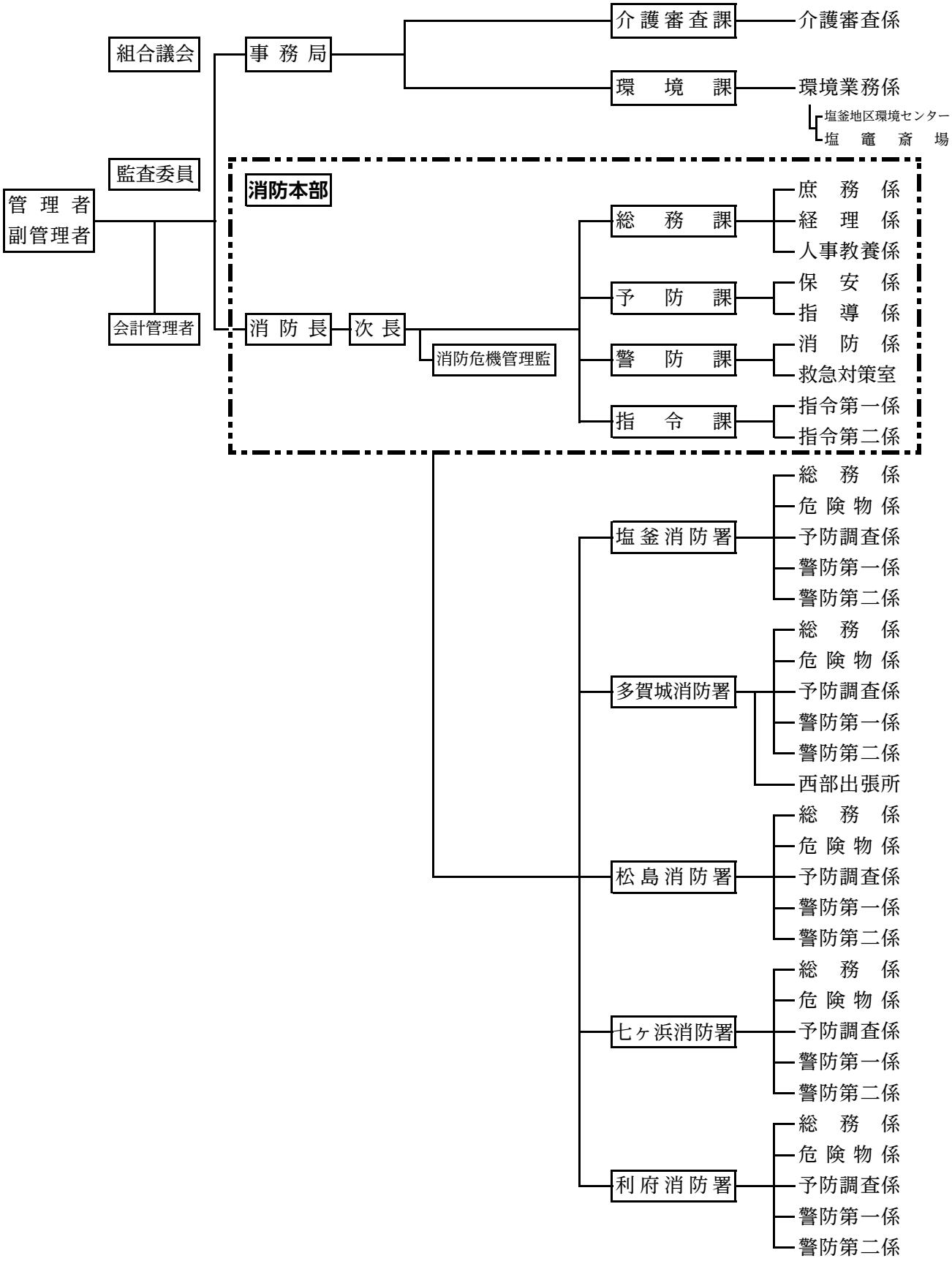
年 号	月 日	記 事
平成14年	6 月	2002年FIFAワールドカップサッカー大会が日本・韓国の20都市で開催され、利府町にある宮城スタジアムでも３試合（6/9メキシコVSエクアドル、6/12アルゼンチンVSスウェーデン、6/18日本VSトルコ）が行われ消防警備を実施する。
	８月１日	119番FAX通信システムを導入・運用開始
	10月24日	救急救命士１名資格取得し、計19名となる。
	12月11日	国庫補助事業により利府分署配置の化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（日野自動車5.5t大型自動車）を更新配置
平成15年	３月13日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、塩釜消防署配置の高規格救急自動車（トヨタハイメディク3,400cc）を更新配置
	４月１日	・職員４名を採用し、実員219名（定員227名）となる。 ・仙台市消防局と初の人事交流
	５月１日	管理者に佐藤昭塩竈市長就任
	11月19日	塩釜消防署配置の指揮車（トヨタハイラックスサーフ2,700cc）を更新配置
平成16年	３月30日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、多賀城消防署配置の化学消防ポンプ自動車Ⅳ型（日野自動車10ｔ大型自動車）を更新配置
	４月１日	・職員３名（内女性１名）を採用し、実員220名（定員227名）となる。 ・機構改革により消防危機管理監を配置する。
	４月１日	・消防組織法改正に伴い、緊急消防援助隊へ都道府県隊指揮隊、消火隊、救急隊、後方支援隊の４隊、14名を国に登録 ・改正服制基準による新活動服を採用
	４月20日	救急救命士１名資格取得し、計20名となる。
	11月２日	消防本部警防課配置の指揮車（スズキエスクード2,000cc）を更新配置
	11月11日	救急救命士１名資格取得し、計21名となる。
平成17年	２月17日	救急救命士１名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定される。
	３月１日	宮城県防災ヘリコプターに隊員１名３年間派遣
	３月30日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、松島分署配置の水-Ⅱ型水槽付消防ポンプ自動車（日野自動車５ｔ大型自動車）を更新配置
	４月１日	・消防力の充実強化のため松島分署、七ヶ浜分署及び利府分署を消防署へ昇格させる。 ・職員４名を採用し、実員223名（定員227名）となる。
	８月18日	救急救命士１名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計２名となる。
	11月１日	九代消防長に芳賀輝秀就任
	11月14日	救急救命士１名取得し、計22名となる。
	12月６日	救急救命士１名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計３名となる。
平成18年	３月27日	（社）日本自動車工業会から高規格救急自動車（ニッサンパラメディック3,500cc）の寄贈を受け、七ヶ浜消防署に配置（更新）
	４月１日	・障害者自立支援法施行に伴い、事務局の介護保険課を介護審査課に改め、障害者自立支援審査業務開始 ・職員５名を採用し、実員225名（定員227名）となる。
	６月８日	宗教法人瑞巌寺から指揮車（トヨタサクシード（4WD））の寄贈を受け松島消防署に配置（更新）
	６月14日	救急救命士１名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計４名となる。

年 号	月 日	記 事
平成18年	７月25日	救急救命士１名が薬剤投与実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定される。
	９月１日	財団法人日本宝くじ協会助成事業により、消火・通報訓練指導車「けすゾウくん」を西部出張所に配置
	10月６日	救急救命士１名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計５名となる。
	11月21日	CD-1型消防ポンプ自動車（日野自動車２ｔ車ベース）１台購入し松島消防署に更新配置
平成19年	２月28日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、高規格救急自動車（ニッサンパラメディック3,500cc）を松島消防署に更新配置。当組合の救急自動車が全て高規格救急自動車となる。
	３月15日	株式会社白寿殿から消防連絡車（トヨタクラウン）の寄贈を受け、消防本部に更新配置
	４月１日	・職員５名（内女性１名）を採用し、実員225名（定員227名）となる。
	４月１日	・ホームページ開設
	９月１日	平成19年度宮城県総合防災訓練が多賀城市（陸上自衛隊多賀城駐屯地）で開催される。
平成20年	３月28日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、高規格救急自動車（トヨタハイメデック2,700cc）を利府消防署に更新配置
	４月１日	職員６名を採用し、実員225名（定員227名）となる。
	７月４日	宗教法人瑞巌寺から搬送１（トヨタダイナ）の寄贈を受け消防本部に配置
	12月26日	宮城県消防広域化推進計画が策定され、県内３消防本部体制により、県中ブロックとして仙台市消防局・黒川地域行政事務組合消防本部との広域化の枠組みが示される。
平成21年	３月27日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、大型高所放水車（高所１）を塩釜消防署に更新配置
	４月１日	・職員６名（内女性１名）を採用し、実員225名（定員227名）となる。 ・十代消防長に平山優就任 ・警防課救急救助係を救急対策室に改編
	12月24日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、高規格救急自動車（ニッサンパラメディック3,500cc）を多賀城消防署に更新配置
平成22年	２月25日	指揮車（マツダビアンテ1,900cc）を購入し利府消防署に更新配置
	３月27日	市町村振興総合補助事業によりCD-1型消防ポンプ自動車（日野自動車２ｔ車ベース）を利府消防署に更新配置
	４月１日	職員10名を採用し、実員226名（定員227名）となる。
平成23年	２月３日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、指揮車（マツダビアンテ1,900cc）を七ヶ浜消防署に更新配置
	３月11日	14時46分三陸沖を震源とするM9.0の東北地方太平洋沖地震が発生し、管内では震度６強を観測。また、大津波の襲来により多数の死傷者が発生、さらに仙台地区石油コンビナート（多賀城市）で火災が発生し、甚大な被害をもたらした。 県内隣接消防本部をはじめ緊急消防援助隊の長野県隊、岡山県隊、徳島県隊及び兵庫県隊の応援を受け活動に当たった。
	３月29日	消防本部新庁舎完成
	４月１日	・職員８名を採用し、実員224名（定員227名）となる。 ・十一代消防長に志賀寧就任

年 号	月 日	記 事
平成23年	４月１日	・小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型（日野プロフィア8,860cc、水槽容量10,000ℓ）を購入し塩釜消防署に更新配置
		・「緊急消防援助隊として活動する人員の属する都道府県又は市町村に無償使用させる消防用の国有財産及び国有物品の取扱いに関する省令」に基づき無償貸与された支援車Ⅰ型（日野プロフィア12,910cc）を利府消防署に配備
平成24年	１月11日	緊急消防援助隊設備整備費補助事業により、高規格救急自動車（トヨタハイエース2,693cc）を塩釜消防署に更新配置
	３月26日	・消防車両整備指定寄付金により、CD-1型消防ポンプ自動車（日野デュトロ4,009cc）を多賀城消防署に更新配置
		・宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、CD-1型消防ポンプ自動車（日野デュトロ4,009cc）を七ヶ浜消防署に更新配置
	３月27日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、救助工作車Ⅱ型（日野レンジャー6,403cc）を多賀城消防署に配置
	４月１日	・職員12名を採用し、実員223名（定員227名）となる。
	10月23日	平成24年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練（図上訓練）を宮城県総合運動公園グランディ・21セキスイハイムスーパーアリーナ（宮城県総合体育館）で実施。県外33機関、県内23機関が相互に連携して災害対応図上訓練をし、災害即応体制の向上を図った。
平成25年	３月５日	仙台農業協同組合及び全国共済農業協同組合連合会宮城県支部より高規格救急車（トヨタ2,693cc）の寄贈を受け、七ヶ浜消防署に更新配置
	４月１日	・職員13名を採用し、実員216名（定員227名）となる。
		・消防救急無線のデジタル化が整備され、本部庁舎４階に高機能消防通信システム（超音波式潮位観測装置、全国瞬時警報システム含む）を導入して、消防指令センターを運用開始する。
平成26年	３月20日	市町村振興総合補助事業により水Ⅱ型消防ポンプ自動車（日野自動車５ｔ車ベース）を多賀城消防署西部出張所に更新配置
	４月１日	・塩釜地区消防事務組合と塩釜地区環境組合が再編統合され組合規約を変更、共同処理する事務にし尿処理場及び火葬場の管理運営等に関する事務が追加、事務局に環境課（定数６名）を設置
		・職員定数条例の改正により定数232名となる。
		・職員17名（旧塩釜地区環境組合職員３名を含む）を採用し、実員223名（うち女性６名）となる。
		・十二代消防長に並木明就任
	12月８日	高規格救急自動車（トヨタハイエース2,693cc）を購入し松島消防署に更新配置
	11月28日	組合倉庫完成
平成27年	３月23日	指揮隊車（トヨタレジアスエース2,693cc）を購入し消防本部に配置
	３月26日	人員輸送車（日野エレッセⅡ4,000cc）を購入し消防本部に更新配置
	３月27日	・搬送車（いすゞフォワード5,193cc）を購入し塩釜消防署に更新配置
		・CD-1型消防ポンプ自動車（日野デュトロ4,000cc）を購入し塩釜消防署に更新配置
	４月１日	職員12名を採用し、実員228名（定員232名）となる。
	10月１日	・「緊急消防援助隊として活動する人員の属する都道府県又は市町村に無償使用させる消防用の国有財産及び国有物品の取扱いに関する省令」に基づき無償貸与された津波・大規模風水害対策車（いすゞフォワード7,790cc）を塩釜消防署に配備
	12月17日	高規格救急自動車（トヨタハイエース2,693cc）を購入し利府消防署に更新配置
平成28年	２月１日	市町村振興総合補助事業により水Ⅱ型消防ポンプ自動車（日野レンジャー6,403cc）を塩釜消防署に更新配置

年 号	月 日	記　　事
平成28年	３月25日	指揮車（日産セレナ1,997cc）を購入し多賀城消防署に更新配置
	３月31日	指令車（トヨタカムリハイブリット2,493cc）を購入し消防本部に更新配置
	４月１日	職員10名を採用し､実員227名（定員232名）となる。
	４月17日	宮城県林野火災防ぎょ訓練が宮城県総合運動公園（利府町）で開催。27機関300名が参加し、消防職員・消防団員の火災防ぎょ技術の向上を図った。併せて、組合主体で訓練に参加する航空機・車両の見学写真撮影会（来場者500名）を実施し、県民に広く防災思想の普及を図った。
	８月31日	台風第10号被害により、初の緊急消防援助隊宮城県大隊の災害派遣として、岩手県岩泉町へ出動。主に岩泉町小本川流域の行方不明者救助活動を実施し、宮城県大隊として２名救出した。 派遣期間：８月31日～９月９日（10日間）最大59名、延べ236名が出動
平成29年	２月８日	高規格救急自動車（日産パラメディック3,498cc）を購入し多賀城消防署に更新配置
	４月１日	職員６名を採用し、実員228名（定員232名）となる。
	7月～8月	平成29年度全国高等学校総合体育大会（南東北インターハイ）・第41回全国高等学校総合文化祭（みやぎ総文2017）が開催され、特別警戒を実施
	８月23日	第46回全国消防救助技術大会が宮城県総合運動公園（利府町）で開催
平成30年	２月１日	高規格救急自動車（日産パラメディック3,498cc）を購入し、塩釜消防署に更新配置
	３月１日	35m級先端屈折式梯子自動車（日野自動車）を購入し、多賀城消防署に更新配置
	４月１日	職員６名を採用し、実員225名（定員232名）となる。 ・十三代消防長に柴正浩就任
	９月１日	平成30年度宮城県総合防災訓練が七ヶ浜町で開催 70機関約2,000人が参加し、大規模災害対応能力の向上を図った。
	９月６日 ～ ９月11日	北海道胆振東部地震に伴い、緊急消防援助隊宮城県大隊の一員として北海道勇払郡厚真町へ後方支援小隊２隊（支援１、搬送１）が出動。主に宮城県大隊の後方支援活動を実施
平成31年	１月22日	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（日野自動車5,120cc）を購入し、七ヶ浜消防署に更新配置
	３月15日	アステラス製薬株式会社より高規格救急自動車１台（トヨタハイメディック）の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	３月29日	有限会社中央交通及び株式会社白寿殿より消防連絡車（トヨタクラウン）の寄贈を受け、消防本部に更新配置
	４月１日	職員６名を採用し、実員222名（定員232名）となる。 寄贈された高規格救急車を塩釜消防署に配置し、救急隊２隊体制で運用開始
令和元年	５月１日	年号が「令和」と制定される。
	10月１日	2020東京オリンピック・パラリンピックにおける警備業務の準備・運営のため、組織委員会からの要請に基づき、職員１名を派遣
	10月12日	令和元年東日本台風の警戒活動を実施（救助15件42名救出、救急17件、調査17件）
	10月13日 ～ 10月25日	令和元年東日本台風に伴い、県広域消防応援隊の一員として、丸森町へ出場延べ27隊69名が要救助者検索、住民の安否確認等の活動を実施
令和２年	３月11日	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（日野自動車5,120cc）を購入し、利府消防署に更新配置
	４月１日	職員８名を採用し、実員221名（定員232名）となる。

塩釜地区消防事務組合組織図



本部庁舎・署所等位置

区分	所在地	構造	敷地 ㎡	建物 ㎡		竣工
消防本部	〒985-0021 塩竈市尾島町17番22号	RC造 4階建	2,212.41	建	282.10	H23.3.29
				延	992.71	
塩釜消防署		RC造 2階建		建	518.00	S46.5.31
				延	911.60	
				増築	125.60	S63.11.25
多賀城消防署	〒985-0841 多賀城市鶴ヶ谷一丁目10番1号	RC造 2階建 屋上望楼	1,727.29	建	287.16	S46.1.16
				延	591.87	
				増築	332.30	H4.3.19
多賀城消防署 西部出張所	〒985-0852 多賀城市山王字中山王23番地2号	鉄骨モルタル造 平屋	403.80	建	162.40	S51.9.29
				延	162.40	
松島消防署	〒981-0213 松島町松島字蛇ヶ崎右53番地	RC造2階 塔屋付	1,265.71	建	301.00	S50.3.25
				延	545.75	
七ヶ浜消防署	〒985-0821 七ヶ浜町汐見台七丁目5番322号	鉄骨造 2階建 一部平屋	1,020.00	建	300.91	S53.9.10
				延	441.80	
利府消防署	〒981-0112 利府町利府字堀切前11番1号	鉄骨造 2階建 塔屋付	2,176.16	建	369.00	S63.3.29
				延	546.62	
組合倉庫	塩竈市貞山通二丁目1番1号	鉄骨造 2階建	224.52	建	145.92	H26.11.28
				延	255.81	

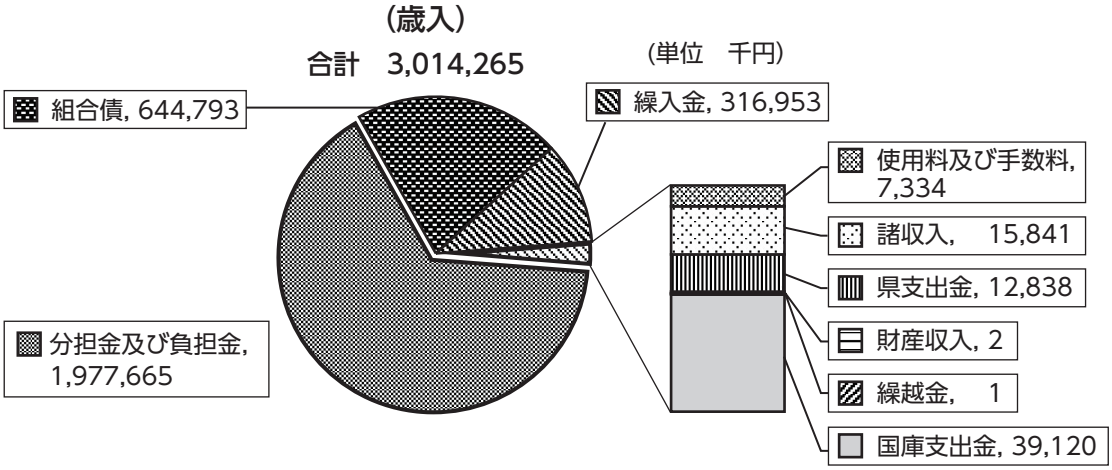
管内情勢

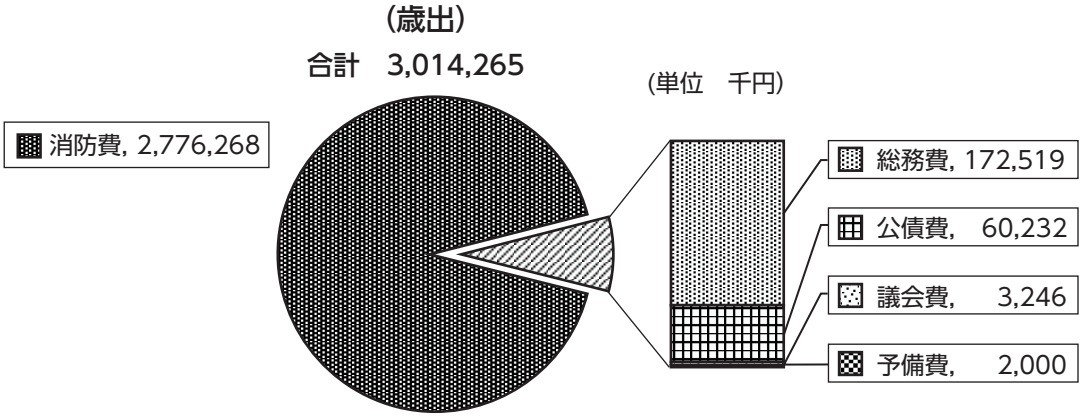
区分			管内合計	消防本部	塩釜消防署	多賀城消防署	松島消防署	七ヶ浜消防署	利府消防署	西部出張所
面積 (㎢)			148.70	－	17.37	19.69	53.56	13.19	44.89	－
世帯数			76,063	－	23,552	26,879	5,630	6,692	13,310	－
人口 (人)			185,325	－	54,192	62,241	14,073	18,765	36,054	－
消防職員数	消防吏員		216	46	46	36	24	24	32	8
	他職員		5	5	－	－	－	－	－	－
消防吏員1人当り	面積 (㎢)		0.69	－	0.38	0.45	2.24	0.55	1.41	－
	世帯数		353	－	512	611	235	279	416	－
	人口 (人)		858	－	1,179	1,415	587	782	1,127	－
消防自動車等の数	消防ポンプ車(水槽付・化学車含む)	実働車(台)	14	－	3	2	2	2	2	1
		予備車(台)	2	2	－	－	－	－	－	－
	救急車 (台)		8	2	2	1	1	1	1	－

※消防本部の消防職員数は、事務局を含む。
※西部出張所の面積、世帯数、人口は、多賀城消防署に含む。

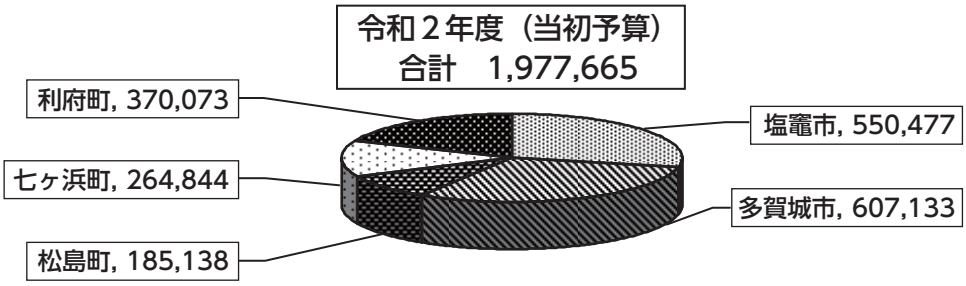
第１編　総　　務

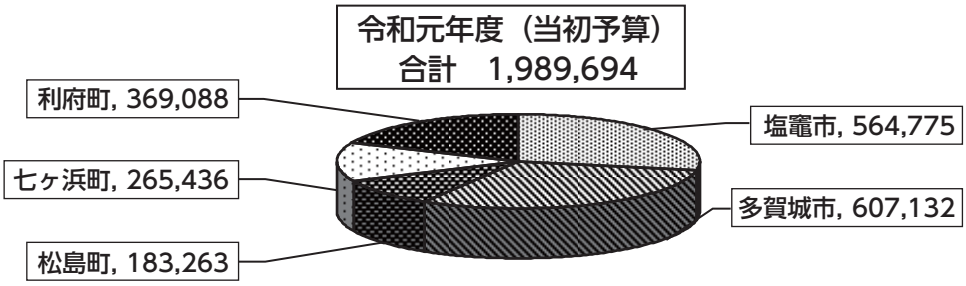
令和２年度塩釜地区消防事務組合一般会計予算（当初予算）





構成市町負担金状況





組合予算と職員数・人口・世帯数の推移

年度	予算額(千円)	消防職員		管内人口・世帯数			
		定員	実員	人口	一人当たり(円)	世帯数	一世帯当たり(円)
45	146,469	120	80	131,951	1,110	32,203	4,548
50	374,625	136	136	143,854	2,604	37,927	9,878
55	712,800	165	163	154,645	4,609	41,131	17,330
60	845,050	165	163	163,437	5,170	45,736	18,447
平元	1,050,839	165	163	168,158	6,249	49,754	21,121
5	1,413,800	185	179	181,019	7,810	55,542	25,454
10	2,083,000	220	208	190,590	10,929	61,645	33,790
15	2,004,396	227	219	192,229	10,427	65,234	30,726
20	2,043,161	227	225	191,824	10,651	68,770	29,710
25	2,051,700	227	216	188,964	10,858	71,330	28,763
27	2,054,630	232	228	188,810	10,882	73,560	27,931
28	2,022,925	232	227	187,853	10,769	74,045	27,320
29	2,022,925	232	227	187,853	10,769	74,045	27,320
30	2,121,439	232	225	186,310	11,387	75,481	28,106
令1	2,080,038	232	222	185,352	11,224	76,063	27,346
令2	**3,014,265**	**232**	**221**	**185,093**	**16,285**	**76,773**	**39,262**

組合議会等

区　分	議会議員	管理者等			監査委員	
		管理者	副管理者	会計管理者	議会選出	識見者
合　計	12	1	4	1	1	1
塩竈市	3（議 長 1）	1	—	1	—	—
多賀城市	3（副議長1）	—	1	—	—	—
松島町	2	—	1	—	1	—
七ヶ浜町	2	—	1	—	—	1
利府町	2	—	1	—	—	—

歴代消防長

区　分	歴代	階　級	氏　名	在職期間
消防長	初代	消防監	大沼　盛	S45.4.1～S48.3.31
	二代	〃	児玉金七	S48.4.1～S50.7.31
	三代	消防正監	板宮秀夫	S50.8.1～S58.6.30
	四代	〃	豊島　繁	S58.7.1～H 4.3.31
	五代	〃	目黒　久	H4.4.1～H 6.10.31
	六代	〃	吉田　稔	H6.11.2～H11.3.31
	七代	〃	田中一夫	H11.4.1～H14.3.31
	八代	〃	渡邊杜夫	H14.4.1～H17.10.31
	九代	〃	芳賀輝秀	H17.11.1～H21.3.31
	十代	〃	平山　優	H21.4.1～H23.3.31
	十一代	〃	志賀　寧	H23.4.1～H26.3.31
	十二代	〃	並木　明	H26.4.1～H30.3.31
	十三代	〃	柴　正浩	H30.4.1～現在

職員配置状況

区分	合計	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	他職員
合計	221 (8)	1	4	6	34 (1)	59 (2)	49 (3)	−	63 (2)	5
消防本部	51 (2)	1	2	3	12 (1)	12	7 (1)	−	9	5
塩釜消防署	46 (4)	−	1	−	5	13	11 (2)	−	16 (2)	−
多賀城消防署	36 (2)	−	1	−	6	11 (2)	9 (1)	−	9	−
松島消防署	24	−	−	1	3	6	6	−	8	−
七ヶ浜消防署	24	−	−	1	3	6	6	−	8	−
利府消防署	32	−	−	1	5	9	6	−	11	−
西部出張所	8	−	−	−	−	2	4	−	2	−

(　)はうち女性職員

職員年齢状況

区分	合計	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	他職員
合計	221	1	4	6	34	59	49	−	63	5
25歳未満	32	−	−	−	−	−	2	−	30	−
25～30〃	40	−	−	−	−	−	13	−	27	−
30～35〃	33	−	−	−	−	6	21	−	6	−
35～40〃	26	−	−	−	1	15	8	−	−	2
40～45〃	31	−	−	−	7	20	3	−	−	1
45～50〃	31	−	−	−	14	15	1	−	−	1
50～55〃	6	−	−	3	2	−	−	−	−	1
55歳以上	22	1	4	3	10	3	1	−	−	−

職員居住状況

区分	合計	塩竈市	多賀城市	松島町	七ヶ浜町	利府町	その他
職員数	221	40	66	10	21	34	50

消防救助隊の編成

区分	特別救助隊	水難救助隊
合計	32	10
隊長	1	1
副隊長	1	1
隊員	30	8

職員資格取得状況

区分	（実員）	救急救命士	気管挿管認定	薬剤投与認定	ブドウ糖投与	大型自動車	中型自動車	準中型自動車	普通自動車	大型特殊車	大型2種	自動2輪	けん引	6級海技士 航海	6級海技士 機関	小型船舶1級	小型船舶2級	陸上特殊無線士	海上特殊無線士	予防技術資格者 査察	予防技術資格者 設備	予防技術資格者 危険物	危険物取扱者 甲種	危険物取扱者 乙種	危険物取扱者 丙種	消防設備士 甲種	消防設備士 乙種	小型クレーン	玉掛技能	ガス溶接	アーク溶接	酸欠主任者	潜水士	銃砲取扱者	アマチュア無線	毒劇物取扱者	電気工事士	衛生管理者
合計	221	36	34	35	30	147	162	60	20	8	6	73	10	—	0	16	18	170	19	29	14	19	5	188	13	3	6	52	51	19	3	16	27	13	18	2	4	2
司令長以上	11	1	1	1	—	9	11	—	—	1	-	5	1	—	—	2	2	4	2	-	-	-	—	7	4	1	1	3	4	2	—	3	1	—	4	1	—	—
司令	34	7	7	7	4	29	34	—	—	1	1	17	5	—	-	3	1	20	2	2	3	3	—	28	6	1	1	16	15	7	—	11	7	—	4	—	—	1
司令補	59	17	16	16	15	51	58	—	—	3	5	27	3	—	—	9	6	50	12	17	4	10	4	55	3	1	4	24	23	7	2	1	9	8	8	1	2	—
士長	49	9	8	9	9	35	40	17	1	3	-	13	1	—	—	2	8	46	3	7	7	4	1	47	—	—	-	8	9	1	1	1	8	3	2	—	1	—
消防士	63	2	2	2	2	23	14	43	19	-	—	11	-	—	—	-	1	50	-	3	-	2	-	51	—	—	—	1	-	2	-	-	2	2	—	—	1	—
他職員	5	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1

職員研修状況

区分			対象者等	日数	人数
消防大学校	専科教育	危険物科	危険物保安業務に従事している者	31	1
消防学校	初任総合教育		新たに消防職員に任命された者	180	5
	専科教育	警防科	警防業務に従事している者	10	1
		特殊災害科	現場指揮の業務に従事している者	7	1
		火災調査科	火災調査業務に従事している者	10	1
		予防査察科	査察業務に従事している者	10	1
	幹部教育	上級幹部科	消防司令長以上の階級にある者	2	1
		中級幹部科	消防司令及び組織の管理を職務とする消防司令補の階級にある者	7	1
	特別教育	救急救命士再教育講習	救急救命士の資格を有する者	4	3
		救急隊員再教育講習	救急隊員として1～5年従事している者	5	3
		救助隊員再教育講習	救助隊員として1～5年従事している者	10	3
		指揮隊長教育講習	災害現場において部隊指揮、安全管理を担当する者	5	1
救急救命東京研修所	救急救命士養成研修		研修派遣を命ぜられた者	126	1

第２編　予　　防

用途別建築同意処理状況

(R 1. 12. 31)

区分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	236	19	21	43	16	16	22	22	13	16	17	12	19
専用住宅	66	5	3	18	3	6	6	7	4	2	5	2	5
観覧場・集会所等	2	−	−	−	−	−	1	1	−	−	−	−	−
キャバレー・遊技場	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
カラオケボックス	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
飲食店等	9	−	2	−	−	1	1	1	−	1	3	−	−
店舗	19	1	3	4	1	−	1	2	1	2	4	−	−
旅館・ホテル	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
共同住宅	24	2	2	2	6	−	4	1	3	−	1	−	3
病院・診療所	3	1	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−
福祉施設・保育所	3	−	−	1	−	1	−	−	−	1	−	−	−
幼稚園	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
学校	3	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	2	−
図書館・博物館	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
公衆浴場	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
駅・空港	5	1	−	−	1	−	1	−	1	1	−	−	−
神社・寺院・教会	1	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−
工場・作業所	10	1	−	−	1	2	−	−	2	1	1	1	1
車庫・駐車場	5	−	−	1	−	−	1	−	1	−	−	2	−
倉庫	7	−	−	1	−	−	1	−	−	−	−	2	3
事務所	48	6	7	5	3	4	4	6	1	5	1	2	4
複合建築物	18	2	−	4	1	2	1	2	−	2	2	−	2
危険物関係	1	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−
工作物・その他	12	−	4	3	−	−	1	2	−	−	−	1	1

市町別建築同意処理状況

(R 1. 12. 31)

年	合計	塩竈市	多賀城市	松島町	七ヶ浜町	利府町
H19年	278	77	110	13	30	48
H20年	224	64	80	5	15	60
H21年	213	66	59	11	18	59
H22年	190	59	52	18	18	43
H23年	254	72	88	15	34	45
H24年	509	181	159	36	64	69
H25年	404	117	140	53	41	53
H26年	363	101	109	40	59	54
H27年	332	107	112	49	22	42
H28年	328	102	113	28	29	56
H29年	282	89	90	20	27	56
H30年	267	92	75	16	16	68
H31年	236	64	72	29	17	54

防火対象物数

(R2. 3. 31)

区分			合計	塩竈市	多賀城市	松島町	七ヶ浜町	利府町
合計			3,774	1,076	1,444	321	314	619
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	15	1	2	1	3	8
	ロ	公会堂・集会場	66	8	11	20	17	10
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ	4	3	1	−	−	−
	ロ	遊技場・ダンスホール	12	5	3	1	−	3
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗	2	1	1	−	−	−
	ニ	カラオケボックス等	3	−	2	1	−	−
3	イ	待合・料理店	7	4	1	−	−	2
	ロ	飲食店	101	22	36	20	4	19
4		百貨店・マーケット・店舗	221	65	80	17	8	51
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	65	8	14	24	7	12
	ロ	寄宿舎・共同住宅・下宿	1,204	265	664	47	76	152
6	イ	病院・診療所・助産所	96	35	31	5	6	19
	ロ	老人福祉施設・救護施設等	54	19	16	8	4	7
	ハ	ディサービスセンター・保育所等	119	38	39	11	9	22
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	27	7	8	2	3	7
7		小学校・中学校・高等学校等	144	26	72	9	14	23
8		図書館・美術館・博物館	12	1	2	4	2	3
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	3	−	2	1	−	−
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外	1	−	−	−	−	1
10		車両の停車場・船舶等の発着場	6	1	2	3	−	−
11		神社・教会・寺院等	59	18	14	9	6	12
12	イ	工場・作業場	419	148	117	18	32	104
	ロ	テレビスタジオ・映画スタジオ	−	−	−	−	−	−
13	イ	自動車車庫・駐車場	20	2	12	1	−	5
	ロ	飛行機等の格納庫	−	−	−	−	−	−
14		倉庫	219	97	55	16	24	27
15		前各号に該当しない事業所	497	143	131	58	76	89
16	イ	複合用途（特定）	274	102	92	34	18	28
	ロ	複合用途（その他）	113	53	36	4	5	15
17		文化財	11	4	−	7	−	−

※対象物数については、棟単位の数

危　険　物　施　設　数

(R2. 3.31)

製造所等別＼市町別		計	塩竈市	多賀城市	松島町	七ヶ浜町	利府町
製造所		2	1	−	−	1	−
貯蔵所	屋内貯蔵所	46	14	12	4	4	12
	屋外タンク貯蔵所	173	116	26	9	20	2
	屋内タンク貯蔵所	11	5	1	5	−	−
	地下タンク貯蔵所	96	27	31	15	4	19
	簡易タンク貯蔵所	2	−	−	1	−	1
	移動タンク貯蔵所	590	203	236	7	95	49
	屋外貯蔵所	25	17	5	1	1	1
	小計	943	382	311	42	124	84
取扱所	給油取扱所	84	23	26	9	7	19
	販売取扱所	7	4	−	3	−	−
	移送取扱所	8	7	−	−	1	−
	一般取扱所	100	29	35	7	16	13
	小計	199	63	61	19	24	32
合計		1,144	446	372	61	149	116

危　険　物　廃　止　届　出　数

〔移動タンク貯蔵所の転出を含む〕　(R2. 3.31)

製造所等別＼市町別		計	塩竈市	多賀城市	松島町	七ヶ浜町	利府町
製造所		−	−	−	−	−	−
貯蔵所	屋内貯蔵所	−	−	−	−	−	−
	屋外タンク貯蔵所	−	−	−	−	−	−
	屋内タンク貯蔵所	−	−	−	−	−	−
	地下タンク貯蔵所	1	1	−	−	−	−
	簡易タンク貯蔵所	−	−	−	−	−	−
	移動タンク貯蔵所	66	27	24	1	9	5
	屋外貯蔵所	−	−	−	−	−	−
	計	67	28	24	1	9	5
取扱所	給油取扱所	1	−	1	−	−	−
	販売取扱所	−	−	−	−	−	−
	移送取扱所	−	−	−	−	−	−
	一般取扱所	−	−	−	−	−	−
	計	1	−	1	−	−	−
合計		68	28	25	1	9	5

第四類危険物の貯蔵取扱許可数量

（単位kl）

（R2. 3.31）

製造所等別＼品名別		計	第１石油類	第２石油類	第３石油類	第４石油類	動植物油類	アルコール類
製造所		7,135.83	6,471.60	2.40	648.03	13.80	－	－
貯蔵所	屋内貯蔵所	2,214.85	334.85	236.41	480.30	837.28	1.41	324.60
	屋外タンク貯蔵所	630,420.73	503,439.50	80,736.50	43,366.03	126.20	－	2,752.50
	屋内タンク貯蔵所	111.92	－	3.65	84.37	－	20.00	3.90
	地下タンク貯蔵所	1,553.35	28.00	707.85	791.60	25.90	－	－
	簡易タンク貯蔵所	1.74	1.17	0.57	－	－	－	－
	移動タンク貯蔵所	18,399.77	7,245.60	7,941.10	3,006.47	60.00	－	146.60
	屋外貯蔵所	1,637.60	－	203.80	526.60	907.20	－	－
	小計	654,339.96	511,049.12	89,829.88	48,255.37	1,956.58	21.41	3,227.60
取扱所	給油取扱所	3,538.93	1,603.50	1,862.03	70.20	3.20	－	－
	販売取扱所	25.60	－	25.60	－	－	－	－
	移送取扱所	97,104.00	30,988.00	40,498.00	24,268.00	－	－	1,350.00
	一般取扱所	102,048.67	37,388.20	48,565.85	13,558.50	2,228.77	23.00	284.35
	小計	202,717.20	69,979.70	90,951.48	37,896.70	2,231.97	23.00	1,634.35
合計		864,192.99	587,500.42	180,783.76	86,800.10	4,202.35	44.41	4,861.95

第四類以外危険物の貯蔵取扱許可数量

（単位kg）

（R2. 3.31）

製造所等別＼品名別		計	第１類	第２類	第３類	第５類	第６類
製造所		－	－	－	－	－	－
貯蔵所	屋内貯蔵所	25,200.00	－	20,000.00	－	5,200.00	－
	屋外タンク貯蔵所	14,750,000.00	－	14,750,000.00	－	－	－
	屋内タンク貯蔵所	－	－	－	－	－	－
	地下タンク貯蔵所	－	－	－	－	－	－
	簡易タンク貯蔵所	－	－	－	－	－	－
	移動タンク貯蔵所	－	－	－	－	－	－
	屋外貯蔵所	5,000.00	－	5,000.00	－	－	－
	小計	14,780,200.00	－	14,775,000.00	－	5,200.00	－
取扱所	給油取扱所	－	－	－	－	－	－
	販売取扱所	－	－	－	－	－	－
	移送取扱所	－	－	－	－	－	－
	一般取扱所	250,000.18	－	250,000.00	－	0.18	－
	小計	250,000.18	－	250,000.00	－	0.18	－
合計		15,030,200.18	－	15,025,000.00	－	5,200.18	－

市町別危険物施設の許可及び検査状況

(R2.3.31)

市町別	区分＼製造所等	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
				小計	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油	販売	移送	一般
塩竈市	設置許可	9	－	8	－	－	－	－	－	8	－	1	－	－	－	1
	設置完成検査	11	－	9	－	1	－	－	－	8	－	2	1	－	－	1
	変更許可	36	－	32	－	15	－	－	－	17	－	4	－	－	2	2
	変更完成検査	33	－	30	－	13	－	－	－	17	－	3	－	－	2	1
	仮使用承認	8	－	6	－	6	－	－	－	－	－	2	－	－	－	2
多賀城市	設置許可	9	－	9	－	－	－	－	－	9	－	－	－	－	－	－
	設置完成検査	8	－	8	－	－	－	－	－	8	－	－	－	－	－	－
	変更許可	27	－	22	－	－	－	－	－	20	2	5	－	－	－	5
	変更完成検査	25	－	22	－	－	－	－	－	20	2	3	－	－	－	3
	仮使用承認	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	－	－	－	5
松島町	設置許可	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	設置完成検査	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	変更許可	1	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－
	変更完成検査	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	仮使用承認	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
七ヶ浜町	設置許可	6	－	6	－	－	－	－	－	6	－	－	－	－	－	－
	設置完成検査	6	－	6	－	－	－	－	－	6	－	－	－	－	－	－
	変更許可	22	1	21	－	4	－	－	－	17	－	－	－	－	－	－
	変更完成検査	21	1	20	－	3	－	－	－	17	－	－	－	－	－	－
	仮使用承認	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
利府町	設置許可	4	－	4	－	－	－	1	－	3	－	－	－	－	－	－
	設置完成検査	4	－	4	1	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－
	変更許可	4	－	1	－	－	－	1	－	－	－	3	3	－	－	－
	変更完成検査	4	－	1	－	－	－	1	－	－	－	3	3	－	－	－
	仮使用承認	4	－	1	－	－	－	1	－	－	－	3	3	－	－	－
合計	設置許可	28	－	27	－	－	－	1	－	26	－	1	－	－	－	1
	設置完成検査	29	－	27	1	1	－	－	－	25	－	2	1	－	－	1
	変更許可	90	1	77	－	19	－	2	－	54	2	12	3	－	2	7
	変更完成検査	83	1	73	－	16	－	1	－	54	2	9	3	－	2	4
	仮使用承認	17	－	7	－	6	－	1	－	－	－	10	3	－	－	7

石油コンビナート等特別防災区域概要

1　特定事業所の現況

（1）　塩釜地区　　面積　206,583㎡　　（R 2. 3.31）

特定事業所名	種別	市町
カメイ物流サービス㈱	第1種	塩竈市
東西オイルターミナル㈱塩釜油槽所	第1種	
昭和シェル石油㈱塩釜油槽所	第1種	
ＪＸＴＧエネルギー㈱塩釜油槽所	第1種	
出光興産㈱塩釜油槽所	第1種	

○危険物施設概要

屋外タンク貯蔵所　　１０１基

・特定屋外タンク貯蔵所（1,000kl以上）　　（４１基）

・準特定屋外タンク貯蔵所（500kl以上）　　（４１基）

・その他の屋外タンク貯蔵所　　（１９基）

高圧ガスタンク　　８基

○石油類等の貯蔵・取扱量

石油類の貯蔵・取扱量　　２７２，１２２．７３０ Kl
石油類の貯蔵量　　１５１，３７６．７３０ kl
石油類の取扱量　　１２０，７４６．０００ kl

高圧ガスの処理量　　９４１，１１７ Nm³

○共同防災組織概要

防災要員　　常駐　　８名（防災センター）
駆け付け要員　　６名（事業所駆け付け）
計　　１４名

○防災資器材等

甲種普通化学消防車　　１　台
普通高所放水車　　１　台
泡消火薬剤　　７，５６０　リットル
可搬式放水砲　　２，０００　リットル/min　　１基
オイルフェンス　　Ｂ型　５４０ｍ
耐熱服　　２　着
空気呼吸器　　２　基

○災害防止協定等

塩釜石油基地災害防止に関する協定書（昭和４８年１２月）
消防道路の設置　　（幅員　８ｍ　　延長　４００ｍ）
災害相互応援協定の締結（平成８年３月２７日）
〔仙台地区及び塩釜地区の共同防災組織相互の応援〕

○緩衝緑地の設置（石災法に基づく）

一本松地区　　７０，１６６㎡
（昭和５３年から５７年に実施）
中の島地区（休憩緑地）　　２２，６００㎡

（２）　仙台地区（一部）　　（R 2. 3.31）

特定事業所名	種別	市町
東邦アセチレン㈱仙台事業所	第２種	多賀城市
ＪＸＴＧエネルギー㈱仙台製油所	第１種	仙台市 多賀城市 七ヶ浜町

○危険物施設概要

屋外タンク貯蔵所　　１５基
・特定屋外タンク貯蔵所（1,000kl以上）　　（９基）
・準特定屋外タンク貯蔵所（500kl以上）　　（０基）
・その他の屋外タンク貯蔵所　　（６基）

○石油類等の貯蔵・取扱量

石油類の貯蔵・取扱総数量　　５５３，５５７．７７１ kl
製造所における数量　　７，１２０．５９１ kl
貯蔵所における数量　　４７４，０７０．７００ kl
取扱所における数量　　７２，３６６．４８０ kl

高圧ガスの処理量　　４１，９４１，２７８ Nm³

第３編　警　　防

消 防 水 利 現 況

水利区別 ＼ 市町別			合計	塩竈市	多賀城市	松島町	七ヶ浜町	利府町
消火栓	合計		2,785	1,054	670	273	399	389
	公設	７５㎜	225	16	66	25	46	72
		１００㎜	1,037	424	299	108	76	130
		125～150㎜	947	383	174	48	227	115
		２００㎜	207	61	52	18	29	47
		２５０㎜	114	72	25	8	1	8
		300㎜以上	187	93	53	24	5	12
	私設		68	5	1	42	15	5
防火水槽	合計		646	121	182	72	115	156
	公設	４０㎥未満	20	11	2	2	5	―
		４０㎥以上	543	102	157	53	103	128
		８０㎥以上	6	0	1	1	4	―
	私設		77	8	22	16	3	28
その他	合計		156	17	13	70	32	24
	池・プール	海水	110	4	1	65	28	12
			46	13	12	5	4	12

消 火 薬 剤 保 有 状 況

区分 ＼ 品名	合成界面活性剤（メガフォームAGF3T）（メガフォームF610AT）等	水成膜（メガフォームF623T）（メガフォームF633T）等	たん白（たん白泡原液）（フロロプロテインアルコフォーム）
合計	17,830 ℓ	740 ℓ	620 ℓ
塩釜消防署	320	―	―
多賀城消防署	2,010	240	20
松島消防署	480	―	―
七ヶ浜消防署	500	―	―
利府消防署	1,040	500	―
西部出張所	180	―	―
消防本部	13,300	―	600

消防車両等の現況（その1）

区分	車両名称	シャシ	年式	馬力	使用年月	水槽容量 m³	薬液容量 m³	無線名称	ポンプ規格	艤装会社
消防本部	指令１	トヨタ	Ｈ２８	205	3. 01	—	—	塩消指令１	—	—
	本連１	トヨタ	Ｈ２５	178	0. 01		—	塩消本連１	—	トヨタ
	警防指揮1	スズキ	Ｈ１６	115	14. 05	—	—	塩消警防指揮１	—	スズキ
	指揮隊１	トヨタ	Ｈ２７	160	4. 01	—	—	塩釜指揮隊１	—	アオキ
	輸送１	日野	Ｈ２７	150	4. 01	—	—	塩釜輸送１	—	日野
	予防連絡車	日産	Ｈ２６	147	5. 01	—	—	—	—	—
	予備１	日野	Ｈ８	205	22. 01	2. 0	—	塩消予備１	Ａ－１	日機
	予備２	三菱	Ｈ１４	225	17. 01	1. 5	0. 5	—	Ａ－１	ドライ
	予備３	日野	Ｈ１４	220	17. 05	1. 5	0. 5	—	Ａ－１	日機
	搬送１	トヨタ	Ｈ２０	136	11. 10	—	—	塩消搬送１	—	トヨタ
	救急８	日産	Ｈ１８	240	14. 01	—	—	—	—	日産
	津波・大規模風水害対策車	いすゞ	Ｈ２７	260	4. 07	—	—	塩釜災対１	—	赤尾
	塩釜支援１	日野	Ｈ２３	360	9. 01	—	—	塩消支援１	—	ヨコハマモーター
	消火通報訓練指導車	マツダ	Ｈ１８	100	13. 08	—	—	—	—	マツダ
塩釜消防署	塩釜１	日野	Ｈ２８	220	4. 03	2. 0	—	塩釜１	Ａ－２	日機
	塩釜２	日野	Ｈ２７	130	5. 01	—	—	塩釜２	Ａ－２	日機
	水槽１	日野	Ｈ２３	380	9. 01	10. 0	—	塩釜水槽１	Ｂ－２	日機
	高所１	日野	Ｈ２１	320	11. 01	—	—	塩釜高所１	Ａ－１	モリタ
	救急１	日産	Ｈ３０	172	2. 03	—	—	塩釜救急１	—	日産
	救急６	トヨタ	Ｈ３１	151	1. 01	—	—	塩消救急６	—	トヨタ
	指揮１	トヨタ	Ｈ１５	110	16. 05	—	—	塩釜指揮１	—	トヨタ
	連絡１	三菱	Ｈ２５	48	6. 10	—	—	—	—	—
	消防艇	—	Ｈ３	640	29. 01	—	0. 5	塩釜艇１	Ａ－１	墨田川
	搬送２	いすゞ	Ｈ２７	210	5. 02	—	—	塩釜搬送２	—	いすゞ
多賀城消防署	化学１	日野	Ｈ１６	390	16. 01	2. 0	1. 8	多賀城化学1	Ａ－１	日機
	多賀城２	日野	Ｈ２４	150	8. 01	—	—	多賀城２	Ａ－２	ＧＭ
	梯子１	日野	Ｈ３０	380	2. 03	—	—	多賀城梯子1	—	モリタ
	救助１	日野	Ｈ２４	220	8. 01	—	—	多賀城救助１	—	モリタ
	救助２	いすゞ	Ｈ２１	110	11. 01	0.3	—	—	—	サクラ
	救急２	日産	Ｈ２９	240	3. 03	—	—	多賀城救急２	—	日産
	指揮２	日産	Ｈ２８	147	4. 01	—	—	多賀城指揮２	—	日産
	連絡２	三菱	Ｈ２５	48	6. 10	—	—	—	—	—

消防車両等の現況（その2）

区分	車両名称	シャシ	年式	馬力	使用年月	水槽容量 m³	薬液容量 m³	無線名称	ポンプ規格	艤装会社
松島消防署	松島1	日野	H17	220	15. 03	2. 0	—	松島1	A－1	日機
	松島2	日野	H18	150	13. 04	—	—	松島2	A－2	日機
	梯子2	日野	H7	195	25. 00	—	—	松島梯子2	A－2	日機
	救急3	トヨタ	H26	160	5. 04	—	—	松島救急3	—	トヨタ
	指揮3	トヨタ	H18	150	13. 09	—	—	松島指揮3	—	トヨタ
七ヶ浜消防署	化学2	日野	H31	240	1. 04	1. 5	—	七ヶ浜化学2	A－1	日機
	七ヶ浜2	日野	H24	150	8. 00	—	—	七ヶ浜2	A－2	GM
	救急4	トヨタ	H24	151	7. 02	—	—	七ヶ浜救急4	—	トヨタ
	指揮4	マツダ	H23	144	9. 03	—	—	七ヶ浜指揮4	—	マツダ
利府消防署	化学3	日野	R2	240	0. 02	1. 5	0. 5	利府化学3	A－2	モリタ
	利府2	日野	H22	150	10. 01	—	—	利府2	A－2	モリタ
	救急5	トヨタ	H27	151	4. 04	—	—	利府救急5	—	トヨタ
	救急7	トヨタ	H24	151	8. 03	—	—	—	—	トヨタ
	指揮5	マツダ	H22	144	10. 02	—	—	利府指揮5	—	マツダ
西部	西部1	日野	H26	220	6. 00	2. 0	—	西部1	A－2	日機

消防車両等配置状況

車両別／署所別	合計	普通ポンプ車	水槽付ポンプ車	化学消防自動車	大型水槽車	大型高所放水車	35m級梯子車	20m級梯子車	救助工作車（災対車含む）	高規格救急車	指令車・指揮車	消防連絡車	消防艇	搬送車	人員輸送車	支援車	消火通報訓練指導車	予備ポンプ車	予備高規格救急車	非常用救急車
合計	47	5	3	3	1	1	1	1	3	6	8	4	1	2	1	1	1	3	1	1
消防本部	14	－	－	－	－	－	－	－	1	－	3	2	－	1	1	1	1	3	－	1
塩釜消防署	10	1	1	－	1	1	－	－	－	2	1	1	1	1	－	－	－	－	－	－
多賀城消防署	8	1	－	1	－	－	1	－	2	1	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－
松島消防署	5	1	1	－	－	－	－	1	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
七ヶ浜消防署	4	1	－	1	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
利府消防署	5	1	－	1	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－
西部出張所	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

消防資機材保有状況（その1）

資機材名 ＼ 署所別		保有数	塩釜消防署	多賀城消防署	松島消防署	七ヶ浜消防署	利府消防署	西部出張所	備考 予備
ホース	６５㎜（高圧含む）	312	59	83	52	40	59	19	－
	５０㎜	357	66	71	57	52	79	32	－
	４０㎜	42	8	9	9	7	7	2	－
放水器具	無反動管鎗	35	4	8	6	6	6	3	2
	プロジェットガン	9	1	2	1	2	2	－	1
	東消式発泡器	2	－	－	1	0	1	－	－
	放水銃（可搬式含む）	5	－	1	－	1	2	－	1
	泡管鎗	14	2	4	1	1	5	1	－
	ピックアップノズル	7	－	1	2	0	2	－	2
	クワドラフォグノズル	23	5	4	2	4	5	3	－
	ラインプロポーショナー	9	2	1	1	1	2	1	1
	小型動力ポンプ	7	1	1	1	1	1	1	1
照明	携帯用発電機	15	4	4	3	1	1	1	1
保安・救助器具等	空気呼吸器	74	12	21	12	8	12	4	5
	軽量ボンベ	143	28	39	22	21	25	8	－
	ガス測定器	12	2	3	2	2	2	1	－
	耐熱服	17	6	8	－	－	－	－	3
	耐電衣	10	2	8	－	－	－	－	－
	陽圧式化学防護服	9	－	9	－	－	－	－	－
	油圧式救助器具	6	1	2	1	－	2	－	－
	油圧カッター	2	－	1	1	－	－	－	－
	緩降機	1	－	1	－	－	－	－	－
	救命索発射銃	1	－	1	－	－	－	－	－
	エアツール	2	－	1	1	－	－	－	－
	マンホール資機材	1	－	1	－	－	－	－	－
	CMCレスキューキット	1	－	1	－	－	－	－	－
	多目的画像音声探索システム	1	－	1	－	－	－	－	－

消防資機材保有状況（その2）

	署所別 / 資機材名	保有数	塩釜消防署	多賀城消防署	松島消防署	七ヶ浜消防署	利府消防署	西部出張所	備考 予備
保安・救助器具等	エンジンカッター	5	1	1	1	1	1	―	―
	チェンソー	7	1	2	1	1	1	―	1
	チルホール	6	1	2	1	1	1	―	―
	削岩機（ピコ１４）	2	1	1	―	―	―	―	―
	アクアラングボンベ	8	―	8	0	―	―	―	―
	ガス溶断器	1	―	1	―	―	―	―	―
	空気式救助マット	1	―	1	―	―	―	―	―
	組立式救命ボート	4	1	1	1	―	―	―	1
	救命ゴムボート	10	3	2	2	1	1	―	1
	送排風機	1	―	1	―	―	―	―	―
	スプレッダー	8	2	2	2	1	1	―	―
	ラムシリンダー	2	―	1	1	―	―	―	―
	エアマイティー	2	―	2	―	―	―	―	―
	ペダルカッター	1	―	1	―	―	―	―	―
	エアーソー	1	―	1	―	―	―	―	―
	災害救助用スコープ	5	1	1	1	1	1	―	―
	熱画像直視装置	2	―	1	1	―	―	―	―
	ストライカー	7	1	2	1	1	1	1	―
その他消防資機材	金属探知器	1	―	1	―	―	―	―	―
	コンプレッサー	5	1	1	1	1	1	―	―
	充電機	6	1	1	1	1	1	1	―
	給水タンク	2	―	―	1	1	―	―	―
	林野火災用資機材	2	―	―	1	―	1	―	―
			（小型可搬ポンプ・ホース・水槽５ｔ・５００ℓ　各１）						
	エアテント一式	3	〔４ｍ×４ｍ　１基　　６ｍ×６ｍ　２基（蛍光灯付）〕						
	発電機・投光器一式	1	※ 緊急消防援助隊関係 消防本部保管						
	簡易ベット・椅子	一式	椅子7　ベッド18						
	簡易テント(タープ)	1							

救急資器材保有状況

署所別 資器材名	保有数	塩釜消防署	多賀城消防署	松島消防署	七ヶ浜消防署	利府消防署	西部出張所	予備
加湿酸素吸入装置	7	1	1	1	1	1	―	2
酸素ボンベ　（１０Ｌ）	29	6	5	5	5	6	―	2
酸素ボンベ　（４Ｌ）	12	8	―	―	―	―	―	4
酸素ボンベ　（２Ｌ）	28	5	6	4	4	4	―	5
デマンド吸入装置	7	1	1	1	1	1	―	2
ストレッチャー	7	2	1	1	1	1	―	1
サブストレッチャー	3	―	―	―	1	―	―	2
スクープストレッチャー	7	2	1	1	1	1	―	1
電動吸引器	9	2	2	2	1	2	―	―
患者監視モニター	8	2	1	1	1	1	―	2
静脈可視化装置	1	―	1	―	―	―	―	―
減圧固定具	7	1	1	1	1	1	―	2
自動式人工呼吸器	6	2	1	1	1	1	―	―
手動式人工呼吸器	8	2	1	1	1	1	1	1
ＣＰＲボード	3	―	―	―	―	1	―	2
ターポリン担架	8	3	1	1	1	1	―	1
喉頭鏡	11	3	2	2	2	1	―	1
スペースライザー消毒器	5	1	1	1	1	1	―	―
オゾン発生器	6	2	1	1	1	1	―	―
自動心臓マッサージシステム	4	―	1	1	1	1	―	―
半自動式除細動器	7	2	1	1	1	1	―	1
輸液用ポンプ	2	―	―	―	1	―	―	1
血中酸素飽和度測定器（携帯用）	7	2	1	1	1	1	―	1
バックボード	7	2	2	1	1	1	―	―
プロライトスピードボード	5	1	1	1	1	―	―	1
ＡＥＤ（自動体外式除細動器）	6	1	1	1	1	1	1	―

組合管内各市町消防団現況

区分 / 消防団別	分団数	団員数		
		定員	実員	欠員
合計	３８分団　１救護本部	1,046	790	256
塩竈市塩竈消防団	４分団　１救護本部	165	80	85
塩竈市浦戸消防団	２　分　団	80	54	26
多賀城市消防団	８　分　団	200	156	44
松島町消防団	６　分　団	250	210	40
七ヶ浜町消防団	１０　分　団	220	181	39
利府町消防団	８　分　団	131	109	22

組合管内各市町消防団機械器具現況

資機材別 / 消防団別	普通ポンプ車	可搬小型動力消防ポンプ	積載車（車両のみ）	ホース（本）
合計	15	52	35	1,527
塩竈市塩竈消防団	2	7	2	207
塩竈市浦戸消防団	―	8	4	188
多賀城市消防団	6	2	2	258
松島町消防団	1	23	15	351
七ヶ浜町消防団	6	4	4	334
利府町消防団	―	8	8	189

第４編　指　　令

通信施設配置状況

区分		合計	消防本部	塩釜消防署	塩竈市役所	多賀城消防署	多賀城市役所	松島消防署	松島町役場	七ヶ浜消防署	七ヶ浜町役場	利府消防署	利府町役場	西部出張所	仙台市消防局	防災関係機関
指令装置		1	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
119番専用回線		5	5	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
指令端末装置直通回線		6	−	1	−	1	−	1	−	1	−	1	−	1	−	−
警察直通電話回線		1	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
防災機関等直通電話回線		14	−	−	1	−	1	−	1	−	1	−	1	−	1	8
特別加入電話回線		5	5	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
緊急連絡用電話回線		6	−	1	−	1	−	1	−	1	−	1	−	1	−	−
電話関係	固定加入電話	45	19	6	−	1	−	6	−	6	−	6	−	1	−	−
	内線回線	78	35	15	1	2	1	6	1	6	1	6	1	1	1	1
	ファクシミリ	12	6	1	−	1	−	1	−	1	−	1	−	1	−	−
	携帯電話	20	8	3	−	2	−	2	−	2	−	2	−	1	−	−
無線関係	固定局	3	3	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	基地局	2	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	移動局（車載型）	38	10	8	−	6	−	5	−	4	−	4	−	1	−	−
	移動局（可搬型）	7	2	1	−	1	−	1	−	1	−	1	−	−	−	−
	移動局（卓上型）	3	3	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	移動局（携帯型）	36	13	5	−	5	−	4	−	4	−	4	−	1	−	−
	署活動用	51	8	10	−	10	−	7	−	7	−	7	−	2	−	−
	受令機	4	3	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−

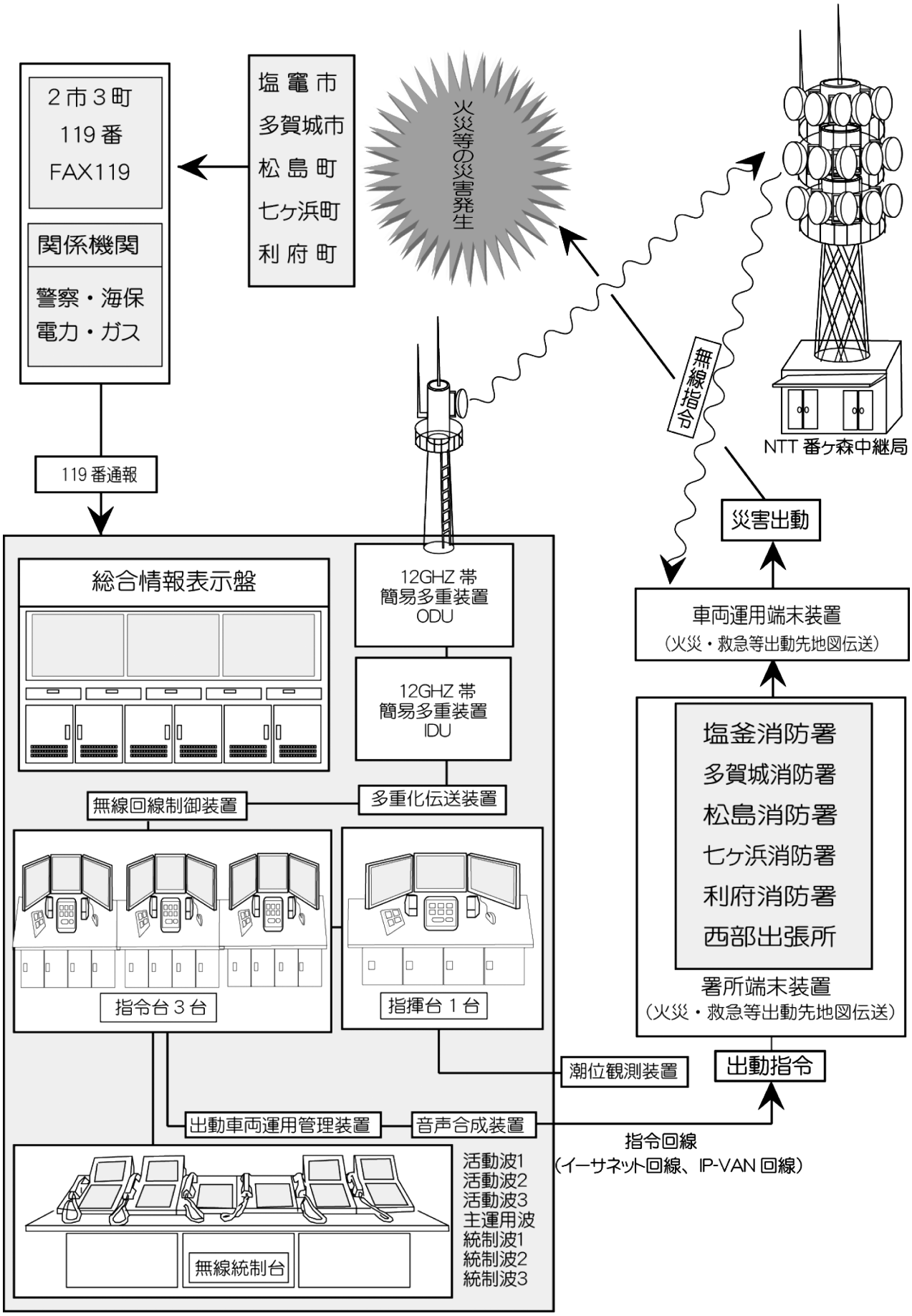
無線通信施設（アナログ無線）

	基数	市町第１波	市町第２波	県内共通波	全国第１波	全国第２波	全国第３波	救急波	防災相互通信波	備考
基地・固定局（10w）	1	−	−	−	−	−	−	−	1	指令課「しおしょうほんぶ」
移動局１０ｗ	1	−	−	−	−	−	−	−	1	支援1
携帯　５ｗ，１ｗ	7	−	−	−	−	−	−	−	7	塩釜1001～1005, 災対1, 2

無線通信施設（デジタル無線等）

		基数	活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	署活動用第１波	署活動用第２波	備考
基地・多重無線固定局		3	3	3	3	3	3	3	3	−	−	
移動局	(車載型)	38	38	38	38	38	38	38	38	−	−	
	(可搬型)	7	7	7	7	7	7	7	7	−	−	
	(卓上型)	3	3	3	3	3	3	3	3	−	−	
	(携帯型)	36	36	36	36	36	36	36	36	−	−	
署活動用１ｗ		51	−	−	−	−	−	−	−	51	51	
電波型式		基地局:5K80G1D、多重無線固定局:2M50G7W										
空中線電力		基地局:10w、多重無線固定局:300mw										

消防緊急通信指令システム図



通信指令装置の機能概要

装置の名称	装　置　の　機　能
指令装置	塩釜地区二市三町からの火災、救急、その他各種災害の119番通報を受付する指令台及び指令業務、無線交信等を効率よく行うため、統合型位置情報通知装置、自動出動指定装置、地図等検索装置、表示盤、デジタル無線設備等の各通信機器、情報機器と連携させ、最新のVOIP化技術によりフルデジタル化で構成されています。
自動出動指定装置	システムの自動化機能を制御し、各種検索、災害地点及び災害種別の決定により、出動隊の自動編成、出動指令、表示盤制御、進行事案の管理を行います。
地図等検索装置	自動出動指定装置と接続され、災害地点の地図等を表示するほか、単独での検索も可能で、地図上からの逆検索により災害地点を自動出動指定装置へ逆転送し、災害地点の確定と自動隊編成を行えるものです。
表示盤	60インチLCD3画面にて、消防、救急受付業務で必要な気象観測情報、気象通報及び車両運用状況、監視カメラ映像等を表示します。
音声合成装置	自動出動指定装置と連動し、災害通報の覚知情報をもとに災害種別、災害地点、出動車両等の情報を自動的に編集し自動出動指定装置から指令等が音声合成により出力します。
指令電送装置	出動指令操作と連動して自動出動指定装置からの出動指令情報及び地図等検索装置からの災害地点周辺地図を署所等に電送します。
署所端末装置	各署所に設置され、指令センターとNTT専用線（イーサネット回線、IP-VAN回線）で接続し、指令装置から各署所に出動の予告音や、音声合成の指令放送等が行われます。
順次指令装置	災害発生時、関係職員及び各市町に順次呼出による災害発生通報を順次配信します。
出動車両運用管理装置	管理装置と車両運用端末装置で構成され、車両運用端末装置からの動態、車両位置情報を管理装置で受け、自動出動指定装置及び車両運用表示盤に反映するものです。
災害状況等自動案内装置	市町民からの災害出動等の状況問い合わせに自動的に応答します。
統合型位置情報通知装置	携帯電話、固定電話、IP電話から送信される位置情報を受信し、連動する指令台に送信することにより、自動出動指定装置及び地図検索装置に情報・地図が表示され、地点決定をします。
無線統制台	基地局無線機と接続し、出動車両の無線交信を集中制御する操作台です。
Eメール指令装置	指令台の災害覚知情報に基づき、指令起動操作と連動して火災、災害情報を消防職員、関係者が所有する携帯電話等へ電子メールで通知します。
電源設備	システムに必要な電源設備は無停電電源設備（AC100V系）直流電源装置（DC12V系）直流電源装置（DC48V系）非常用発電機で各種の電源を一元的に管理します。
119番FAX受信装置	要援護者等からの119番FAX通報を受信する専用の受信装置です。

NET119緊急通報システム	音声による119番通報が困難な聴覚・言語機能障害者がスマートフォン等を使用し、Web上から円滑に消防へ通報を行えるようにするシステムです。（令和2年7月より運用開始）
駆け込み通報装置	各署所に設置され、職員が災害等で不在の場合、本装置の受話機を取ることで指令台と直接通話でき、指令台側では119番受信時と同様に自動出動指定装置と連動して指令業務を行います。
システム監視装置	主要機器のヘルスチェックの状況を自動で監視し、システムの運用状況及び障害発生時の状況を履歴として保持し、指令センター員に通知します。
データ修正装置	自動出動指定装置、地図等検索装置、車両動態管理装置、各種表示盤の各データの修正等をオンラインにて行うメンテナンス装置です。
長時間録音装置	各指令台で扱う119番通報内容、無線交信内容を時刻と共に自動録音し、日時、相手番号等で検索・再生することができます。
庁舎監視装置	各署所にネットワークカメラを設置。撮影した映像を指令センターディスプレイに表示し、各庁舎周囲を監視します。
気象情報収集装置	各種の気象状況を自動観測し、指令台に表示及び記録を行い災害対策の支援情報として活用します。
デジタル無線設備	指令センターと番ヶ森基地局をパラボラ空中線、多重無線設備で無線アプローチ回線を構成し、無線運用は音声通信のみならず、データ通信機能も備え、また、一斉通信に加え、グループ及び個別セレコール機能を具備するなど秘匿性に優れる、高機能・高性能な設備です。

その他の機器の概要

装置の名称	装置の機能
超音波式潮位観測装置	松島湾内3ヶ所（塩竈市港町・松島町磯崎・七ヶ浜町花渕浜）に超音波式潮位観測装置を設置し、観測された潮位データは専用線によって消防本部へ送られ、収集されたデータは、消防本部で処理、グラフ、表、地図画面により表示されると同時に、管内二市三町（市役所・町役場）にも配信され、潮位の変化を監視します。
全国瞬時警報システム （J-ALERT）	日本国内で地震や津波による大規模災害や武力攻撃等が発生した際に、総務省消防庁から提供される国民保護に関する情報を、地域衛星通信ネットワーク経由で受信して解析処理を行い、指令制御装置等と接続し、本部・各署所庁内放送及びデジタル無線施設に自動送信することで、消防職員へ情報を迅速に伝達するものです。 ※ J-ALERTにより伝達される情報 ① 地震情報（緊急地震速報、震度速報等） ② 津波情報（大津波警報、津波警報、津波注意報） ③ 気象情報（気象警報、気象注意報） ④ 有事関連情報（弾道ミサイル情報、ゲリラ攻撃、大規模テロ情報等） ⑤ その他（火山情報、土砂災害警戒情報、その他の国民保護情報等）

災　害　受　付　状　況（１月～６月）

区分 月別	種別	火災	救急	救助	その他の災害	訓練	いたずら	間違い	問合せ	試験	他管内	その他	合計
1　月	１１９番	－	461	1	1	22	1	9	5	2	1	29	532
	携帯119	3	346	3	5	4	－	19	16	－	17	43	456
	加入電話	－	47	1	11	4	－	2	－	21	－	13	99
	その他	－	3	－	－	－	－	－	－	2	－	－	5
	小　計	3	857	5	17	30	1	30	21	25	18	85	1,092
2　月	１１９番	1	387	－	4	30	1	6	3	－	－	22	454
	携帯119	－	259	3	2	2	－	18	11	－	10	35	340
	加入電話	1	46	－	6	－	－	1	－	25	－	18	97
	その他	－	3	－	1	－	－	－	－	－	－	－	4
	小　計	2	695	3	13	32	1	25	14	25	10	75	895
3　月	１１９番	2	375	－	4	61	－	13	4	4	1	22	486
	携帯119	2	255	3	2	8	－	25	7	－	11	41	354
	加入電話	－	49	1	4	－	－	－	－	36	－	6	96
	その他	－	3	－	1	－	－	－	－	2	－	－	6
	小　計	4	682	4	11	69	0	38	11	42	12	69	942
4　月	１１９番	－	370	－	1	41	18	14	7	2	1	30	484
	携帯119	3	248	3	1	6	6	17	16	－	14	48	362
	加入電話	2	67	2	6	5	－	－	－	19	－	35	136
	その他	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
	小　計	5	687	5	8	52	24	31	23	21	15	113	984
5　月	１１９番	3	379	－	1	59	1	13	7	－	－	29	492
	携帯119	1	292	2	6	2	2	16	14	1	14	55	405
	加入電話	1	60	3	2	1	－	2	－	26	－	24	119
	その他	－	4	－	1	－	－	－	1	1	－	－	7
	小　計	5	735	5	10	62	3	31	22	28	14	108	1,023
6　月	１１９番	－	357	1	1	129	1	14	7	3	－	32	545
	携帯119	1	276	3	3	9	2	23	14	－	15	53	399
	加入電話	2	62	2	4	2	－	1	－	30	－	12	115
	その他	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
	小　計	3	697	6	8	140	3	38	21	33	15	97	1,061

応急手当の口頭指導（プロトコール）実施状況（１月～６月）

種別 月	人工呼吸	心臓マッサージ	気道確保	気道異物除去	体位移動	その他	小　計
1月	1	14	－	－	－	1	16
2月	－	16	－	－	－	－	16
3月	－	12	－	－	－	－	12
4月	－	8	－	1	－	1	10
5月	－	10	－	1	－	3	14
6月	－	3	－	1	－	1	5
小計	1	63	0	3	0	6	73

災　害　受　付　状　況（７月～１２月）

区分 月別	種別	火災	救急	救助	その他の災害	訓練	いたずら	間違い	問合せ	試験	他管内	その他	合計
７　月	１１９番	－	335	－	1	58	3	11	9	4	－	31	452
	携帯119	3	417	1	2	7	1	23	10	－	14	54	532
	加入電話	1	60	2	9	2	－	－	－	7	－	28	109
	その他	－	3	－	－	2	－	－	－	－	－	－	5
	小　計	4	815	3	12	69	4	34	19	11	14	113	1,098
８　月	１１９番	3	431	－	3	29	－	6	8	3	2	23	508
	携帯119	1	417	2	5	－	－	25	11	7	14	73	555
	加入電話	－	58	2	13	1	－	－	－	35	1	24	134
	その他	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3
	小　計	4	909	4	21	30	0	31	19	45	17	120	1,200
９　月	１１９番	－	408	1	－	50	－	3	2	－	2	22	488
	携帯119	－	317	－	3	6	3	17	21	2	7	57	433
	加入電話	－	55	3	6	3	－	－	－	22	1	20	110
	その他	－	3	－	－	－	－	－	－	4	－	－	7
	小　計	0	783	4	9	59	3	20	23	28	10	99	1,038
１０月	１１９番	1	373	2	8	130	2	10	8	－	－	56	590
	携帯119	－	291	8	10	4	3	17	20	2	25	74	454
	加入電話	1	63	13	14	－	－	－	－	19	－	17	127
	その他	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3
	小　計	2	730	23	32	134	5	27	28	21	25	147	1,174
１１月	１１９番	3	360	2	－	145	－	9	3	1	3	32	558
	携帯119	3	292	2	4	23	2	22	18	1	9	58	434
	加入電話	－	56	－	8	2	－	－	－	30	－	16	112
	その他	－	6	－	1	－	－	－	－	2	－	－	9
	小　計	6	714	4	13	170	2	31	21	34	12	106	1,113
１２月	１１９番	1	467	－	3	71	1	8	6	5	1	51	614
	携帯119	1	354	3	7	7	1	19	13	－	12	75	492
	加入電話	1	68	4	3	2	－	1	－	23	1	17	120
	その他	－	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6
	小　計	3	895	7	13	80	2	28	19	28	14	143	1,232
小　計	１１９番	14	4,703	7	27	825	28	116	69	24	11	379	6,203
	携帯119	18	3,764	33	50	78	20	241	171	13	162	666	5216
	加入電話	9	691	33	86	22	0	7	0	293	3	230	1374
	その他	0	41	0	4	2	0	0	1	11	0	0	59
総　計		41	9,199	73	167	927	48	364	241	341	176	1,275	12,852

応急手当の口頭指導（プロトコール）実施状況（7月～12月）

種別 月	人工呼吸	心臓マッサージ	気道確保	気道異物除去	体位移動	その他	小　計
7月	－	6	－	－	－	2	8
8月	－	8	－	－	－	－	8
9月	－	7	－	－	－	－	7
10月	－	9	－	1	－	1	11
11月	－	15	－	－	－	－	15
12月	－	13	－	－	－	4	17
小計	0	58	0	1	0	7	66
総計	1	121	0	4	0	13	139

第５編　火災統計

令和元年の火災概要

令和元年の火災件数は39件であり、前年と比較すると1件の減少となっている。

火災種別は建物火災が18件、その他の火災が16件、車両火災が5件となっており、市町別ごとの出火件数では塩竈市が11件、多賀城市が10件、利府町が9件、七ヶ浜町が6件、松島町が3件となっている。

火災によって亡くなった方は1人となっている。負傷者は6人で、その内訳は塩竈市が3人、利府町が2人、七ヶ浜町が1人となっている。

また、損害額は前年と比較すると37,893千円減少している。

火災出火件数

出火件数は３９件（４０件）で、おおよそ９．４日に１件発生している。

建物火災	１８件	（２７件）
林野火災	０件	（　０件）
車両火災	５件	（　４件）
船舶火災	０件	（　０件）
その他火災	１６件	（　９件）

（　　）は前年の件数等

市町別火災発生・死者・負傷者状況

	発生状況	死者	負傷者
塩竈市	１１件（１１件）	０人（０人）	３人（６人）
多賀城市	１０件（１２件）	０人（１人）	０人（１人）
松島町	３件（　４件）	０人（０人）	０人（０人）
七ヶ浜町	６件（　２件）	１人（０人）	１人（０人）
利府町	９件（１１件）	０人（１人）	２人（２人）

月別火災状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	７件	１件	３件	５件	４件	２件	４件	２件	１件	１件	６件	３件

主な火災原因

第１位	放火・放火の疑い	８件	（１２件・第１位）
第２位	火遊び	４件	（　０件・第－位）
第３位	電気関係	３件	（　７件・第２位）
第４位	たばこ	２件	（　１件・第５位）
第４位	ストーブ	２件	（　２件・第４位）

損害額

損害額は34,552千円で、前年に比べ37,893千円の減少している。

火災１件あたりの損害額は、約886千円となった。

初期消火・早期発見状況

初期消火は出火件数39件のうち25件（64％）で実施され、このうち19件（76％）が成功している。

また、建物火災は18件発生しており、そのうち11件（61％）で実施され、このうち７件（64％）が初期消火に成功している。

1　火災の概況

第１表

区分			単位	令和元年			平成30年			増減			増減率（%）		
出火件数	建物	全焼	件	1	18	39	5	27	40	△ 4	△ 9	△ 1	△ 80.0	△ 33.3	△ 2.5
		半焼		2			3			△ 1			△ 33.3		
		部分焼		3			4			△ 1			△ 25.0		
		ぼや		12			15			△ 3			△ 20.0		
	林野		件	0			0			0			－		
	車両			5			4			1			25.0		
	船舶			0			0			0			－		
	その他			16			9			7			77.8		
焼損棟数	全焼		棟	1	19		10	38		△ 9	△ 19		△ 90.0	△ 50.0	
	半焼			2			3			△ 1			△ 33.3		
	部分焼			4			8			△ 4			△ 50.0		
	ぼや			12			17			△ 5			△ 29.4		
り災世帯	全損		世帯	0	9		4	25		△ 4	△ 16		皆減	皆減	△ 64.0
	半損			0			3			△ 3					
	小損			9			18			△ 9			△ 50.0		
り災人員			人	18			75			△ 57			△ 76.0		
焼損面積	建物（床面積）		㎡	518.6			1,185.5			△ 666.9			△ 56.3		
	建物（表面積）		㎡	7.5			22.8			△ 15.3			△ 67.1		
	林野		a	0.0			0.0			0.0			－		
	その他		㎡	1,595.9			371.7			1,224.2			329.4		
損害額	建物		千円	33,222			70,993			△ 37,771			△ 53.2		
	林野			0			0			0			－		
	車両			1,299			1,365			△ 66			△ 4.8		
	船舶			0			0			0			－		
	その他			31			87			△ 56			△ 64.4		
	合計			34,552			72,445			△ 37,893			△ 52.3		
死者			人	1			2			△ 1			△ 50.0		
負傷者				6			9			△ 3			△ 33.3		
出火率			件	2.1			2.1			0.0			0.0		

※出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう（火災件数÷人口×10,000）。
※人口は、令和元年１２月末現在。
※前年の数値が「０」のものは、増減率を「皆増」と表記いたします。
※今年の数値が「０」のものは、増減率を「皆減」と表記いたします。
※前年及び今年の数値が「０」のものは、増減率を「－」と表記いたします。

2　市町別火災概況

第２表

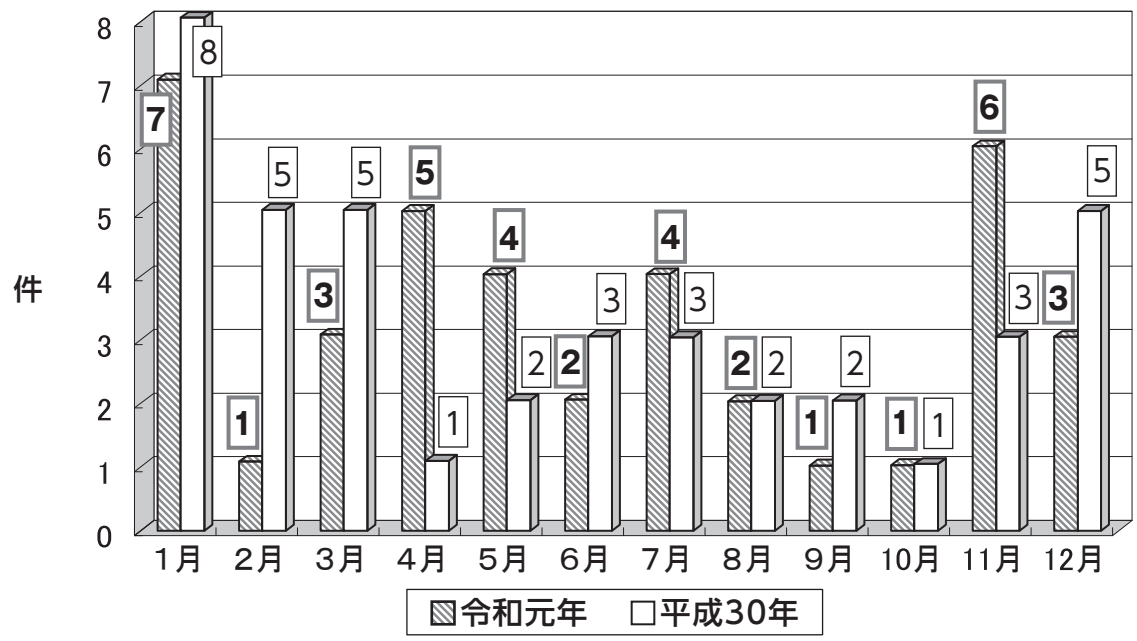
区分			単位	総計		塩竈市		多賀城市		松島町		七ヶ浜町		利府町	
出火件数	建物	全焼	件	1 (5)	建物	0 (1)	建物	0 (0)	建物	1 (1)	建物	0 (1)	建物	0 (2)	建物
		半焼		2 (3)	18	0 (1)	3	0 (0)	5	0 (1)	1	0 (0)	2	2 (1)	7
		部分焼		3 (4)	(27)	0 (0)	(9)	1 (2)	(5)	0 (0)	(4)	0 (0)	(2)	2 (2)	(7)
		ぼや		12 (15)		3 (7)		4 (3)		0 (2)		2 (1)		3 (2)	
	林野		件	0 (0)	計	0 (0)	計	0 (0)	計	0 (0)	計	0 (0)	計	0 (0)	計
	車両			5 (4)	39	2 (0)	11	1 (1)	10	1 (0)	3	1 (0)	6	0 (3)	9
	船舶			0 (0)	(40)	0 (0)	(11)	0 (0)	(12)	0 (0)	(4)	0 (0)	(2)	0 (0)	(11)
	その他			16 (9)		6 (2)		4 (6)		1 (0)		3 (0)		2 (1)	
焼損棟数	全焼		棟	1	19	0	3	0	5	1	2	0	2	0	7
	半焼			2		0		0		0		0		2	
	部分焼			4		0		1		1		0		2	
	ぼや			12		3		4		0		2		3	
り災世帯	全損		世帯	0	9	0	1	0	3	0	0	0	2	0	3
	半損			0		0		0		0		0		0	
	小損			9		1		3		0		2		3	
り災人員			人	18		5		4		0		4		5	
焼損面積	建物（床面積）		㎡	518.6		0.0		4.9		264.8		0.0		248.9	
	建物（表面積）		㎡	7.5		0.6		3.0		1.6		0.1		2.2	
	林野		a	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	その他		㎡	1,595.9		270.8		261.0		6.0		50.0		1,008.1	
損害額	建物		千円	33,222		154		1,967		8,692		76		22,333	
	林野			0		0		0		0		0		0	
	車両			1,299		65		0		759		475		0	
	船舶			0		0		0		0		0		0	
	その他			31		0		0		0		31		0	
	合計			34,552		219		1,967		9,451		582		22,333	
死者			人	1		0		0		0		1		0	
負傷者				6		3		0		0		1		2	
出火率			件	2.1		2.0		1.6		2.1		3.2		2.5	

※（　　）は、前年の火災件数

3　月別火災発生状況

出火件数は３９件で月別で見ると、最も多い月は１月の７件、以下１１月の６件、４月の５件、５月・７月の４件、３月・１２月の３件、６月・８月の２件、２月・９月・１０月の１件の順となっている。

第1図　月別火災発生状況



4　四季別火災発生状況

出火件数３９件を四季別で見ると、春季が最も多く１２件で全体の３１％を占め、次いで冬季の１１件（２８％）、夏季・秋季の８件（２１％）の順となっている。

損害額は、春季が最も多く全体の４６％を占めている。

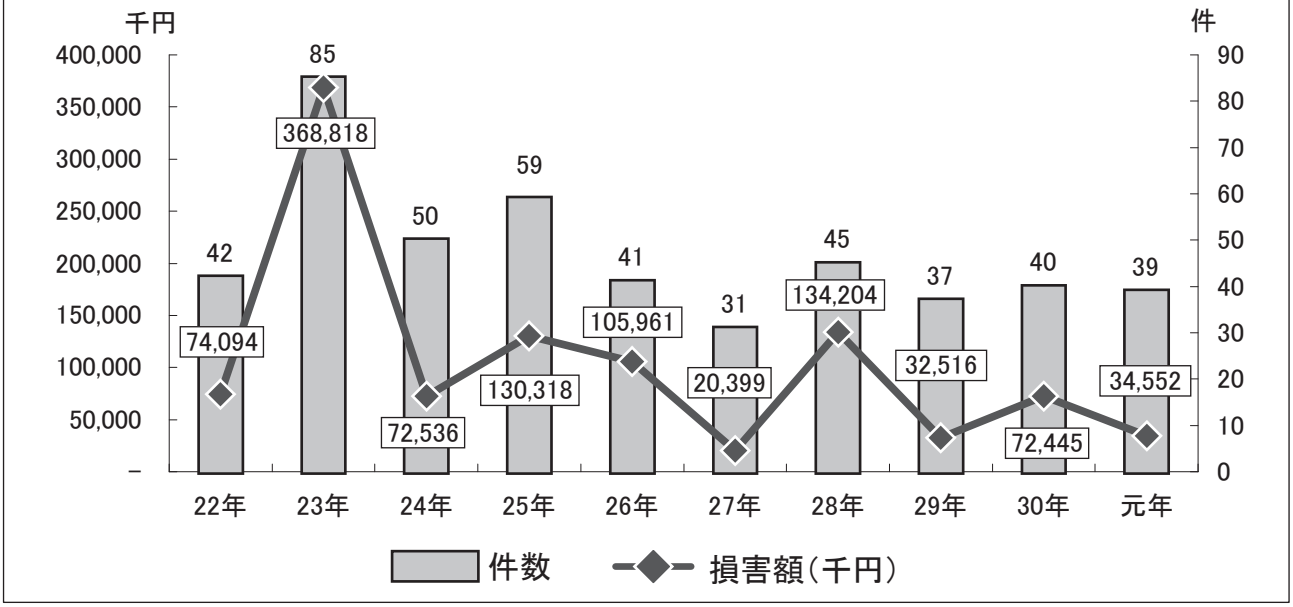
第３表

区分	令和元年 出火件数			割合 %	損害額（千円）	割合 %	平成30年 出火件数			割合 %	損害額（千円）	割合 %
春季 3月～5月	12	建物	4	30.8	15,980	46.2	8	建物	5	20.0	1,225	1.7
		林野	0					林野	0			
		車両	1					車両	1			
		船舶	0					船舶	0			
		その他	7					その他	2			
夏季 6月～8月	8	建物	4	20.5	10,004	29.0	8	建物	7	20.0	14,546	20.1
		林野	0					林野	0			
		車両	2					車両	0			
		船舶	0					船舶	0			
		その他	2					その他	1			
秋季 9月～11月	8	建物	4	20.5	113	0.3	6	建物	4	15.0	31,792	43.9
		林野	0					林野	0			
		車両	1					車両	0			
		船舶	0					船舶	0			
		その他	3					その他	2			
冬季 12月～2月	11	建物	6	28.2	8,455	24.5	18	建物	11	45.0	24,882	34.3
		林野	0					林野	0			
		車両	1					車両	3			
		船舶	0					船舶	0			
		その他	4					その他	4			
合　計	39			100.0	34,552	100.0	40			100.0	72,445	100.0

5　火災件数と損害額

損害額は３４，５５２千円となり、前年の７２，４４５千円と比較すると、３７，８９３千円の減少となっている。火災１件あたりの損害額は、約８８６千円となっている。

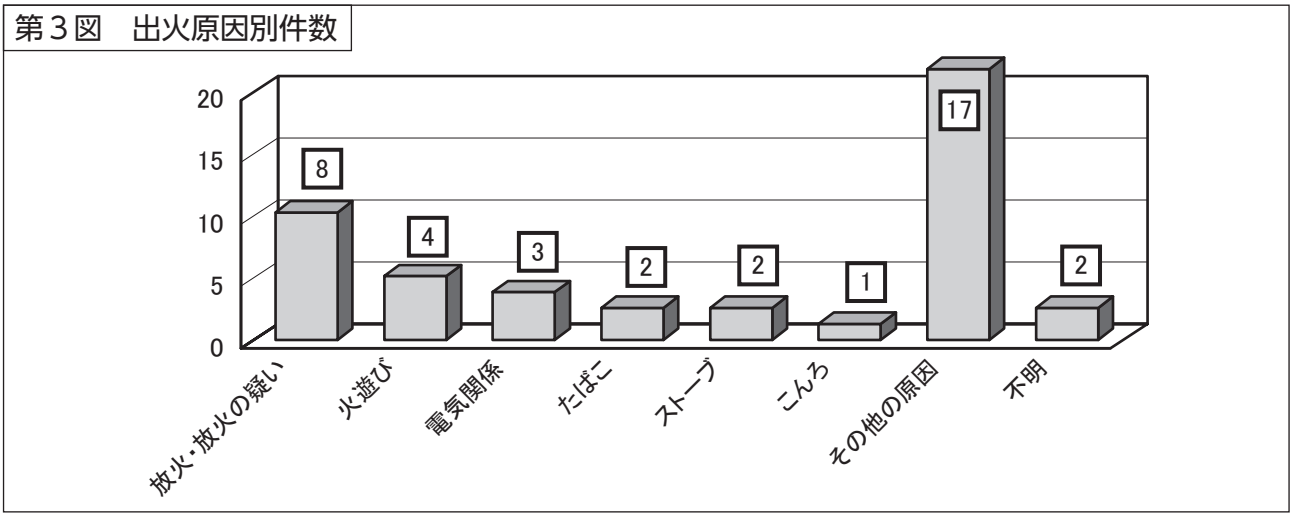
第２図　過去10年間の火災件数と損害額の推移



6　出火原因別の火災発生状況

出火件数３９件を出火原因別にみると、第１位が「放火・放火の疑い」で８件（２１％）、第２位が「火遊び」で４件（１０％）、第３位が「電気関係」で３件（８％）の順となっており、その他の原因が１７件（４４％）となっている。

第３図　出火原因別件数



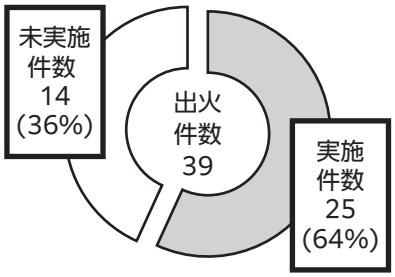
第４表　過去５年間の主な出火原因（上位５位）

順位	平成２７年		順位	平成２８年		順位	平成２９年		順位	平成３０年		順位	令和元年	
1	放火・放火の疑い	6	1	放火・放火の疑い	5	1	たばこ	6	1	放火・放火の疑い	12	1	放火・放火の疑い	8
2	たばこ	3	1	たばこ	5	2	放火・放火の疑い	3	2	電気関係	7	2	火遊び	4
2	こんろ	3	1	こんろ	5	2	こんろ	3	3	こんろ	3	3	電機関係	3
2	電気関係	3	1	電気関係	5	2	電気関係	3	4	ストーブ	2	4	たばこ	2
5	ストーブ	2	5	ストーブ	3	5	ストーブ・火遊び	1	5	たばこ	1	4	ストーブ	2

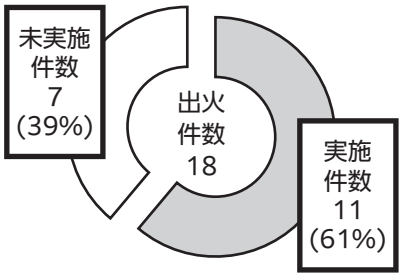
7　初期消火状況

出火件数３９件のうち初期消火は２５件（６４％）で実施され、このうち１９件（７６％）が成功している。また、建物火災は１８件発生しており、そのうち１１件（６１％）で実施され、このうち７件（６４％）が初期消火に成功している。

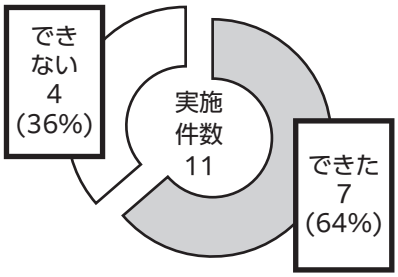
第４図
初期消火実施状況



第５図
建物火災初期消火実施状況



第６図
建物火災初期消火実施の適否状況



未実施の理由（建物火災）

濃煙のため消火困難	2
無人、不在であった	2
消火困難な場所であった	1
その他の理由（火点がわからない）他	2

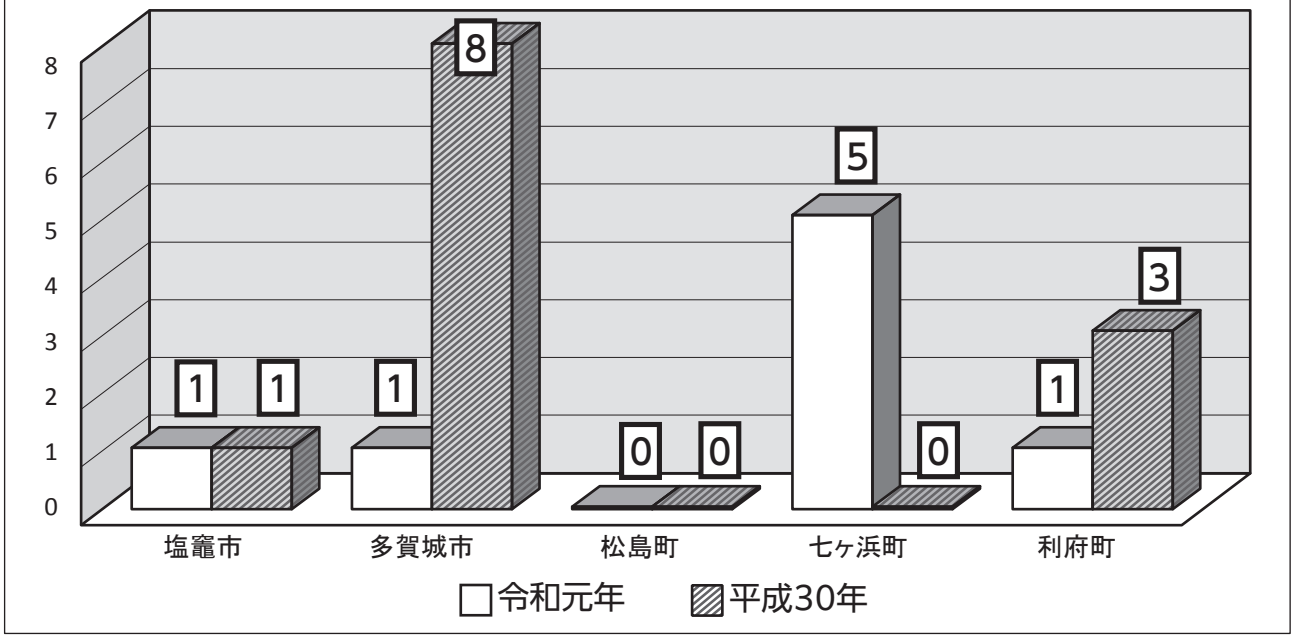
消火できなかった理由（建物火災）

消火困難な場所であった	2
消火薬剤が届かなかった	1
消火方法が悪かった	1

8　「放火・放火の疑い」の発生状況

出火件数３９件のうち「放火・放火の疑い」が８件発生し、前年と比較すると４件の減少となり、全体の２１％を占めている。

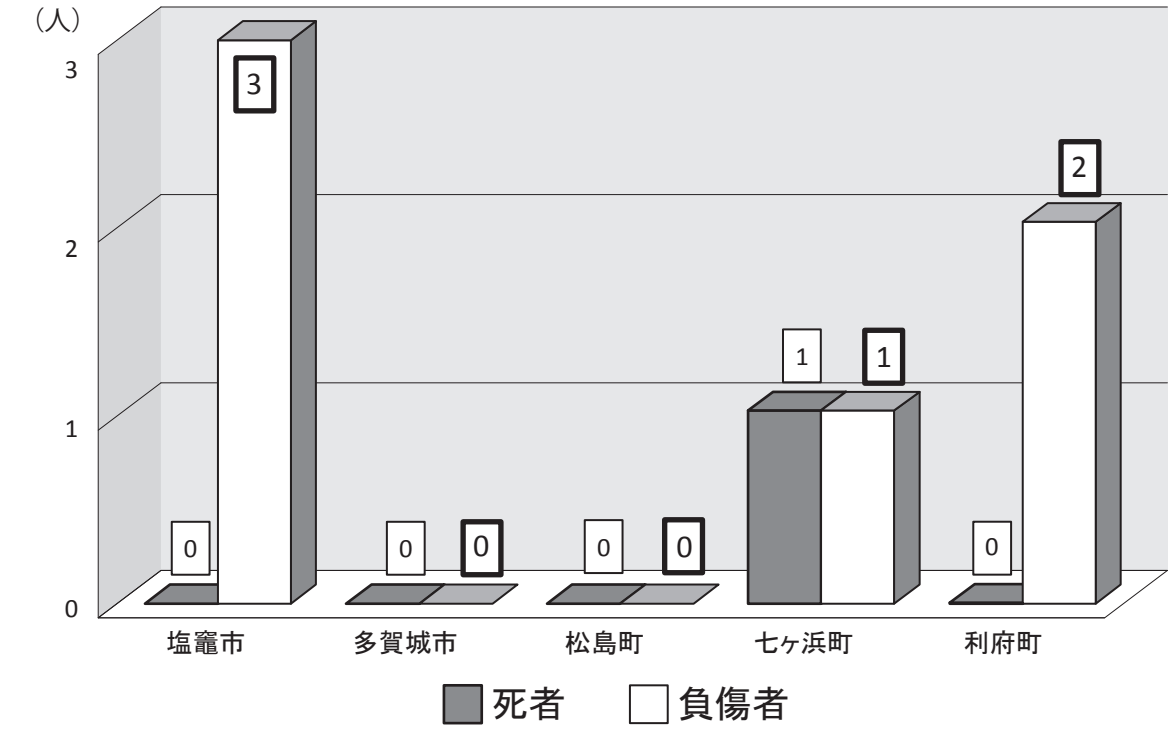
第７図



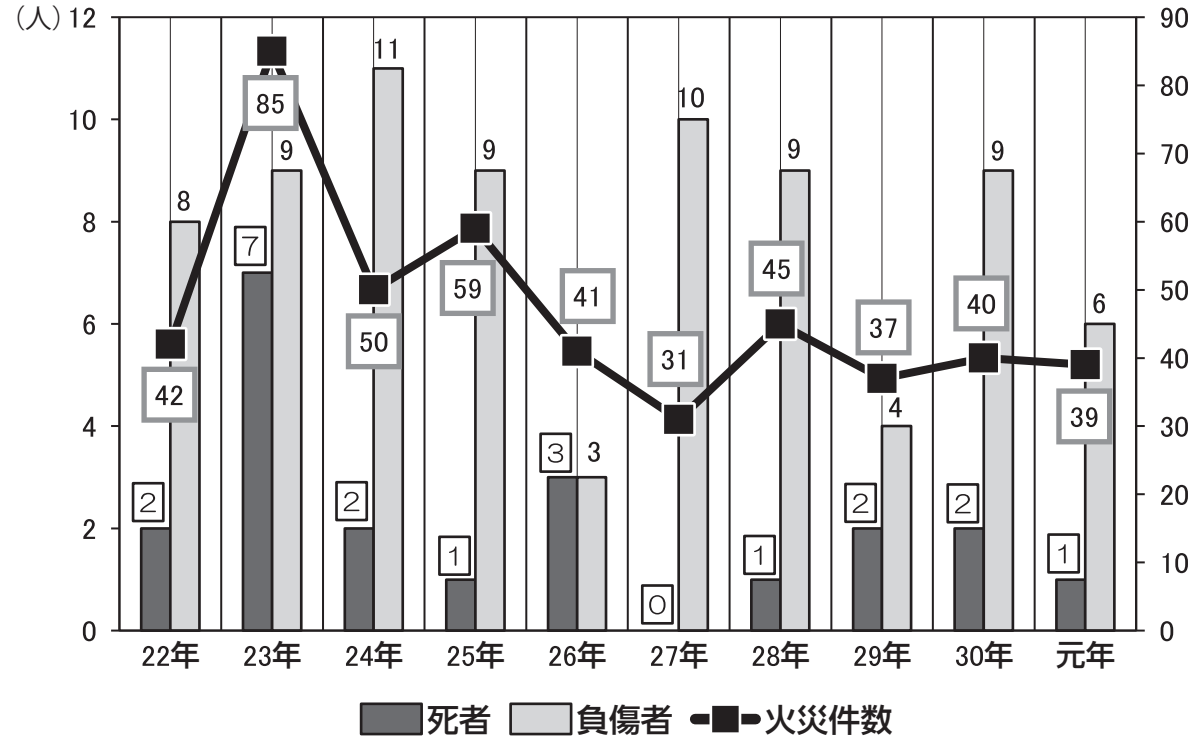
9　死傷者の発生状況

死者は建物火災で１人発生し、負傷者は建物火災で３人、その他の火災で２人、車両火災で１人発生している。

第８図 市町別死傷者発生状況



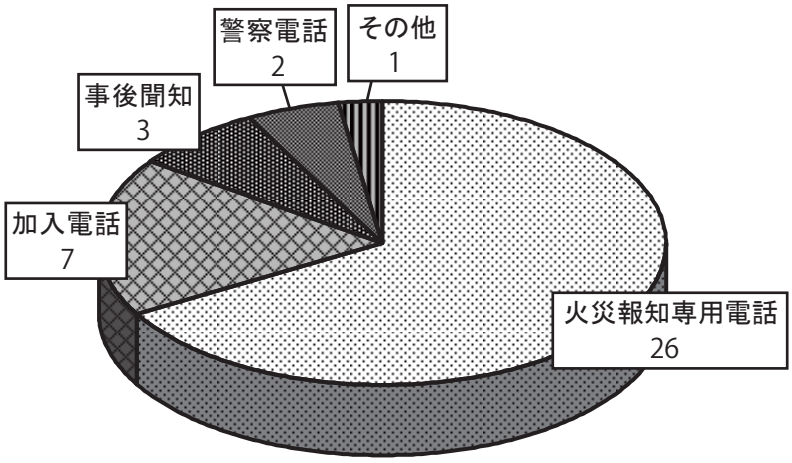
第９図　過去10年間の死傷者発生状況



10　その他

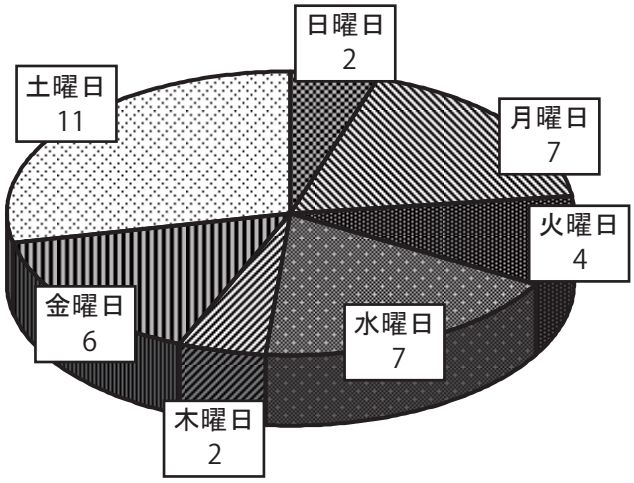
⑴　火災の覚知については、火災報知専用電話（１１９回線）が最も多く２６件で、　次いで加入電話が７件、事後聞知が３件の順となっている。

第10図　覚知状況



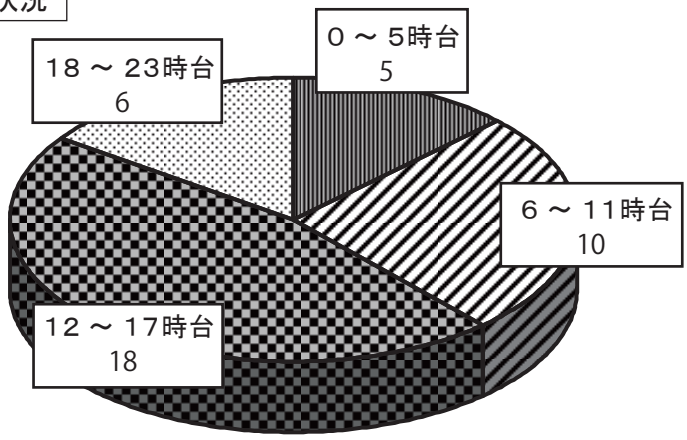
⑵　曜日別については、土曜日が最も多く１１件で、次いで月曜日・水曜日が７件、金曜日が６件の順となっている。

第11図　曜日別発生状況



⑶　火災発生時間帯については、就寝時間帯よりも、就業時間帯での発生が多く見られる。

第12図　出火時間帯発生状況



11 過去5年間の火災発生状況

年別＼種別		火災件数（件）						損害額（千円）					
		合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	建物	林野	車両	船舶	その他
平成27年	合計	31	17	1	5	0	8	20,399	19,804	0	536	0	59
	塩竈市	11	8	0	2	0	1	17,312	17,271	0	41	0	0
	多賀城市	7	5	0	0	0	2	2,436	2,436	0	0	0	0
	松島町	4	1	1	1	0	1	104	24	0	80	0	0
	七ヶ浜町	4	1	0	0	0	3	59	0	0	0	0	59
	利府町	5	2	0	2	0	1	488	73	0	415	0	0
平成28年	合計	45	24	0	9	2	10	134,204	26,110	0	2,364	80,000	25,730
	塩竈市	17	9	0	0	2	6	88,052	8,046	0	0	80,000	6
	多賀城市	12	6	0	5	0	1	36,650	9,047	0	1,882	0	25,721
	松島町	3	1	0	1	0	1	4,918	4,843	0	72	0	3
	七ヶ浜町	6	5	0	0	0	1	3,713	3,713	0	0	0	0
	利府町	7	3	0	3	0	1	871	461	0	410	0	0
平成29年	合計	37	20	3	2	0	12	32,516	31,639	0	872	0	5
	塩竈市	13	11	0	0	0	2	18,491	18,478	0	13	0	0
	多賀城市	10	5	0	2	0	3	8,627	7,768	0	859	0	0
	松島町	6	2	3	0	0	1	1,507	1,507	0	0	0	0
	七ヶ浜町	5	1	0	0	0	4	50	45	0	0	0	5
	利府町	3	1	0	0	0	2	3,841	3,841	0	0	0	0
平成30年	合計	40	27	0	4	0	9	72,445	70,993	0	1,365	0	87
	塩竈市	11	9	0	0	0	2	11,637	11,637	0	0	0	0
	多賀城市	12	5	0	1	0	6	7,047	6,840	0	120	0	87
	松島町	4	4	0	0	0	0	15,044	15,044	0	0	0	0
	七ヶ浜町	2	2	0	0	0	0	725	725	0	0	0	0
	利府町	11	7	0	3	0	1	37,992	36,747	0	1,245	0	0
令和元年	合計	39	18	0	5	0	16	34,552	33,222	0	1,299	0	31
	塩竈市	11	3	0	2	0	6	219	154	0	65	0	0
	多賀城市	10	5	0	1	0	4	1,967	1,967	0	0	0	0
	松島町	3	1	0	1	0	1	9,451	8,692	0	759	0	0
	七ヶ浜町	6	2	0	1	0	3	582	76	0	475	0	31
	利府町	9	7	0	0	0	2	22,333	22,333	0	0	0	0

焼損棟数					り災世帯数				り災人員	焼損面積			死者	傷者	放水件数
合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	全損	半損	小損		建物（㎡）		林野（a）			
										床面積	表面積				
21	4	0	2	15	13	2	0	11	35	296.4	40.5	1.6	0	10	15
10	1	0	2	7	7	1	0	6	19	151.0	38.6	0.0	0	7	4
7	3	0	0	4	4	1	0	3	7	145.4	1.2	0.0	0	2	2
1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.0	0.0	1.6	0	1	3
1	0	0	0	1	1	0	0	1	3	0.0	0.0	0.0	0	0	2
2	0	0	0	2	1	0	0	1	6	0.0	0.7	0.0	0	0	4
29	2	3	6	18	31	10	1	20	68	572.9	12.3	0.0	1	9	24
10	0	3	2	5	17	6	1	10	31	242.4	5.0	0.0	0	3	9
8	1	0	1	6	6	3	0	3	15	90.8	0.5	0.0	1	0	8
3	1	0	0	2	1	1	0	0	3	220.5	0.1	0.0	0	1	2
5	0	0	3	2	5	0	0	5	16	19.2	6.4	0.0	0	4	1
3	0	0	0	3	2	0	0	2	3	0.0	0.3	0.0	0	1	4
27	4	2	5	16	20	6	0	14	40	479.7	17.9	33.0	2	4	20
16	3	2	3	8	14	6	0	8	27	415.6	15.1	0.0	2	1	6
5	0	0	1	4	3	0	0	3	7	45.9	0.0	0.0	0	2	4
4	1	0	0	3	2	0	0	2	4	15.0	2.0	33.0	0	1	6
1	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0.0	0.8	0.0	0	0	1
1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3.2	0.0	0.0	0	0	3
38	10	3	8	17	25	4	3	18	75	1,185.5	22.8	0.0	2	9	27
9	1	1	0	7	6	1	1	4	18	319.7	1.0	0.0	0	6	6
5	0	0	2	3	5	1	0	4	10	79.1	0.4	0.0	1	1	7
9	2	1	2	4	7	1	1	5	25	130.2	0.0	0.0	0	0	3
3	1	0	1	1	3	0	0	3	7	31.5	5.5	0.0	0	0	1
12	6	1	3	2	4	1	1	2	15	625.0	15.9	0.0	1	2	10
19	1	2	4	12	9	0	0	9	18	518.6	7.5	0.0	1	6	21
3	0	0	0	3	1	0	0	1	5	0.0	0.6	0.0	0	3	4
5	0	0	1	4	3	0	0	3	4	4.9	3.0	0.0	0	0	5
2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	264.8	1.6	0.0	0	0	3
2	0	0	0	2	2	0	0	2	4	0.0	0.1	0.0	1	1	4
7	0	2	2	3	3	0	0	3	5	248.9	2.2	0.0	0	2	5

過去 10 年間の主な火災

損害額２千万円以上・死傷者５人以上
建物焼損面積 500 ㎡以上・林野 300a 以上

番号	出火場所	出火日時	用　途　等	死者	傷者	焼損面積（㎡・a）	損害額千円	原　因
1	塩竈市尾島町	H22. 6.22	店舗併用住宅	1	0	212.0	28,779	不明
2	多賀城市大代	H23. 1.21	住宅	1	2	355.0	31,735	不明
3	多賀城市栄	H23. 3.11	工場	0	0	－	67,300	不明
4	多賀城市栄	H23. 3.12	工場	0	0	－	85,588	その他
5	多賀城市宮内	H23. 5. 7	倉庫	0	0	707.0	21,454	不明
6	塩竈市北浜	H23.11.23	事務所兼倉庫	0	0	1,122.0	17,098	不明
7	多賀城市鶴ヶ谷	H24.12. 2	店舗併用住宅	0	1	203.9	20,238	電気関係
8	利府町神谷沢	H25. 4.27	住宅	0	0	137.0	23,122	その他
9	利府町加瀬	H25.12.27	住宅	0	2	190.0	34,062	電気ストーブ
10	七ヶ浜町花渕浜	H26. 2. 3	海苔乾燥施設	0	0	21.5	25,559	その他
11	塩竈市楓町	H26.11.24	住宅	0	1	195.1	44,184	石油ファンヒーター
12	多賀城市笠神	H28.7.4	浮桟橋	0	0	－	25,721	放火の疑い
13	塩竈市新浜町	H28.8.18	船舶	0	0	－	80,000	その他

※ 平成２０、２１、２７、２９、３０年及び令和元年中は該当する火災は発生しなかったもの。

第６編　救急統計

令和元年の救急概要

令和元年中における救急概要を見ると、出場件数9，327件（対前年比158件増、約1．7％増）搬送人員9，017人（対前年比156人増、約1．8％増）である。

これは管内で、1日平均約25．6回(前年約25．1回）救急車が出場し、住民の約21人（前年約20.5人）に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

市町別出場状況

塩竈市　3，306件(前年3，306件)

多賀城市 2，673件(前年 2，637件)

松島町　1，017件(前年 1，047件)

七ヶ浜町　758件(前年　758件)

利府町 1，557件(前年 1，416件)

他市町　16件(前年　5件)

事故別出場状況

	令和元年	H30
第1位	急　病	（同左）
第2位	一般負傷	（同左）
第3位	転院搬送	（同左）
第4位	交通事故	（同左）
第5位	運動競技	（同左）

月別出場状況

第1位　8月　922件

第2位　12月　917件

第3位　1月　867件

第4位　7月　823件

傷病程度別搬送状況

第1位　中等症　5，211人（57．8％）

第2位　軽　症　2，604人（28．9％）

第3位　重　症　1，098人（12．2％）

第4位　死　亡　104人（1．1％）

年齢区分別搬送状況

高齢者(65歳以上)が最も多く5，752人、次いで成人 2，452人、乳幼児、少年、新生児の順

平均現場到着所要時間

7分　47秒

（覚知から現場に到着するまでの時間）

平均病院等収容所要時間

39分　08秒

（覚知から医療機関に収容するまでの時間）

医療機関別搬送状況

● 救急告示病院は、

8，848人（98．1％）

その他の医療機関は、

169人（1．9％）

● 管内搬送は5，738人

（全体の63．6％）

救急統計

1　市町別救急発生状況

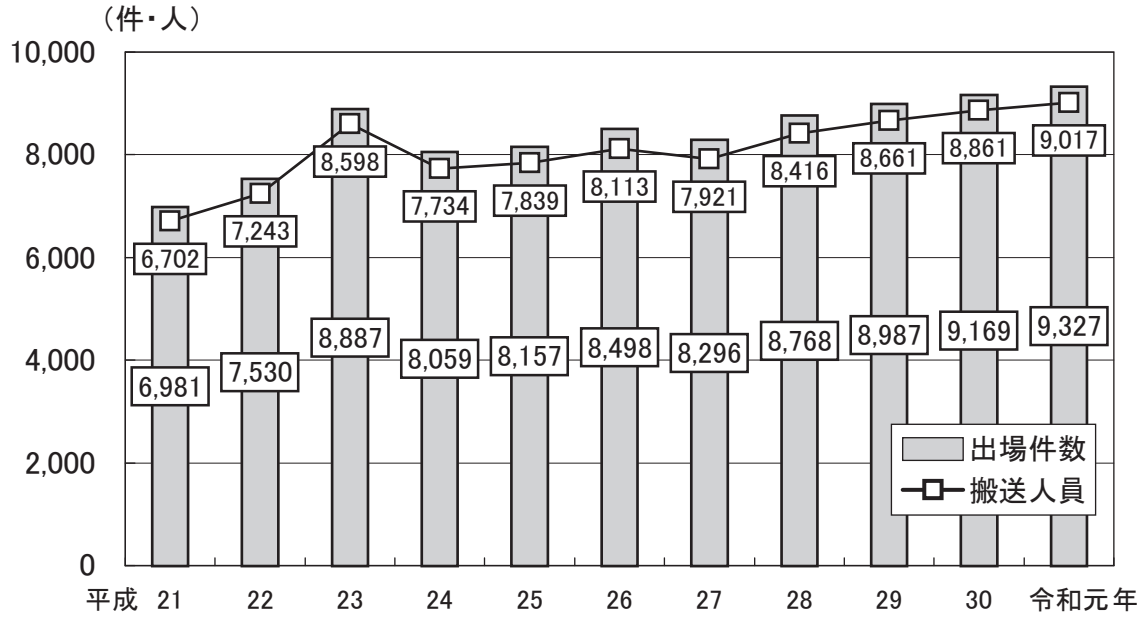
区　分	令和元年	平成30年	対　前　年　比	
	出場件数(件)	出場件数(件)	増 減 数	増 減 率 (%)
	搬送人員(人)	搬送人員(人)		
合　計	9,327	9,169	158	1.7
	9,017	8,861	156	1.8
塩 竈 市	3,306	3,306	0	0.0
	3,177	3,221	△ 44	△ 1.4
多賀城市	2,673	2,637	36	1.4
	2,622	2,519	103	4.1
松 島 町	1,017	1,047	△ 30	△ 2.9
	962	1,001	△ 39	△ 3.9
七ヶ浜町	758	758	0	0.0
	739	731	8	1.1
利 府 町	1,557	1,416	141	10.0
	1,499	1,385	114	8.2
他 市 町	16	5	11	220.0
	18	4	14	350.0

2　市町事故別救急発生状況

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院搬送	他
塩竈市	出場件数	3,306	3	1	6	97	25	6	408	18	21	2,187	521	13
	搬送人員	3,177	2	1	4	99	24	6	388	14	18	2,100	520	1
多賀城市	出場件数	2,673	1	3	1	157	13	27	360	13	18	1,928	151	1
	搬送人員	2,622	0	2	0	179	14	27	350	14	15	1,870	151	0
松島町	出場件数	1,017	1	0	2	33	4	11	139	2	2	699	122	2
	搬送人員	962	0	0	0	31	4	11	130	1	1	661	122	1
七ヶ浜町	出場件数	758	0	0	5	21	6	13	89	1	11	570	41	1
	搬送人員	739	0	0	3	18	6	13	99	2	3	554	41	0
利府町	出場件数	1,557	5	0	0	103	18	26	179	3	10	1,025	186	2
	搬送人員	1,499	2	0	0	108	18	26	177	3	3	976	186	0
他市町	出場件数	16	0	0	0	7	1	0	0	0	0	4	4	0
	搬送人員	18	0	0	0	9	1	0	0	0	0	4	4	0
合計	出場件数	9,327	10	4	14	418	67	83	1,175	37	62	6,413	1,025	19
	搬送人員	9,017	4	3	7	444	67	83	1,144	34	40	6,165	1,024	2
平成30年	出場件数	9,169	8	1	6	459	66	120	1,149	31	47	6,241	1,036	5
	搬送人員	8,861	8	1	2	486	64	116	1,108	23	33	5,985	1,033	2
対前年比	出場件数	158	2	3	8	△ 41	1	△ 37	26	6	15	172	△ 11	14
	搬送人員	156	△ 4	2	5	△ 42	3	△ 33	36	11	7	180	△ 9	0
対前年率	出場件数	1.7	25.0	300.0	133.3	△ 8.9	1.5	△ 30.8	2.3	19.4	31.9	2.8	△ 1.1	280.0
	搬送人員	1.8	△ 50.0	200.0	250.0	△ 8.6	4.7	△ 28.4	3.2	47.8	21.2	3.0	△ 0.9	0.0

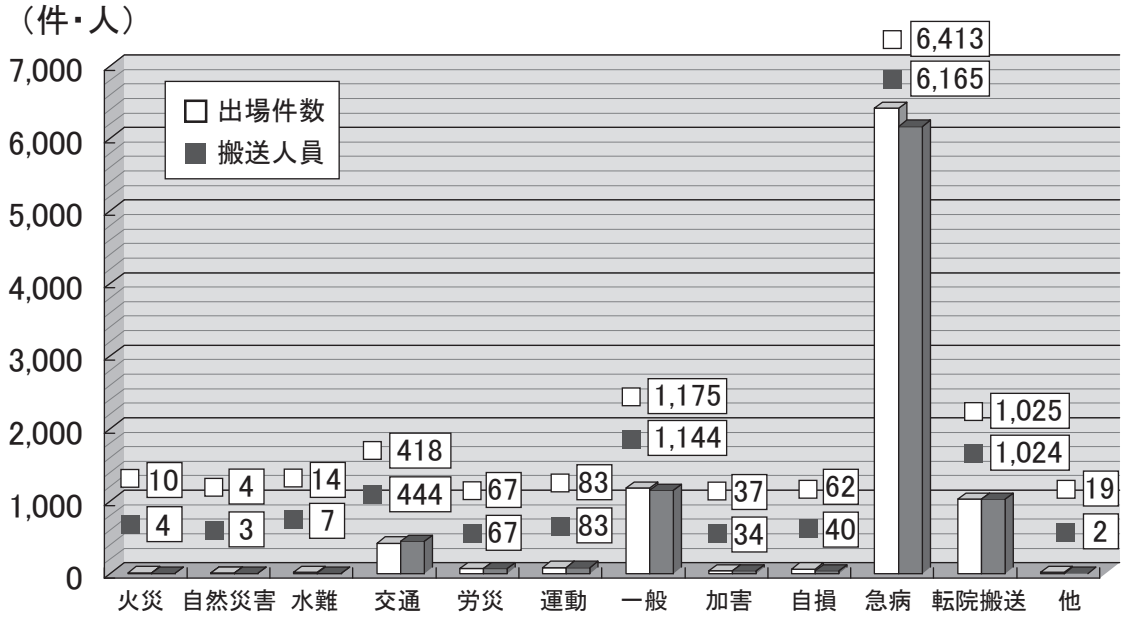
3 救急発生状況の推移

過去10年間の救急出場件数と搬送人員を見ると、出場件数は10年前より2，346件、搬送人員は2，315人増加している。



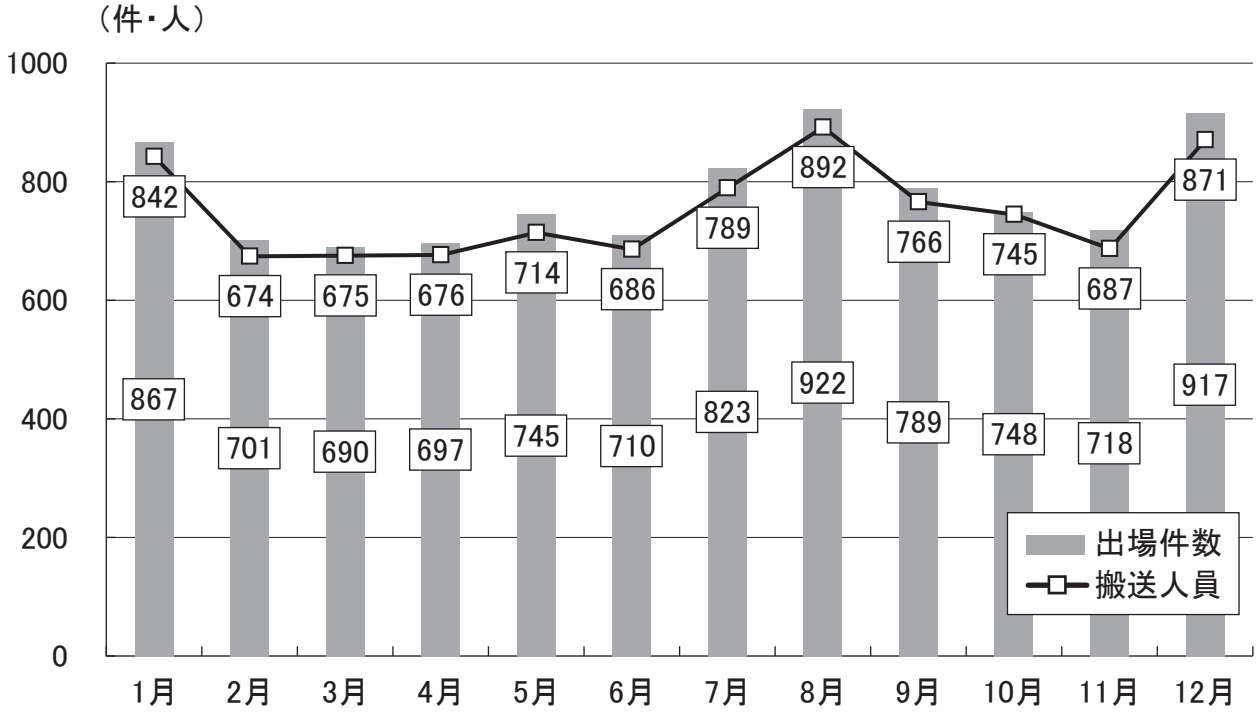
4 事故別救急発生状況

事故別の出場状況は下図のとおりであるが、構成比は急病が約 68．8％、一般負傷が約 12．5％、転院搬送が約 11．0％、交通事故が約 4．5％となっている。



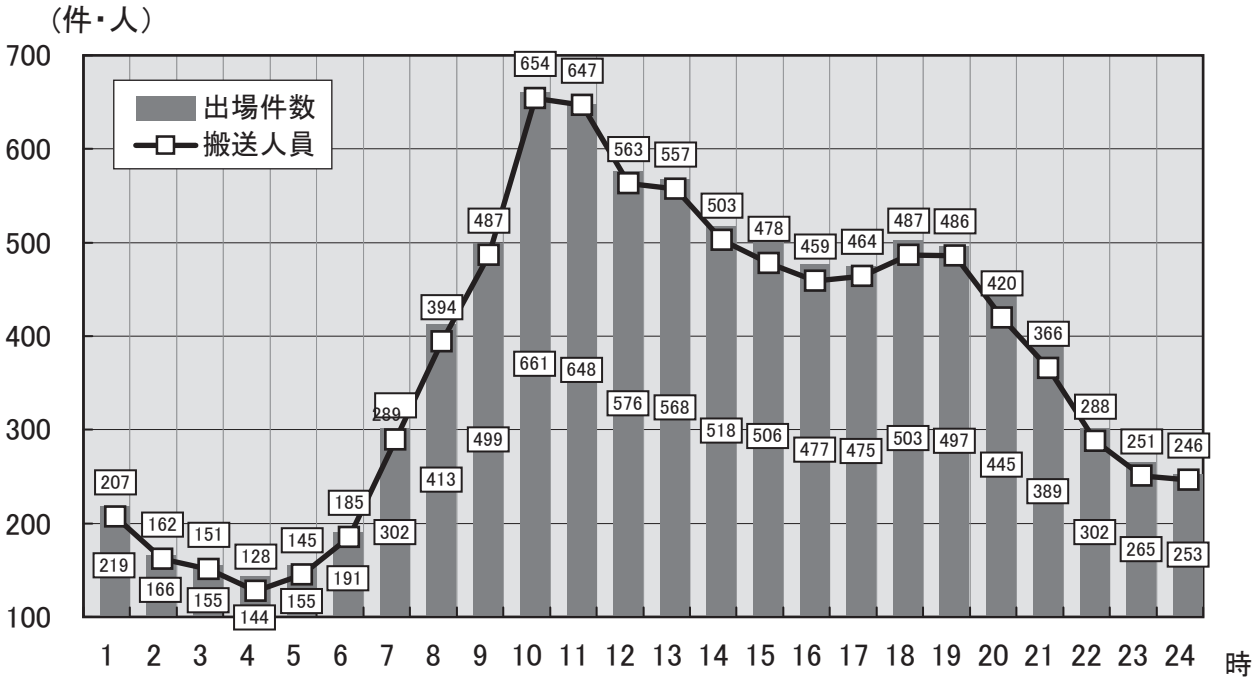
5 月別救急発生状況

出場件数を月別に見ると、8月が922件で1番多く、次いで12月が917件、1月が867件、7月が823件の順で、1ヵ月平均では約 777件となっている。



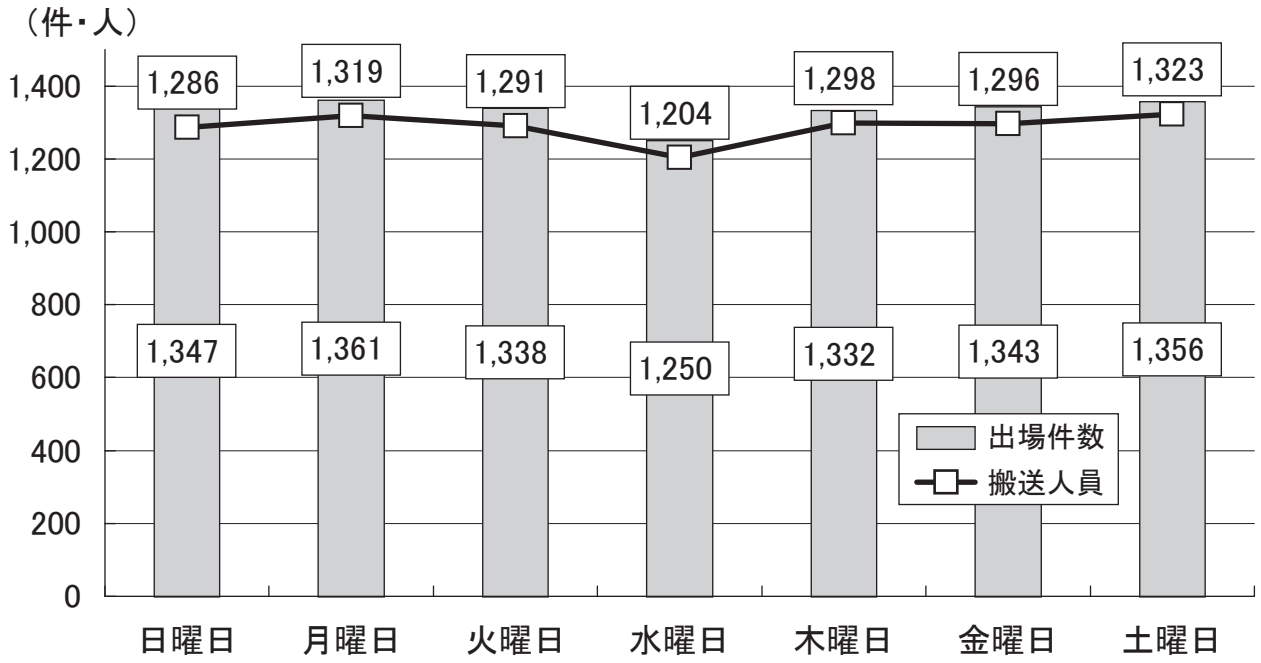
6 時間別救急発生状況

出場件数を時間別に見ると、10時～11時が654件で1番多く、次いで11時～12時が647件、12時～13時が563件、13時～14時が557件の順となっており、日中の時間帯に多くなっている。



7　曜日別救急発生状況

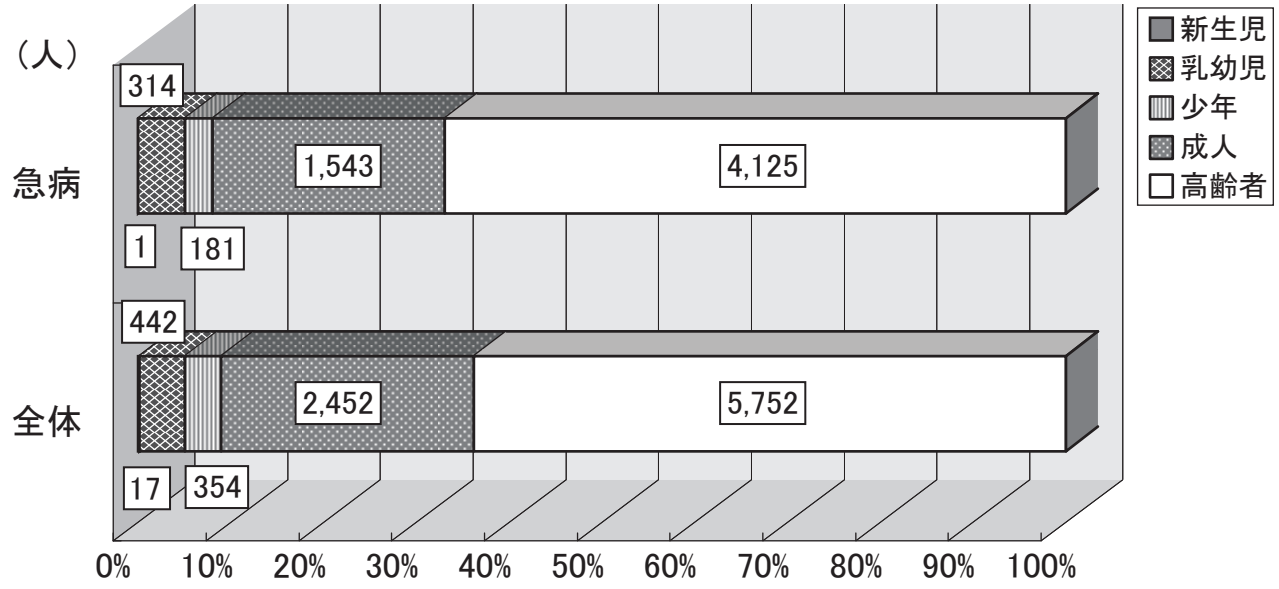
出場件数を曜日別に見ると、月曜日が最も多く 1，361件、次いで土曜日が1，356件、日曜日が1，347件の順になっており、全てが 1，250件を超えた近似値となっている。



8　年齢区分別搬送状況

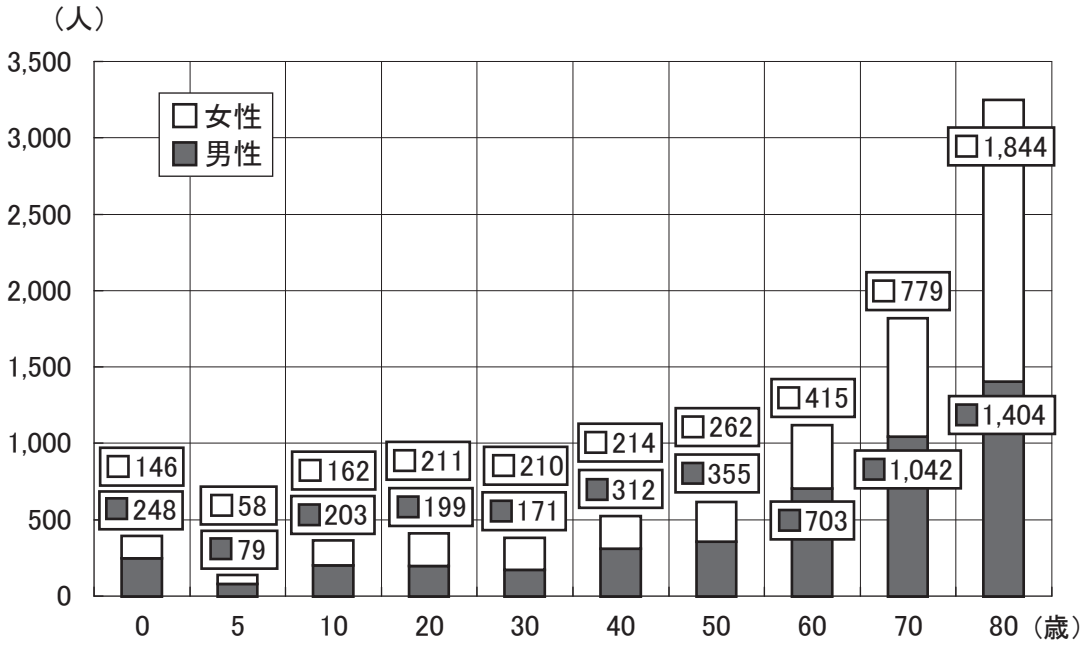
高齢者(65歳以上)が 5，752人（全体の約 63．8％）で1番多く、次いで成人が 2，452人（全体の約 27．2％）、乳幼児、少年、新生児の順になっている。

また、事故種別で1番多い急病についても高齢者が 4，125人で最も多くなっている。



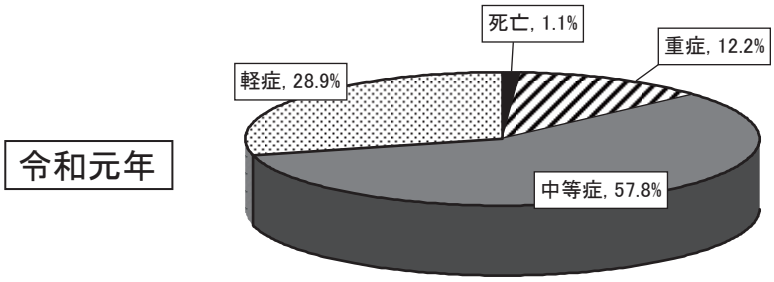
9　年代別性別搬送状況

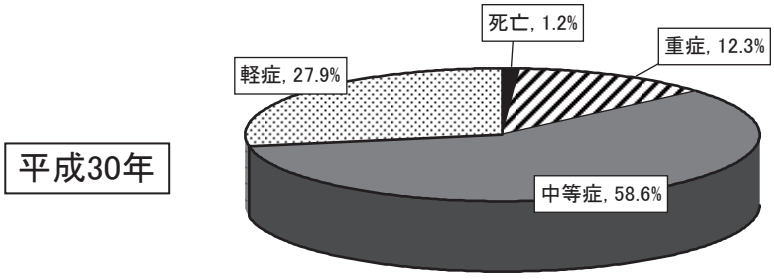
80歳以上が 3，248人で1番多く、次いで70～79歳が1，821人、60～69歳が1，118人の順になっている。男女別では男性が4，716人、女性が4，301人となっている。



10　傷病程度別搬送状況

搬送人員の傷病程度の割合は下図のとおりであり、前年とほぼ同じ割合となっている。
なお、傷病程度は初診時における医師の診断に基づき分類されている。

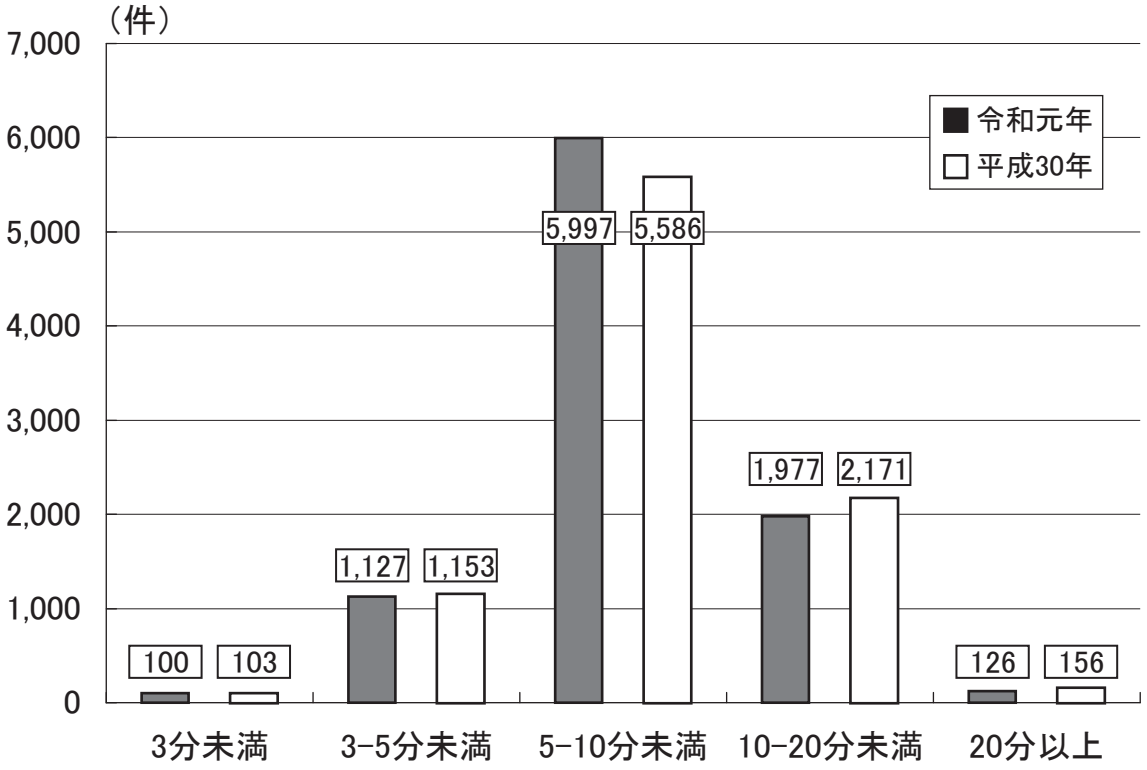




１１　現場到着所要時間別出場状況

救急出場 9，327件の現場到着所要時間別(覚知から現場に到着するまでに要 した時間別)の状況は下図のとおりである。

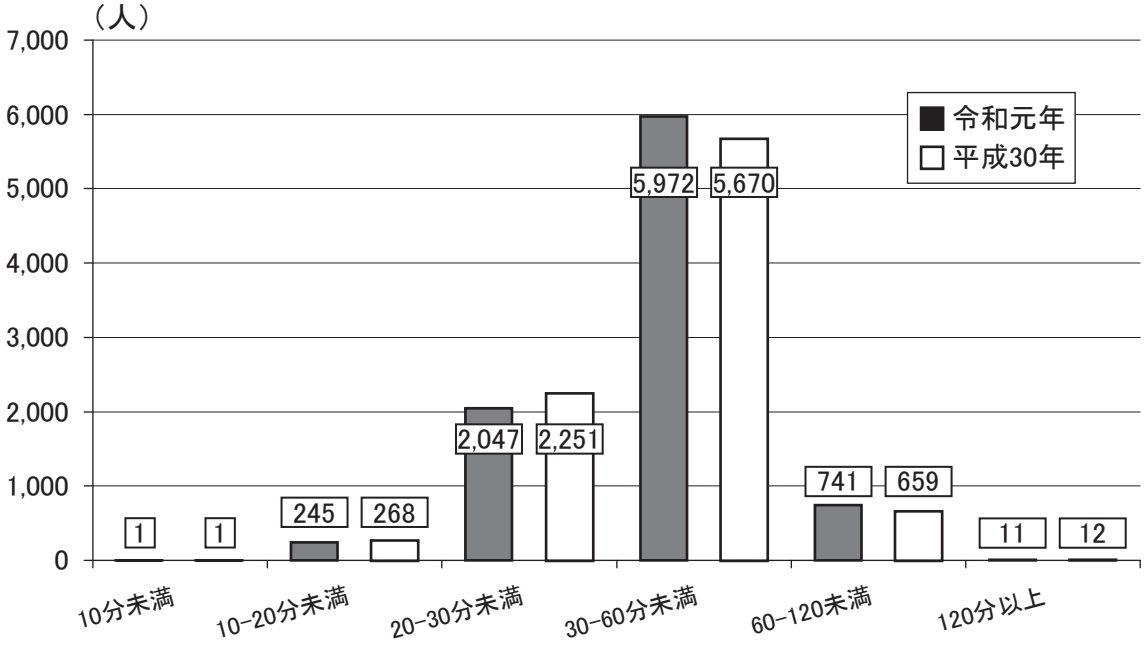
5分以上10分未満が1番多く 5，997件で全体の約 64．3%を占めている。



１２　収容所要時間別搬送状況

搬送人員 9，017人の収容所要時間別(覚知から医療機関に収容するまでに要した時間別)の状況は下図のとおりである。

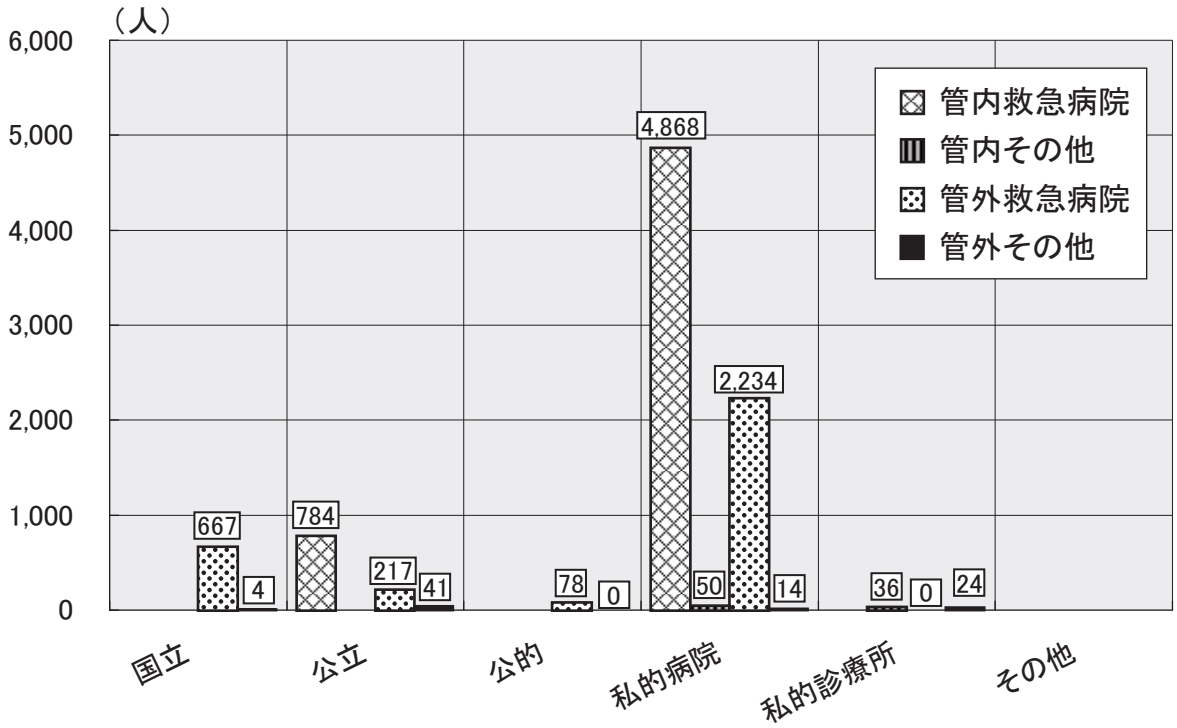
30分以上60分未満が1番多く 5，972人で全体の約 66．2%を占めている。



１３　医療機関別搬送状況

搬送人員 9，017人のうち救急告示医療機関に搬送されたのは 8，848人（全体の約 98．1％）その他の医療機関に搬送されたのは 169人（全体の約 1．9％）となっている。

9，017人の内、管内の病院に搬送されたのは 5，738人（全体の約 63．6％）となっている。



（注）医療機関の分類は次により記載した。

（1）「国立」とは、開設者が国（国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、独立行政法人国立病院機構等を含む。）であるもの。

（2）「公立」とは、開設者が都道府県、市町村及び地方自治法（昭和22年法律第67号）第284条第1項に規定する地方公共団体の組合であるもの。

（3）「公的」とは、開設者が次のものであるもの。

a　普通国民健康保険組合

b　日本赤十字社

c　社会福祉法人恩賜財団済生会

d　全国厚生農業協同組合の会員である厚生（医療）農業協同組合連合会

e　社会福祉法人北海道社会事業協会

14 救急隊事故別救急発生状況

（件・人）

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院搬送	他
塩釜隊	出場件数	3,437	3	3	7	138	23	17	459	20	23	2,367	364	13
	搬送人員	3,307	1	2	5	141	22	17	448	17	18	2,272	363	1
多賀城隊	出場件数	2,263	2	1	0	97	11	16	259	12	18	1,537	310	0
	搬送人員	2,217	1	1	0	113	12	16	251	13	14	1,486	310	0
松島隊	出場件数	975	0	0	2	35	4	6	127	2	3	692	103	1
	搬送人員	927	0	0	0	34	4	6	120	1	1	658	103	0
七ヶ浜隊	出場件数	920	0	0	5	44	11	16	103	1	8	665	67	0
	搬送人員	894	0	0	2	43	11	16	106	1	2	646	67	0
利府隊	出場件数	1,732	5	0	0	104	18	28	227	2	10	1,152	181	5
	搬送人員	1,672	2	0	0	113	18	28	220	2	5	1,102	181	1
合計	出場件数	9,327	10	4	14	418	67	83	1,175	37	62	6,413	1,025	19
	搬送人員	9,017	4	3	7	444	67	83	1,145	34	40	6,164	1,024	2

15 診療科目別搬送状況

（人）

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	他
診療科目別	救命	548	3	0	4	32	12	5	46	1	16	403	26
	内科	3,698	0	2	0	3	1	12	44	1	5	3,446	184
	外科	985	1	0	3	262	20	19	479	22	15	147	17
	小児科	491	0	0	0	7	0	1	47	1	1	395	39
	産婦人科	95	0	0	0	1	0	0	0	0	0	23	71
	眼科	13	0	0	0	0	0	1	4	0	0	7	1
	整形・形成外科	972	0	1	0	127	29	36	467	4	0	231	77
	耳鼻咽喉科	63	0	0	0	0	0	1	5	0	0	34	23
	脳神経科	738	0	0	0	12	3	7	46	4	0	486	180
	泌尿器科	110	0	0	0	0	0	0	2	0	0	67	41
	精神科	36	0	0	0	0	0	0	0	1	2	28	5
	消化器科	393	0	0	0	0	0	0	1	0	1	286	105
	呼吸器科	292	0	0	0	0	0	0	2	0	0	196	94
	循環器科	556	0	0	0	0	0	1	1	0	0	397	157
	その他	27	0	0	0	0	2	0	1	0	0	18	6
合計		9,017	4	3	7	444	67	83	1,145	34	40	6,164	1,026

16 救急隊員の行った応急処置等の状況（事故種別による分類）

（件）

区　　分	合計	急　病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置等対象搬送人員（人）	9,017	6,164	444	1,145	1,264
止　　血	724	51	55	230	388
被　　覆	313	31	70	176	36
固　　定	830	39	202	146	443
保　　温	4,870	3,337	216	614	703
酸素吸入	3,219	1,368	27	55	1,769
人工呼吸	118	52	0	5	61
胸骨圧迫	143	64	1	4	74
※うち自動式心マッサージ器	67	32	0	1	34
心肺蘇生	350	158	2	9	181
※うち自動式心マッサージ器	57	27	0	0	30
在宅療法継続	2	2	0	0	0
ショックパンツ	0	0	0	0	0
血圧測定	8,519	5,832	426	1,061	1,200
心音・呼吸音聴取	4,243	2,949	240	494	560
血中酸素飽和度測定	8,743	5,959	429	1,123	1,232
心電図測定	7,899	5,607	333	887	1,072
気道確保	292	242	5	14	31
※うち経鼻エアウェイ	33	29	0	2	2
※うち喉頭鏡・鉗子等	13	10	0	2	1
※うちラリンゲアルマスク等	43	37	1	2	3
※うち気管挿管	8	7	0	1	0
※除細動	56	51	2	1	2
※静脈路確保	164	144	4	8	8
※うちCPA前	80	70	2	4	4
※うちCPA後	84	74	2	4	4
※薬剤投与	55	49	2	2	2
※血糖測定	99	98	0	1	0
※ブドウ糖	22	22	0	0	0
その他の処置	4,782	3,261	244	627	650
計	45,443	29,316	2,258	5,457	8,412

※は平成3年以降に拡大された応急処置等の項目である。

17 応急手当の普及状況

（人）

区　分		合　計	普通救命講習	上級救命講習	普及員講習	救命入門	その他の講習
回　数		229	91	5	2	12	119
性別	男	1,705	614	68	0	135	888
	女	2,746	695	39	11	179	1,822
合　計		4,451	1,309	107	11	314	2,710
年代別	10代	356	114	73	0	169	
	20代	235	212	1	0	22	
	30代	259	231	0	0	28	
	40代	313	272	4	0	37	
	50代	329	291	12	1	25	
	60代	193	153	14	4	22	
	70代	64	48	2	6	8	
	80代以上	8	5	1	0	2	

18 過去5年間の市町別救急発生状況

区分		出場件数（件）					搬送人員（人）				
		合計	交通	一般負傷	急病	その他	合計	交通	一般負傷	急病	その他
平成27年	合計	8,296	452	1,009	5,604	1,231	7,921	465	962	5,303	1,191
	塩竈市	3,024	105	358	2,012	549	2,871	106	334	1,900	531
	多賀城市	2,337	157	280	1,604	296	2,223	164	267	1,508	284
	松島町	872	44	137	587	104	840	48	133	556	103
	七ヶ浜町	703	24	82	543	54	668	26	78	515	49
	利府町	1,357	121	152	856	228	1,316	120	150	822	224
	他市町	3	1	0	2	0	3	1	0	2	0
平成28年	合計	8,768	490	1,069	5,879	1,330	8,416	516	1,021	5,587	1,292
	塩竈市	3,171	110	392	2,059	610	3,026	105	376	1,947	598
	多賀城市	2,555	182	312	1,761	300	2,425	182	292	1,661	290
	松島町	967	55	135	632	145	939	67	128	603	141
	七ヶ浜町	674	20	81	518	55	648	22	78	498	50
	利府町	1,397	121	149	907	220	1,374	138	147	876	213
	他市町	4	2	0	2	0	4	2	0	2	0
平成29年	合計	8,987	509	1,137	6,025	1,316	8,661	525	1,099	5,749	1,288
	塩竈市	3,176	120	407	2,064	585	3,065	119	392	1,979	575
	多賀城市	2,540	195	307	1,764	274	2,418	194	296	1,661	267
	松島町	1,013	50	158	672	133	975	53	152	641	129
	七ヶ浜町	756	22	119	543	72	724	24	115	518	67
	利府町	1,493	119	146	977	251	1,472	133	144	946	249
	他市町	9	3	0	5	1	7	2	0	4	1
平成30年	合計	9,169	459	1,149	6,241	1,320	8,861	486	1,108	5,985	1,282
	塩竈市	3,306	105	388	2,214	599	3,221	117	378	2,135	591
	多賀城市	2,637	171	350	1,856	260	2,519	172	336	1,761	250
	松島町	1,047	59	146	692	150	1,001	62	138	657	144
	七ヶ浜町	758	25	110	539	84	731	23	108	523	77
	利府町	1,416	96	154	940	226	1,385	110	147	909	219
	他市町	5	3	1	0	1	4	2	1	0	1
令和元年	合計	9,327	418	1,175	6,413	1,321	9,017	444	1,144	6,165	1,264
	塩竈市	3,306	97	408	2,187	614	3,177	99	388	2,100	590
	多賀城市	2,673	157	360	1,928	228	2,622	179	350	1,870	223
	松島町	1,017	33	139	699	146	962	31	130	661	140
	七ヶ浜町	758	21	89	570	78	739	18	99	554	68
	利府町	1,557	103	179	1,025	250	1,499	108	177	976	238
	他市町	16	7	0	4	5	18	9	0	4	5

19 過去の主な救急事故（傷病者6名以上）

（人）

年 月 日 覚知時間	事故 種別	発 生 場 所	概　　要	傷 病 程 度 死 亡	重 症	中等症	軽 症
平成2年 3月15日 10時17分	労 災	多賀城市栄二丁目地内 (東北ドック鉄工内)	ガス爆発	0	0	1	5
平成2年 3月20日 15時43分	交 通	利府町神谷沢字大谷地 地内(カメイスタンド前)	停車中の乗用車に 乗用車が追突	0	0	0	6
平成2年 10月29日 11時55分	交 通	松島町高城字明神地内 (レストラン四季亭前)	トラックと乗用車の 衝突	0	0	1	5
平成5年 5月16日 16時12分	交 通	塩竈市杉の入四丁目地内 (小野自動車前)	乗用車同士の正面 衝突	0	0	4	3
平成6年 2月14日 16時5分	交 通	松島町松島字石田地内 (パノラマライン入口付近)	路上凍結による乗用 車同士の衝突	0	0	1	5
平成6年 8月3日 17時00分	交 通	利府町菅谷字産野原地内 (ふくろうの森前)	乗用車が道路脇の 立木に衝突	0	0	0	8
平成8年 8月5日 10時2分	急 病	塩竈市一森山地内 (駐車場)	食中毒	0	0	7	0
平成8年 7月20日 21時7分	交 通	利府町利府字八幡崎地内 (モービル石油前)	右折車に後続車が 衝突	0	2	3	2
平成9年 6月28日 19時57分	交 通	松島町根廻字蒜沢地内 (東北本線トンネル内)	列車の脱線事故	0	0	5	6
平成9年 11月15日 15時7分	交 通	塩竈市東玉川町地内 (JR 塩釜駅南側)	乗用車の多重衝突 事故	0	0	0	6
平成11年 10月15日 16時44分	交 通	多賀城市市川字坂下地内 (市川橋付近)	バスと乗用車の正面 衝突	0	0	0	7
平成12年 3月6日 16時31分	交 通	塩竈市港町1丁目地内 (片倉チッカリン前)	ローリーと乗用車の 衝突	0	3	3	1
平成13年 7月15日 11時2分	運 動	七ヶ浜町吉田浜字野山地 内(陸上競技場内)	リレー競技中に転倒	0	0	0	8
平成14年 1月3日 11時7分	交 通	松島町桜渡戸字麦田地内 三陸自動車道上	乗用車8台の衝突 事故	0	0	0	6
平成14年 1月6日 14時38分	交通	利府町沢乙字寺下2-1 (にしむら整形外科前)	乗用車4台の玉突 事故	0	0	0	7
平成14年 3月10日 0時8分	交 通	松島町初原字欠田地内 仙台松島線上	トラックと乗用車の正 面衝突事故	0	0	2	8
平成14年 7月2日 13時12分	交 通	利府町菅谷字長者前 (ホテルアイネ付近前)	乗用車同士の衝突 事故	0	0	0	7
平成16年 8月10日 ①7時22分 ②12時7分	急 病	利府町菅谷館10－1 (グランディー21合宿所内)	腹痛等を訴える学生 が多数発生	0	1	7	35
平成17年 5月22日 4時20分	交 通	多賀城市八幡一丁目3番地内 (国道45号線交差点付近)	RV車が横断中の歩行者の 列に突っ込んだもの	3	0	4	18

（人）

年 月 日 覚知時間	事故 種別	発 生 場 所	概　　要	傷　病　程　度			
				死 亡	重 症	中等症	軽 症
平成17年 11月14日 10時17分	交 通	塩竈市芦畔町10－1地内 路上	送迎車両と乗用車の衝突事故	0	0	0	8
平成20年 5月19日 12時11分	交 通	松島町松島字町内98－1 松島観光桟橋	航行中の観光船が暗礁に衝突したもの	0	0	2	8
平成29年 5月28日 18時43分	交 通	多賀城市八幡一丁目7番地内 (国道45号線下り車線)	乗用車3台の玉突き事故	0	0	2	5
平成30年 8月22日 12時45分	交 通	塩竈市北浜四丁目8地内 (相原酒店前交差点)	乗用車2台の衝突事故	0	0	1	5
令和元年 8月1日 15時54分	交 通	多賀城市城南一丁目11番5号 (セブンコート付近)	トラックと乗用車の衝突事故	0	0	2	4
令和元年 10月5日 10時26分	一般	七ヶ浜町代ヶ崎浜字八ヶ森 (多聞山芝生公園)	蜂に刺されたもの	0	0	0	14
令和元年 12月18日 7時41分	機械事故	塩竈市新浜町二丁目1番35号 (ホームセンター建設工事現場)	乗用車内で作業員3名が待機中、クレーンが倒れ下敷きになったもの。	1	1	1	4

第７編　救助統計

令和元年の救助概要

令和元年中における救助概要をみると、出動件数が４４件（対前年１２件増）、救助人員は９０人（対前年５６人増）となっている。

出動件数を事故種別に見ると、台風第１９号に伴う被害により自然災害が１２件（対前年１２件増）で最も多く、次いで交通事故、水難事故及び建物事故が何れも８件の順となっている。

～ 市町村別の出動件数 ～

塩竈市	１２件	（前年１２件）
多賀城市	１３件	（前年１３件）
松島町	７件	（前年　２件）
七ヶ浜町	３件	（前年　１件）
利府町	８件	（前年　４件）
その他	１件	（前年　０件）

～ 事故種別の救助人員 ～

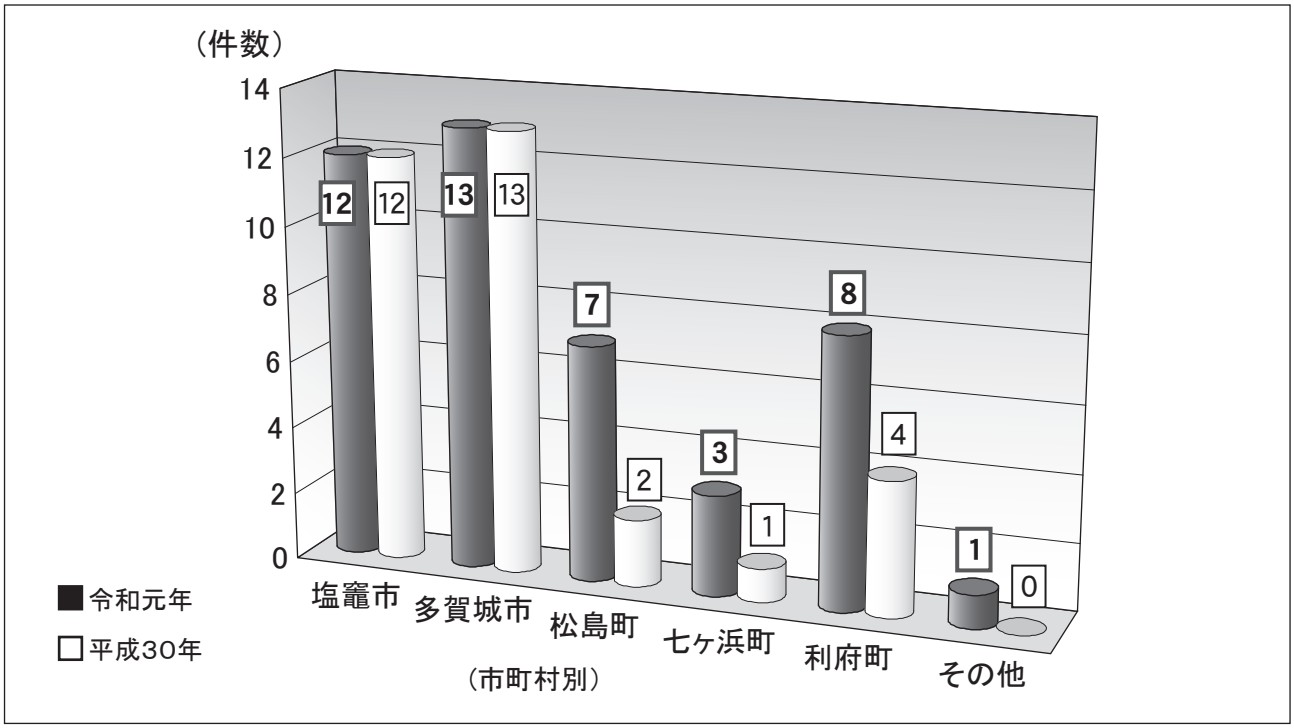
交通事故	１３人	（前年　１１人）
水難事故	８人	（前年　２人）
自然災害	５１人	（前年　０人）
機械による事故	３人	（前年　１人）
建物等による事故	８人	（前年　１３人）
酸欠等事故	０人	（前年　０人）
火災	０人	（前年　３人）
その他	７人	（前年　４人）

～ 市町別救助発生状況 ～

区分		令和元年	平成30年	増減	合計	事故種別							
						火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	酸欠事故	その他
合計	出動件数	44	32	12	44	0	8	8	12	1	8	0	7
	救助人員	90	34	56	90	0	13	8	51	3	8	0	7
塩竈市	出動件数	12	12	0	12	0	1	3	0	1	2	0	5
	救助人員	15	13	2	15	0	2	3	0	3	2	0	5
多賀城市	出動件数	13	13	0	13	0	0	1	7	0	4	0	1
	救助人員	28	14	14	28	0	0	1	22	0	4	0	1
松島町	出動件数	7	2	5	7	0	2	2	2	0	1	0	0
	救助人員	16	2	14	16	0	3	2	10	0	1	0	0
七ヶ浜町	出動件数	3	1	2	3	0	0	2	0	0	0	0	1
	救助人員	3	1	2	3	0	0	2	0	0	0	0	1
利府町	出動件数	8	4	4	8	0	4	0	3	0	1	0	0
	救助人員	25	4	21	25	0	5	0	19	0	1	0	0
他市町	出動件数	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	救助人員	3	0	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0

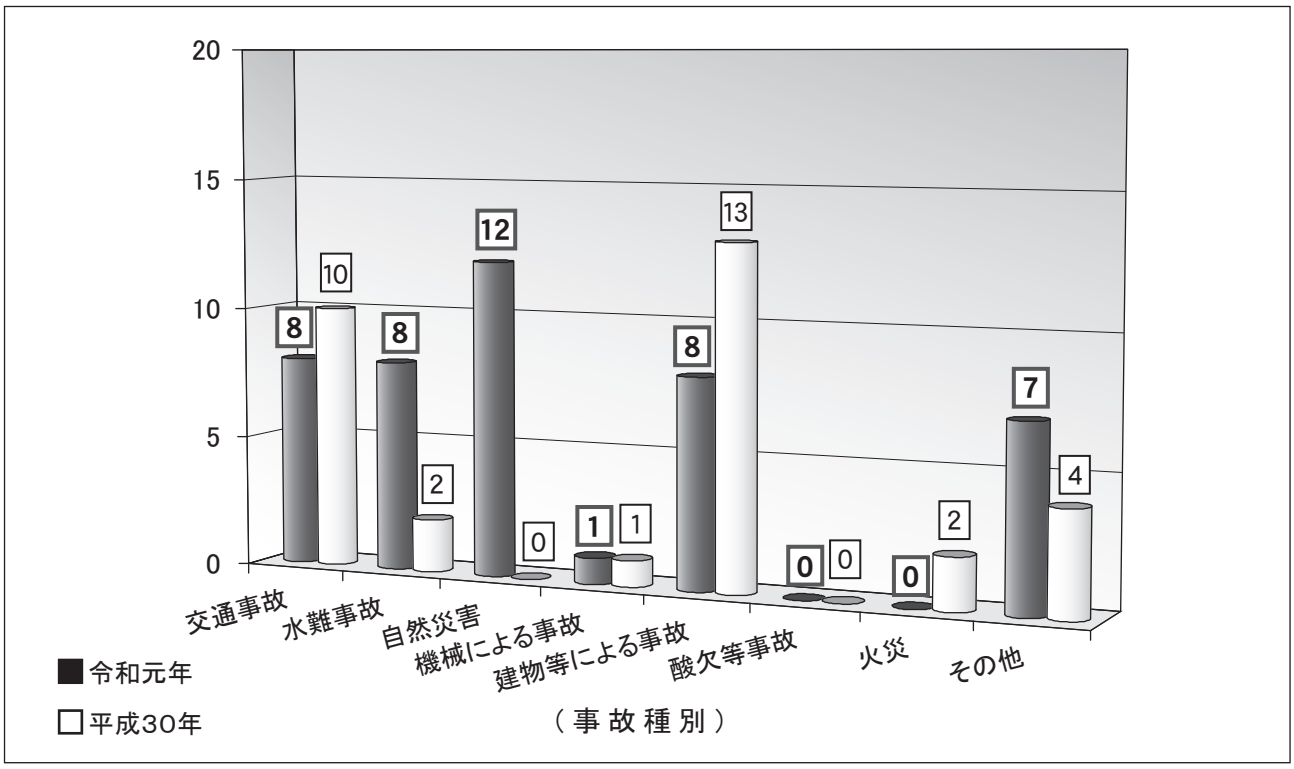
市町別出動状況

総出動件数４４件のうち、多賀城市が１３件で最も多く、次いで塩竈市の１２件、利府町の８件、松島町の７件、七ヶ浜町の３件、その他１件の順となっている。



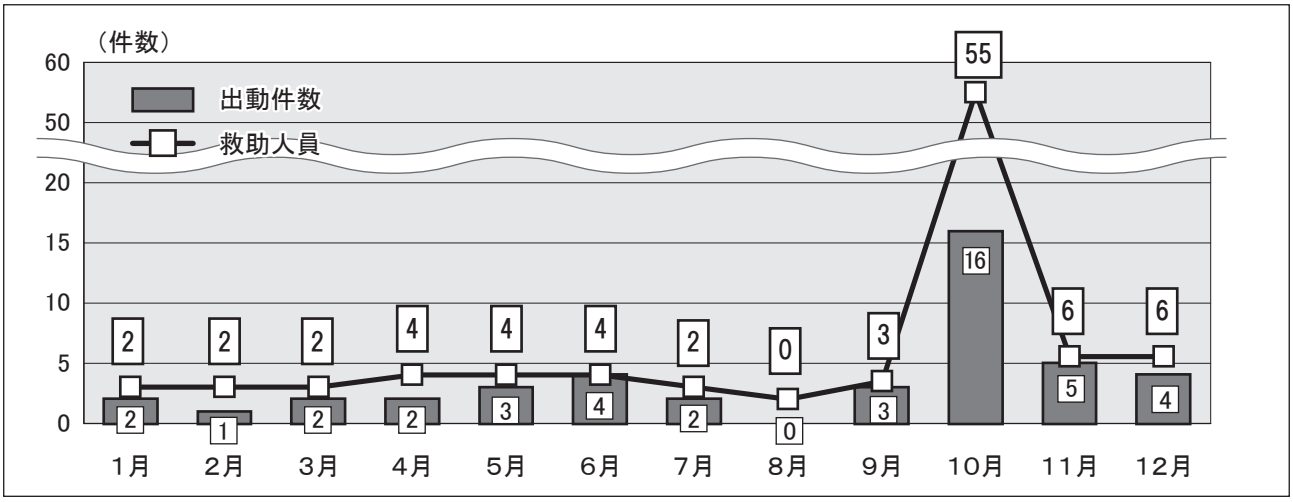
事故種別出動状況

自然災害による事故が１２件と最も多く、次いで交通事故、水難事故及び建物等による事故が８件、その他の事故が７件の順となっている。



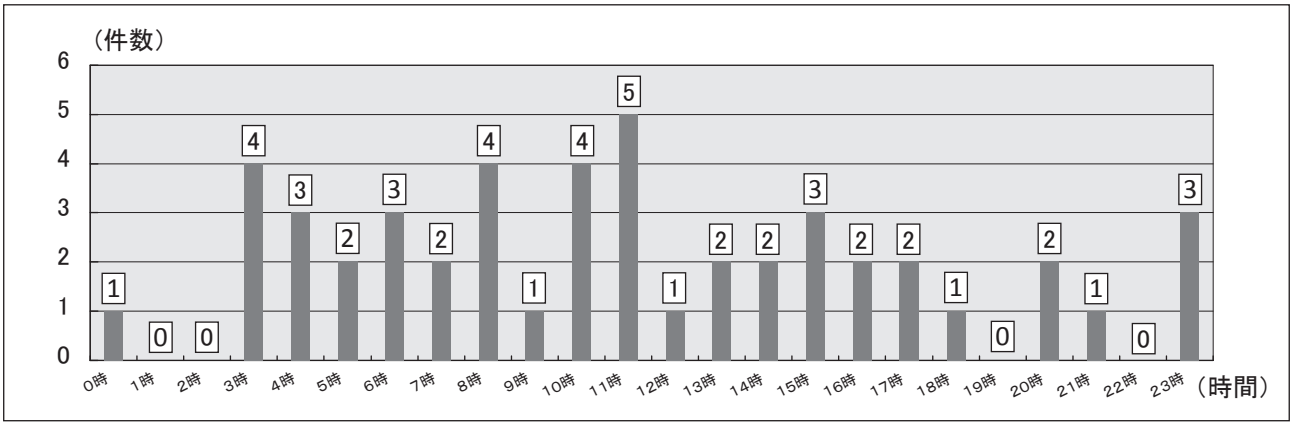
月別救助出動件数・救助人員

出動件数は、１０月が１６件と最も多く、次いで１１月が５件、６月、１２月が同件数で４件の順となっている。



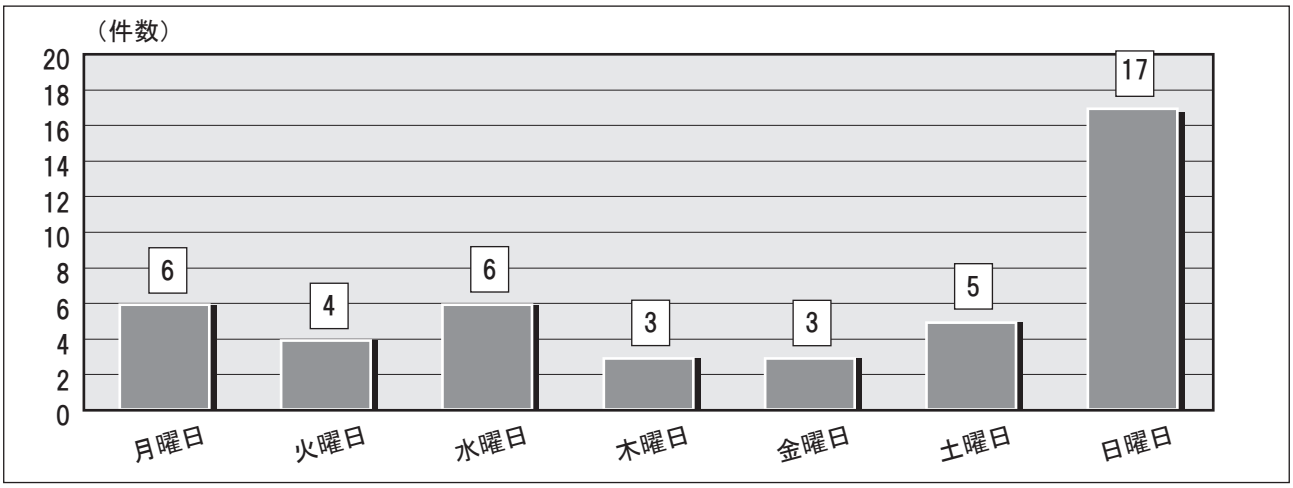
時間別救助出動状況

１１時台が５件と最も多く、次いで３時台、８時台及び１０時台が同件数４件となっており４時台、６時台及び２３時台が３件となっている。



曜日別救助出動状況

総出動件数４４件のうち、日曜日が１７件で最も多く、次いで月曜日、水曜日が同件数の６件、土曜日が５件の順となっている。

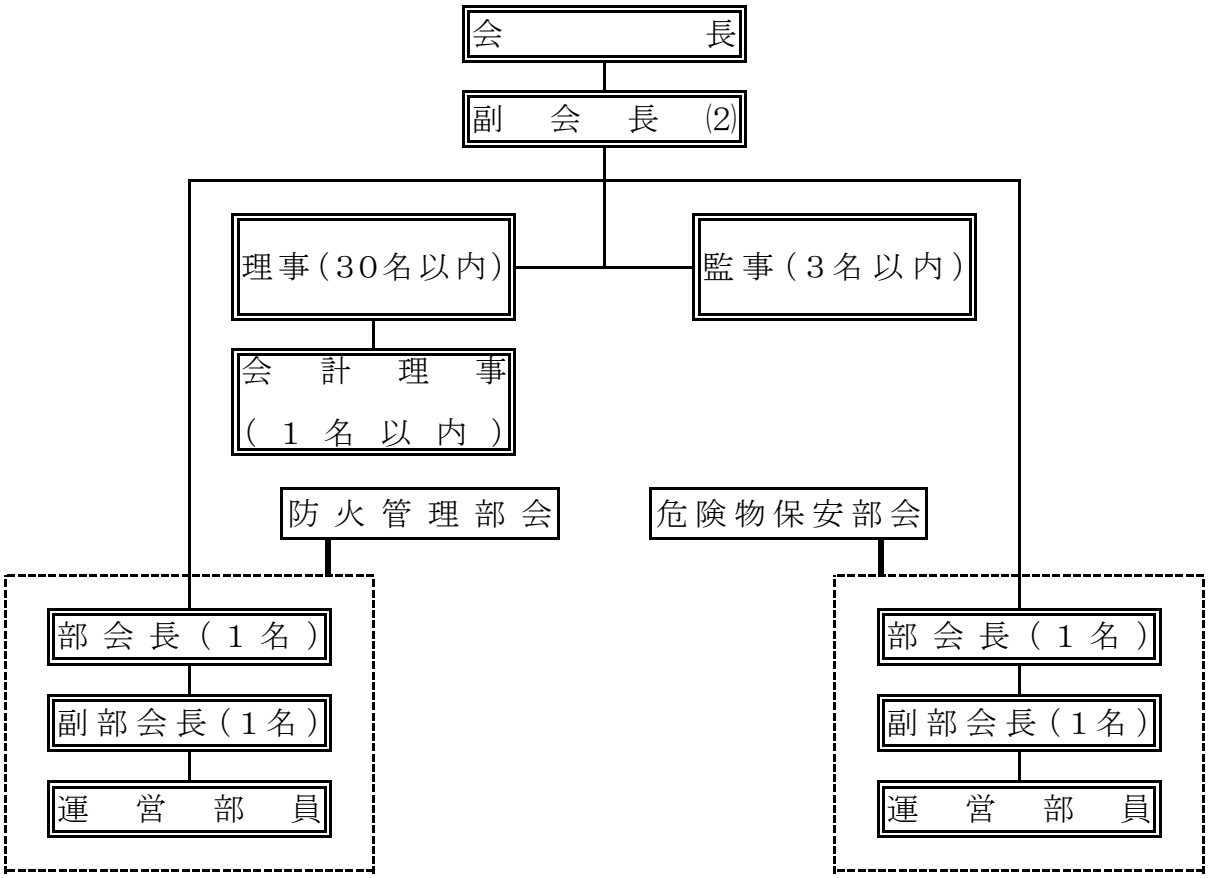


第８編　協力団体

塩 釜 地 区 防 災 安 全 協 会

1 設　　立　　平成7年4月1日

2 組 織 機 構



事 務 局　　塩釜地区消防事務組合消防本部予防課内

3 主たる事業

(1) 防火知識及び危険物災害予防思想の普及に関する事項
(2) 防火管理者及び危険物取扱者として職務知識及び技術の研究に関する事項
(3) 火災等の原因及び損害結果を基礎とした予防対策に関する事項
(4) 講演会及び講習会等の開催に関する事項
(5) 参考資料、ポスター等の発行及び消防情報に関する事項
(6) 会員相互の連絡協調に関する事項
(7) 表彰に関する事項
(8) その他、本会の目的を達成するために必要な事項

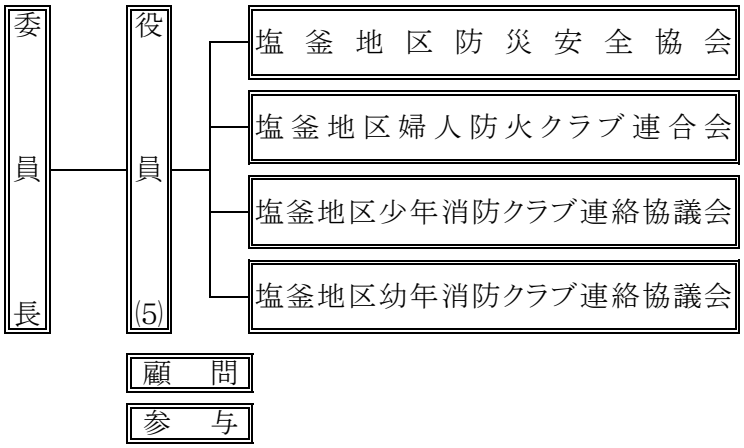
4 会　員　数 (R2. 4. 1)　　正会員　　649事業所(両部会　81事業所)

塩 竈 市	232事業所	多賀城市	182事業所
松 島 町	85事業所	七ヶ浜町	50事業所
利 府 町	92事業所	その他の地区	8事業所

塩釜地区少年婦人防火委員会

1 設　　立　　昭和54年11月14日

2 組織機構



事務局　塩釜地区消防事務組合消防本部予防課内

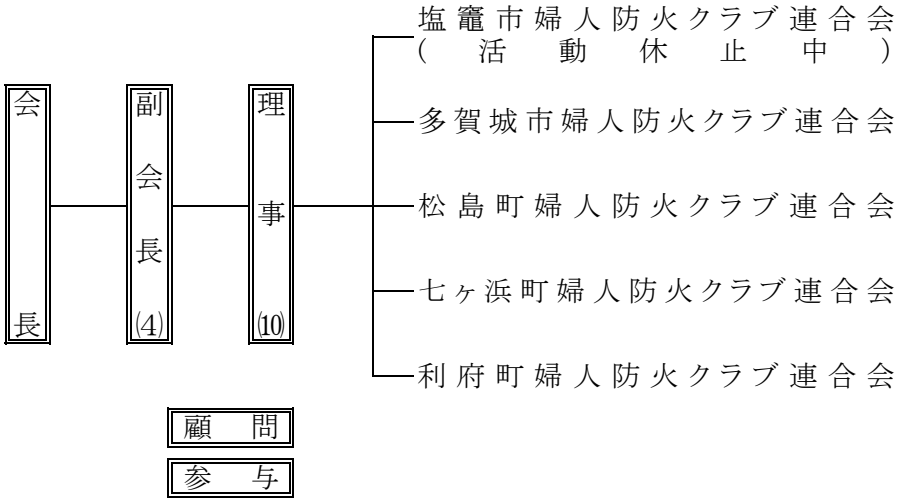
3 目　　的

本会は、住民の自主防火組織としての少年消防クラブ及び婦人防火クラブの組織拡大と強化を図るとともに、各クラブの運営指導について研究し、助言し、その健全な育成発展に寄与することを目的とする。

塩釜地区婦人防火クラブ連合会

1 設　　立　　昭和50年4月1日

2 組織機構



事務局　塩釜地区消防事務組合消防本部予防課内

3 主たる事業

(1) 家庭防火に関すること
(2) クラブ相互の連絡協調に関すること
(3) 指導者の育成に関すること
(4) 関係当局、その他の消防関係団体との連絡及び協力に関すること
(5) その他必要な事項

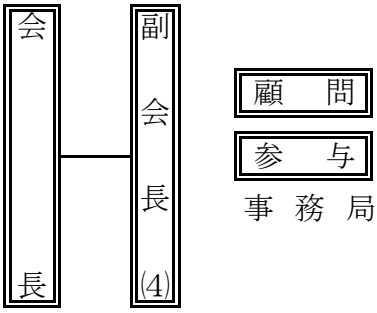
4 会　員　数（R2. 4. 1）　52クラブ

会員 49,117名	塩竈市	0名	多賀城市	27,222名
	松島町	5,637名	七ヶ浜町	6,716名
	利府町	9,542名		

協力団体

塩釜地区少年消防クラブ連絡協議会

1 設　　立　　平成3年12月13日
2 組 織 機 構



事 務 局　塩釜地区消防事務組合消防本部予防課内

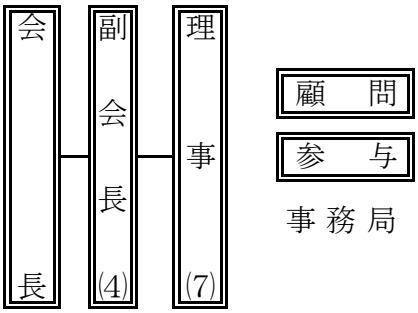
3 主たる目標
⑴　クラブの目的、活動について理解を深める
⑵　消防についての理解を深める
⑶　火災の恐ろしさを知って、防火意識を高める
⑷　防火についての心構えを知る
⑸　火災の時の処置を知り、身体で覚える
⑹　クラブ員としての自覚を高める
⑺　救急の仕事と応急手当を知る
⑻　その他必要な事項

4 会　員　数（R2. 4. 1）　　25クラブ

会 員1，727名	塩 竈 市	420名	多賀城市	581名
	松 島 町	122名	七ヶ浜町	218名
	利 府 町	386名		

塩釜地区幼年消防クラブ連絡協議会

1 設　　立　　昭和57年9月3日
2 組 織 機 構



事 務 局　塩釜地区消防事務組合消防本部予防課内

3 重 点 主 策
⑴　火災予防に対する正しい認識を持たせる
⑵　火災予防のことを身体で覚えさせる
⑶　火遊び防止の徹底を図る

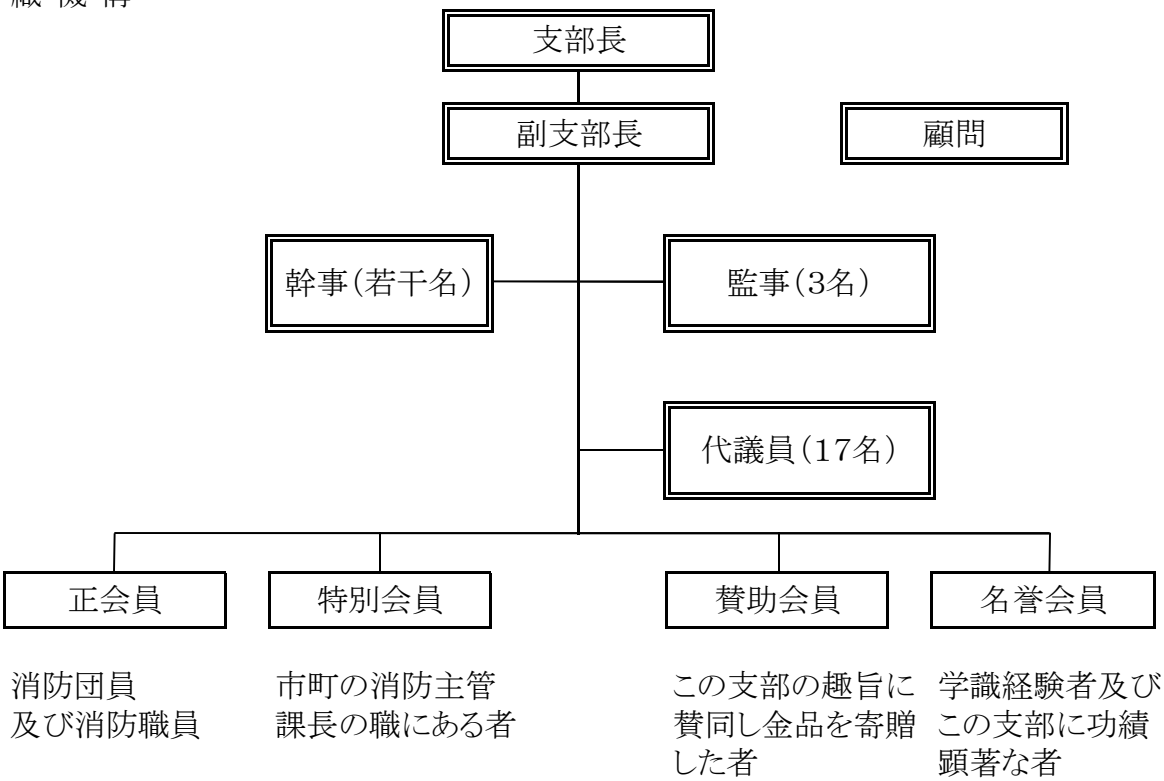
4 会　員　数（R2. 4. 1）　　52クラブ

会 員3，976名	塩 竈 市	915名	多賀城市	1，667名
	松 島 町	209名	七ヶ浜町	260名
	利 府 町	925名		

宮 城 県 消 防 協 会 塩 釜 地 区 支 部

1 設　　立　　昭和47年4月1日

2 組織機構



事務局　　塩釜地区消防事務組合消防本部警防課内

3 主たる事業

⑴ 消防機関相互の連絡及び事業に対する協力
⑵ 消防思想の普及徹底
⑶ 消防に関する調査・研究・指導
⑷ 消防機械器具及び関係資材の購入の斡旋
⑸ 消防機関会員及び消防功労者の表彰
⑹ 大災害地に対する支援の斡旋
⑺ その他この支部の目的を達成するための必要な事業

4 各市町団員数等　(R2. 4. 1)

分団数		団員数
塩竈市塩竈	4分団	80人
塩竈市浦戸	2分団	54人
多賀城市	8分団	156人
松島町	6分団	210人
七ヶ浜町	10分団	181人
利府町	8分団	109人
総数	38分団	790人

令和２年度塩釜地区統一防火標語入選作品

（敬称略）

【特　選】

「　火の元よし！　家族みんなが　消防士　」

塩竈市立第二小学校　3年生　　浅野　圭佑　さん

【入選作品】一般の部

「　消えたかな　その目で確認　火の始末　」
陸上自衛隊多賀城駐屯地勤務　　山内　和浩　さん

「　我々の　気持ちの油断が　着火剤　」
陸上自衛隊多賀城駐屯地勤務　　中鉢　洋平　さん

「まかせるな　あなたが主役　火のしまつ」
東陽防災設備株式会社勤務　　菅原　純子　さん

小学校の部

「火の始末　他人に頼らず　自分から」
松島町立松島第二小学校　6年生　　熊谷　柊哉　さん

「消し忘れ　不安なきもちも　消しにいこう」
多賀城市立山王小学校　4年生　　山岸　幸司　さん

第４３回塩釜地区防火書道展最優秀作品

利府町立利府小学校
四年生　酒井凜さん

塩竈市立月見ヶ丘小学校
五年生　菊池結衣さん

協力団体

令和元年版
消　防　年　報
令和２年７月発行
編　　集　　塩釜地区消防事務組合消防本部
〒985-0021　宮城県塩竈市尾島町17番22号
Ｔ　Ｅ　Ｌ　　０２２－３６１－０１１９
Ｆ　Ａ　Ｘ　　０２２－３６５－１１９０
メールアドレス　soumu@sioshou.jp
ホームページ　　http://sioshou.jp/

本誌は、当組合ホームページにも掲載しています。

この年報は、再生紙を使用しています。

塩釜地区消防事務組合

SHIOGAMA DISTRICT FIRE FIGHTING UNION partial-affairs-association